

# 中高生の生活実態に関する アンケート調査結果

令和4年3月



## 調査目的および主な調査内容

「ヤングケアラー」（本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子供）に対する適切な福祉施策を検討する上での基礎資料とするため、県内における中学校及び高等学校の生徒の生活実態を下記のとおり調査した。なお、厚生労働省が令和2年度に文部科学省と連携して実施した「ヤングケアラーの実態に関する調査研究（以下「国の調査」又は「全国調査」という）」の概要についても参考として掲載する。

	今回の調査	※参考 厚生労働省（文部科学省と連携）
調査名称	「中高生の生活実態に関するアンケート調査」	「中高生の生活実態に関するアンケート調査」
調査方法	無記名式アンケート調査 （学校に調査票を配布し、教室において回答、学校で取りまとめて回収）	調査対象の学校へ生徒本人向け・保護者向けの調査概要を郵送し、学校を通じて、生徒本人へ調査回答フォームのQRコード・URLを記載した調査概要を配布。Web上で回答URL回収を実施。 ※通信制高校では、学校から生徒への調査概要の配布について、メール等による配布を基本とした。
調査期間	令和3年10月～11月	① 中学生、全日制高校生、定時制高校生 令和2年12月21日～令和3年1月31日 ② 通信制高校生 令和3年1月26日～令和3年2月28日
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアラー自身について</li> <li>・ケアの影響について</li> <li>・求める支援について</li> <li>・ケアの状況について</li> <li>・ケアに関する相談について</li> <li>・「ヤングケアラー」の認知度</li> </ul> など自由記述含む計28問	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本項目（性別学年等）</li> <li>・家庭や家族のこと</li> <li>・普段の生活のこと</li> <li>・ヤングケアラーについて</li> </ul> など、自由記述含む計23問
調査対象	県内の学校（国公私立）に在籍する以下の生徒を対象とした。 ①中学校2年生（義務教育学校8年生を含む。以下同じ） 125校 7,989人 ②全日制高等学校2年生 44校 7,436人 ③定時制高等学校2年生相当 10校 174人 計 15,599人	① 中学校 :全国の公立中学校の約1割にあたる1,000校を層化無作為抽出により抽出。対象校に在籍する中学2年生を対象とした。（約10万人） ② 全日制高校:全国の公立高等学校の約1割にあたる350校を層化無作為抽出により抽出。対象校に在籍する高校2年生を対象とした。（約6.8万人） ③ 定時制高校:公立の定時制高校を各都道府県により1校ずつ無作為抽出（計47校）し、在席する2年生相当の生徒を対象とした。 ④ 通信制高校:公立の通信制高校を各都道府県により1校ずつ無作為抽出（計47校）し、在席する生徒を対象とした。
回答者数	合計 14,237人（回収率91.3%） ・中学校2年生 7,309人（回収率91.5%） ・全日制高校2年生 6,805人（回収率91.5%） ・定時制高校2年生相当 123人（回収率70.7%）	合計 13,777人 ・中学校2年生 5,558人 ・全日制高校2年生 7,407人 ・定時制高校2年生相当 366人 ・通信制高校生 446人

※詳細については「ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書」（三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）を参照

# 総目次

第1部 単純集計	1
第1部 目次	2
問1 学校種別／問2 性別	3
問1／問2（学校種別構成の性別）	4
問3 現在住んでいる市町村	5
問4 健康状態	6
問5 欠席の状況	7
問6 遅刻や早退の状況	8
問7 部活動への参加状況	9
問8 平日の自宅での勉強時間	10
問9 一緒に住んでいる家族の構成	11
問10 家族のケアをした経験	12
問10 家族のケアをした経験（地域別）	13
問11 ケアを必要とする家族	14
問12 ケアを必要とする家族の主な課題	15
問13 ケアの内容	16
問14 一緒に家族のケアをする人	17
問14 一緒に家族のケアをする人（類型化後）	18
問15 ケアの開始時期	19
問16 ケアの頻度	20
問17 ケアに要する時間（平日）	21
問18 ケアに要する時間（休日）	22
問19 自分の生活への影響	23
問19 自分の生活への影響（類型化後）	24
問20 ケアに関する悩みの相談経験	25
問21 （相談経験がある方）相談した相手	26
問22 （相談経験がない方）相談しなかった理由	27
問23 （家族のケアの経験がない方） ケアをすることになった場合のケアの方法	28
問24 （家族のケアの経験がない方）ケアで困った場合の相談相手	29
問25 家族のケアを行う子供のためにあれば良いと思う支援	30
問25 家族のケアを行う子供のためにあれば良いと思う支援（ケアの経験別）	31
問26 “ヤングケアラー”の認知度	32
問27 “ヤングケアラー”に係る自己認識	33
問28 自由記述①（アンケートに関する感想）	34
問29 自由記述②（意見・要望など）	35

第2部 「ケアに要する時間」に関するクロス集計	37
第2部 目次	38
性別ごと ケアに要する時間（平日）	（問2×問17） 39
ケアに要する時間（平日）別 健康状態	（問17×問4） 40
ケアに要する時間（平日）別 欠席状況	（問17×問5） 41
ケアに要する時間（平日）別 遅刻や早退の状況	（問17×問6） 42
ケアに要する時間（平日）別 部活動への参加状況	（問17×問7） 43
ケアに要する時間（平日）別 平日の勉強時間	（問17×問8） 44
ケアに要する時間（平日）別 一緒に住んでいる家族の構成	（問17×問9） 45
一緒に住んでいる家族の構成別 ケアに要する時間（平日）	（問9×問17） 46
ケアに要する時間（平日）別 一緒にケアをする人	（問17×問14） 47
一緒にケアをする人別 ケアに要する時間（平日）	（問14×問17） 48
ケアの頻度別 ケアに要する時間（平日）	（問16×問17） 49
ケアに要する時間（平日）別 自分の生活への影響	（問17×問19） 50
ケアに要する時間（平日）別 ケアに関する悩みの相談経験	（問17×問20） 51
ケアに要する時間（平日）別 ヤングケアラーに係る自己認識	（問17×問27） 52

第3部 より日常的にケアをしている層の絞り込み集計	53
絞り込み集計の内容	54
第3部 目次	55
「より日常的にケアをしている層」の抽出イメージ	56
問2 性別	57
問4 健康状態	58
問5 欠席の状況	59
問6 遅刻や早退の状況	60
問7 部活動への参加状況	61
問8 平日の自宅での勉強時間	62
問9 一緒に住んでいる家族の構成	63
問11 ケアを必要とする家族	64
問12 ケアを必要とする家族の主な課題	65
問13 主なケアの内容	66
問14 一緒に家族のケアをする人①	67
問14 一緒に家族のケアをする人②	68
問14 一緒に家族のケアをする人③（類型化後）	69
問19 自分の生活への影響①	70
問19 自分の生活への影響②（類型化後）	71
問20 ケアに関する悩みの相談経験	72
問21 （相談経験がある方）相談した相手	73
問22 （相談経験がない方）相談しなかった理由	74
問25 家族のケアを行う子供のためにあれば良いと思う支援	75
第4部 調査結果まとめ	77
調査結果まとめ	78～79



## 第1部 単純集計

# 第1部 目次

中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

問1 学校種別／問2 性別	3
問1／問2（学校種別構成の性別）	4
問3 現在住んでいる市町村	5
問4 健康状態	6
問5 欠席の状況	7
問6 遅刻や早退の状況	8
問7 部活動への参加状況	9
問8 平日の自宅での勉強時間	10
問9 一緒に住んでいる家族の構成	11
問10 家族のケアをした経験	12
問10 家族のケアをした経験（地域別）	13
問11 ケアを必要とする家族	14
問12 ケアを必要とする家族の主な課題	15
問13 ケアの内容	16
問14 一緒に家族のケアをする人	17
問14 一緒に家族のケアをする人（類型化後）	18
問15 ケアの開始時期	19

問16 ケアの頻度	20
問17 ケアに要する時間（平日）	21
問18 ケアに要する時間（休日）	22
問19 自分の生活への影響	23
問19 自分の生活への影響（類型化後）	24
問20 ケアに関する悩みの相談経験	25
問21 （相談経験がある方）相談した相手	26
問22 （相談経験がない方）相談しなかった理由	27
問23 （家族のケアの経験がない方）ケアをすることになった場合のケアの方法	28
問24 （家族のケアの経験がない方）ケアで困った場合の相談相手	29
問25 家族のケアを行う子供のためにあれば良いと思う支援	30
問25 家族のケアを行う子供のためにあれば良いと思う支援（ケアの経験別）	31
問26 “ヤングケアラー”の認知度	32
問27 “ヤングケアラー”に係る自己認識	33
問28 自由記述①（アンケートに関する感想）	34
問29 自由記述②（意見・要望など）	35

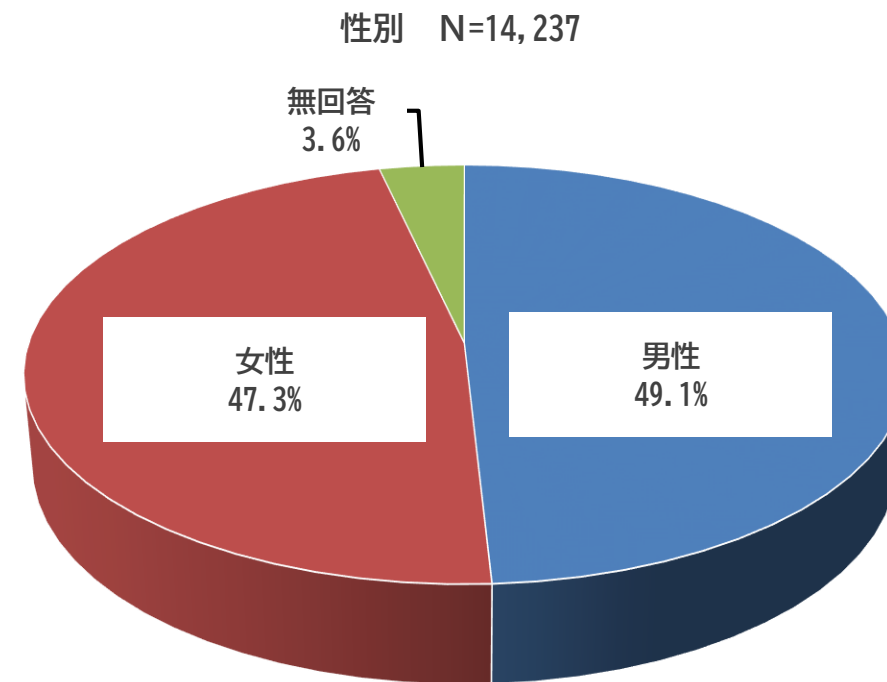
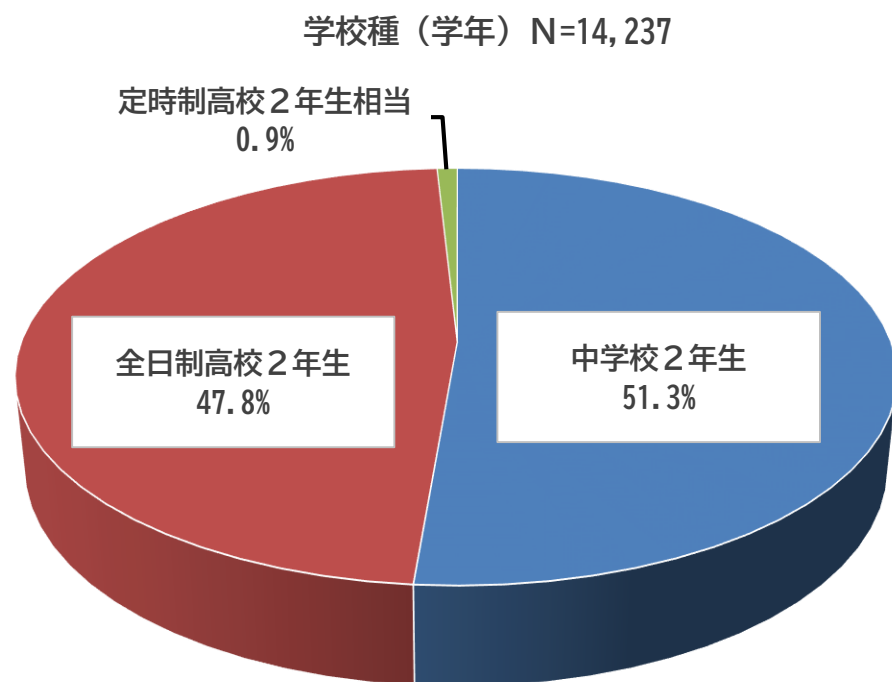
# 問1 あなたの学年を教えてください。／問2 あなたの性別を教えてください。

中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

◇回答者（N=14,237）のうち、学校種別の割合をみると中学校2年生が7,309人（51.3）、全日制高校2年生が6,805人（47.8）、定時制高校2年生相当が123人（0.9）であった。

◇回答者の男女比をみると男性が6,996人（49.1）、女性が6,730人（47.3）、無回答が511人（3.6）であった。

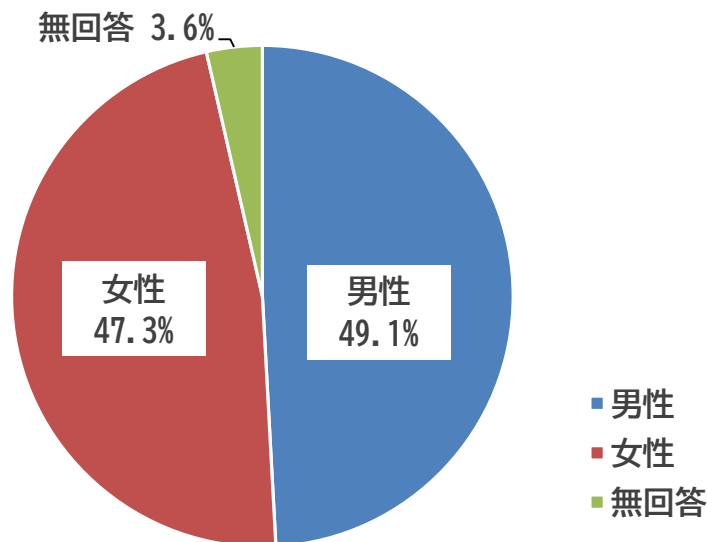
※回答者の性別についての質問は、ヤングケアラーの状況が性差により固定化されている現状がないかどうか分析するために設けたものである。



# 問1 あなたの学年を教えてください。／問2 あなたの性別を教えてください。 (学校種別比較)

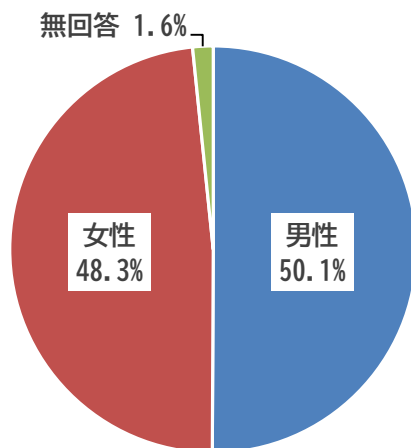
中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

性別 (全体) (N=14,237)

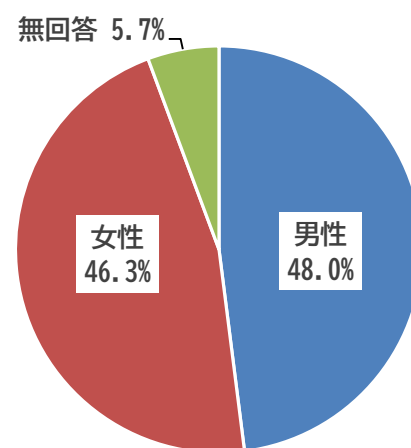


○回答者 (N=14,237) のうち、学校種別の男女構成比は、中学校2年生では男性3,660人 (50.1%)、女性3,530人 (48.3%)、無回答119人 (1.6%)、全日制高校2年生では男性3,266人 (48.0%)、女性3,153人 (46.3%)、無回答386人 (5.7%)、定時制高校2年生相当では男性70人 (56.9%)、女性47人 (38.2%)、無回答6人 (4.9%)であった。

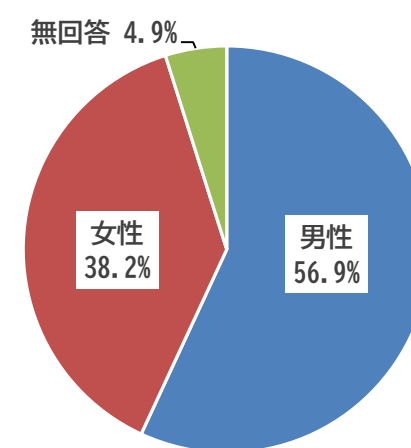
中学校2年生 (N=7,309)



全日制高校2年生 (N=6,805)



定時制高校2年生相当 (N=123)

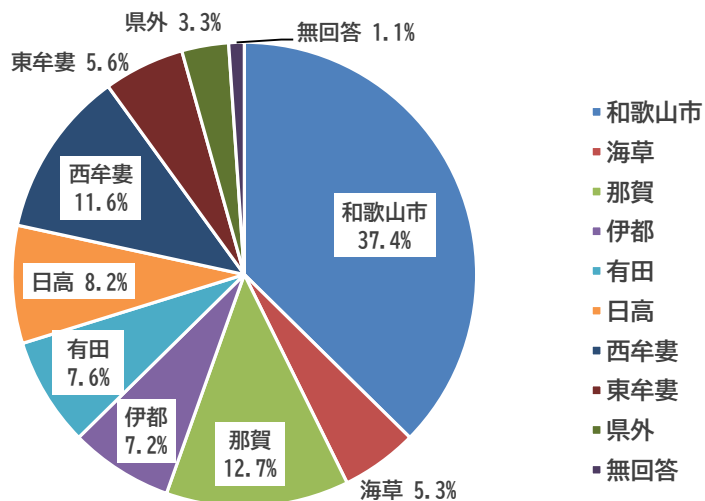




# 問3 現在住んでいる市町村を教えてください。

中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

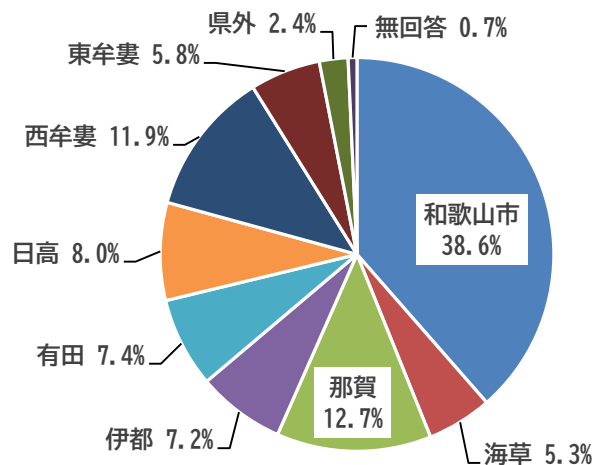
居住地（全体）（N=14,237）



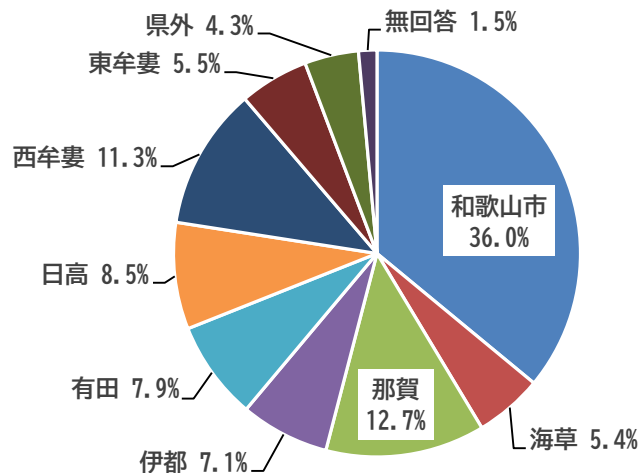
◇回答者（N=14,237）の居住地（和歌山市及び各郡市単位）別の割合は、和歌山市が最も多く5,321人（37.4%）、次いで那賀地域1,813人（12.7%）、西牟婁地域1,654人（11.6%）、日高地域1,167人（8.2%）、有田地域1,079人（7.6%）、伊都地域1,024人（7.2%）、東牟婁地域802人（5.6%）、海草地域759人（5.3%）、県外464人（3.3%）であった。  
なお、所属する学校の所在地別ではないことに留意願いたい。

※各市町村のうち、  
 海南市、紀美野町 → 【海草】  
 紀の川市、岩出市 → 【那賀】  
 橋本市、かつらぎ町、九度山町、高野町 → 【伊都】  
 有田市、湯浅町、広川町、有田川町 → 【有田】  
 御坊市、美浜町、日高町、由良町、印南町、みなべ町、日高川町 → 【日高】  
 田辺市、白浜町、上富田町、すさみ町 → 【西牟婁】  
 新宮市、那智勝浦町、太地町、古座川町、北山村、串本町 → 【東牟婁】に分類

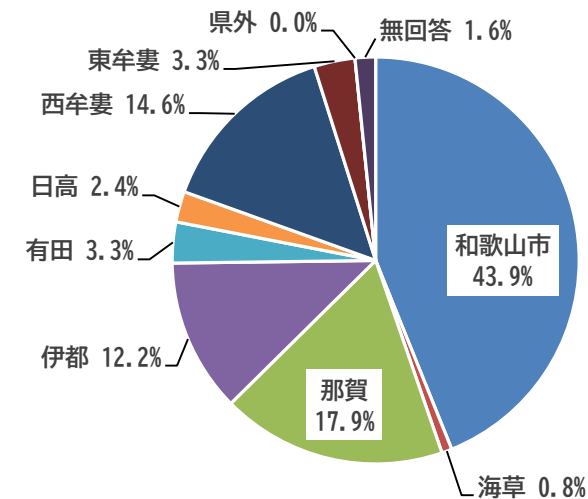
中学校2年生（N=7,309）



全日制高校2年生（N=6,805）



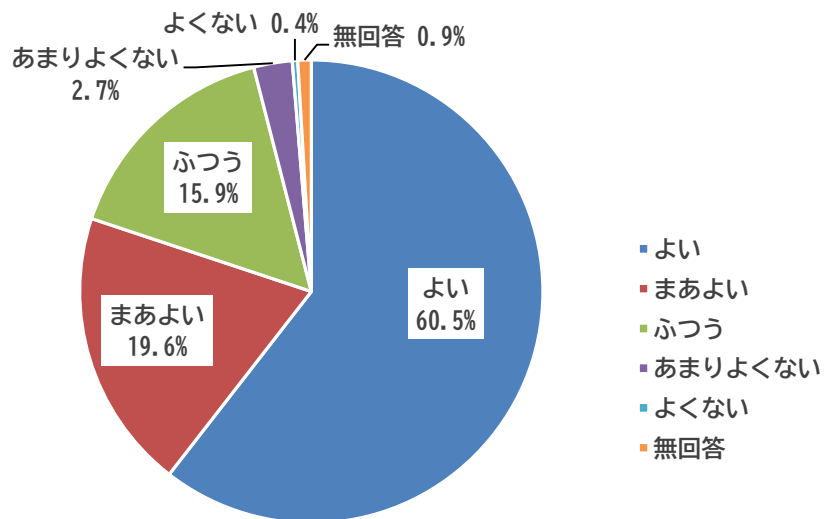
定時制高校2年生相当（N=123）



# 問4 あなたの健康状態について教えてください。

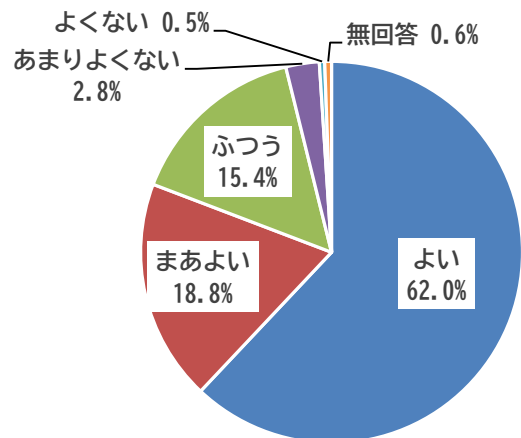
中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

### 健康状態（全体）（N=14,237）

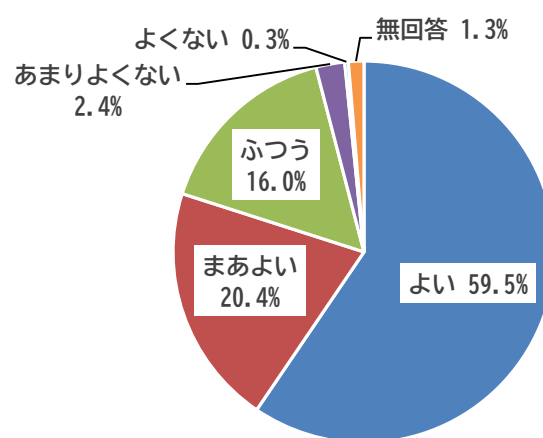


◇回答者全体（N=14,237）の健康状態別の割合は、【よい】【まあよい】が約8割を占めた。  
◇中学校2年生と全日制高校2年生は全体と同様の傾向であったが、定時制高校2年生相当では【よい】【まあよい】が約5割、【ふつう】が約4割との結果になった。

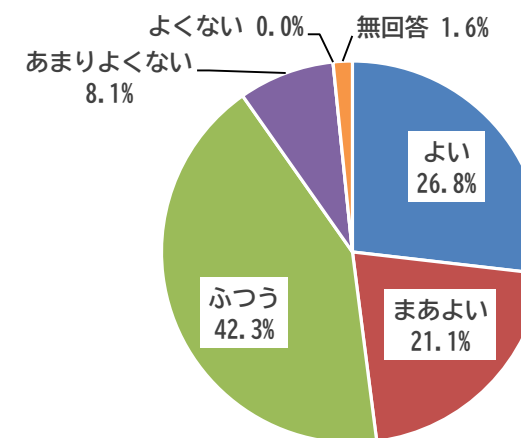
### 中学校2年生（N=7,309）



### 全日制高校2年生（N=6,805）



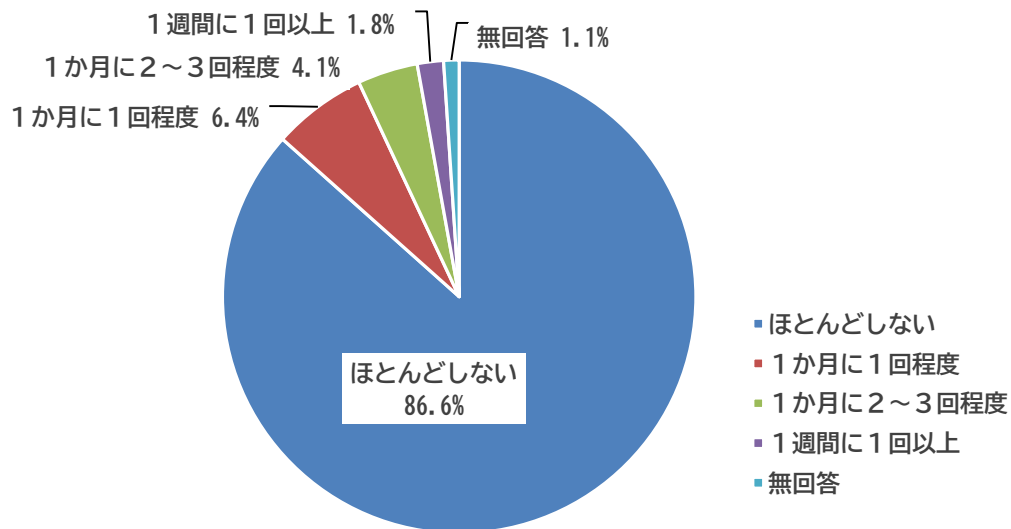
### 定時制高校2年生相当（N=123）



# 問5 学校の欠席状況について教えてください。

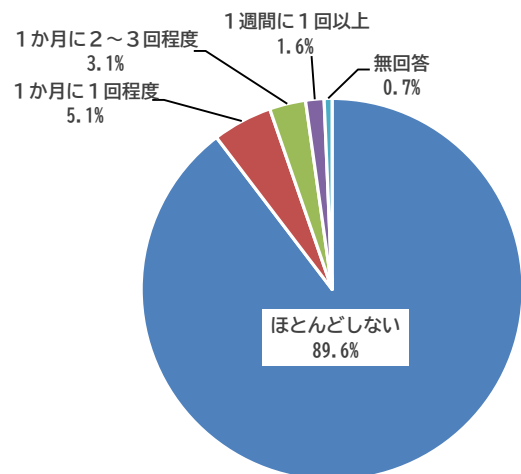
中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

### 欠席の状況（全体）（N=14,237）

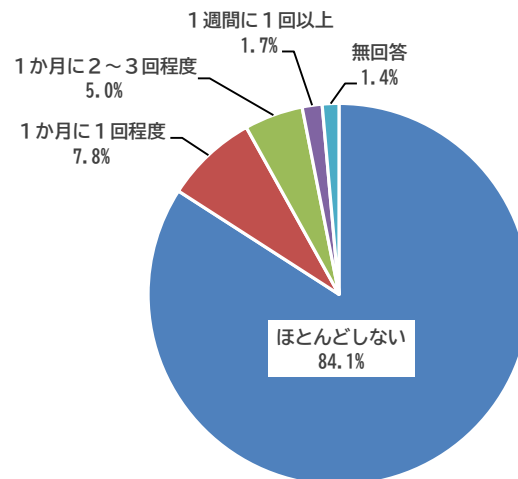


◇回答者全体（N=14,237）の欠席の状況は、【ほとんどしない】が8割超となった。  
◇中学校2年生と全日制高校2年生は全体と同様の傾向であったが、定時制高校2年生相当では【ほとんどしない】が半数を割り込む結果となった。

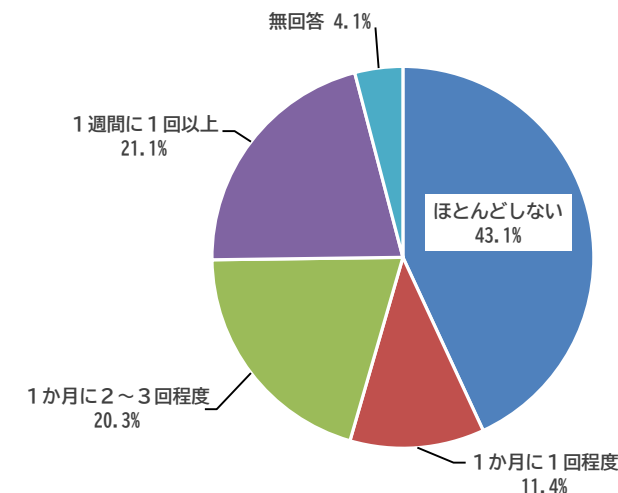
### 中学校2年生（N=7,309）



### 全日制高校2年生（N=6,805）

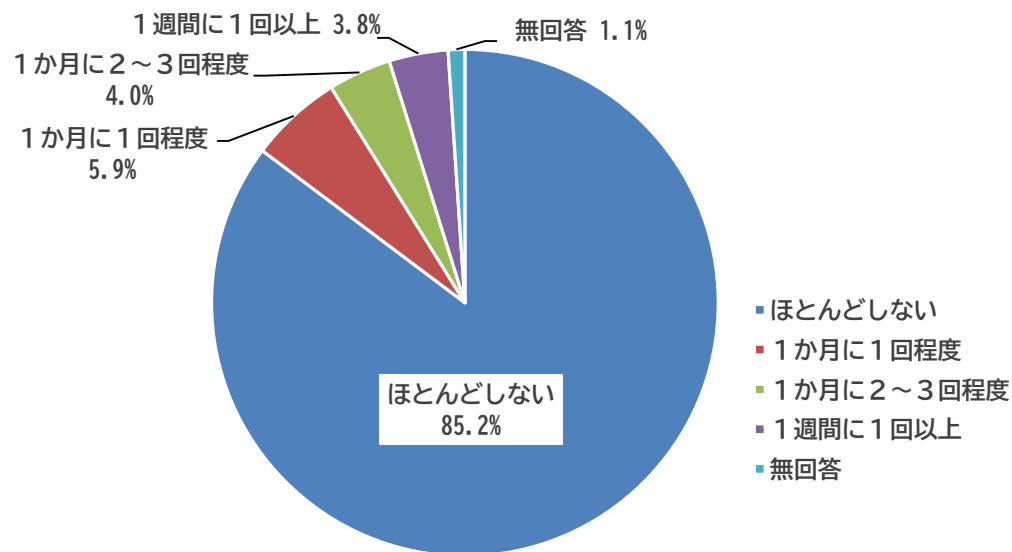


### 定時制高校2年生相当（N=123）



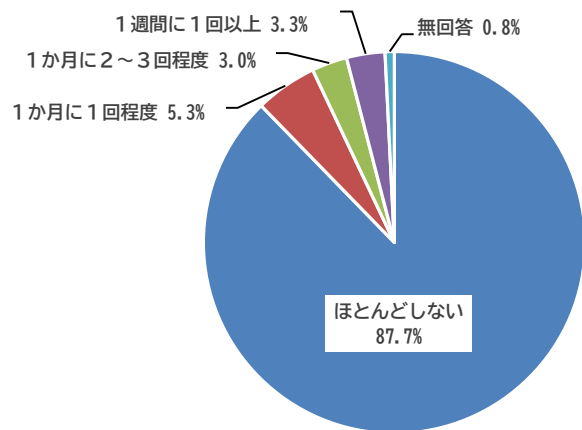
# 問6 遅刻や早退の状況について教えてください。

### 遅刻や早退の状況（全体）（N=14,237）

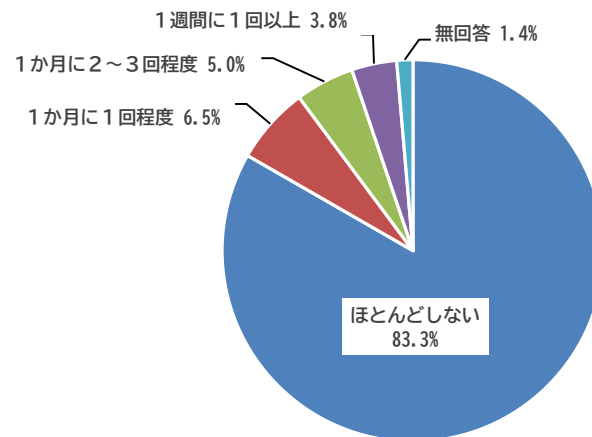


◇回答者全体（N=14,237）の遅刻や早退の状況は、【ほとんどしない】が8割超となった。  
◇中学校2年生と全日制高校2年生は全体と同様の傾向であったが、定時制高校2年生相当では欠席の状況と同様に【ほとんどしない】が半数を割り込む結果となった。

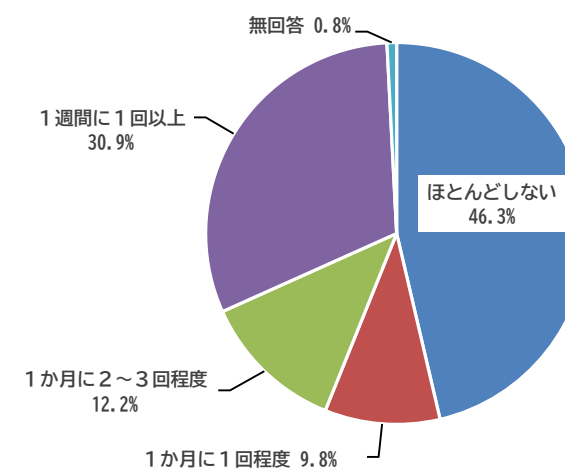
### 中学校2年生（N=7,309）



### 全日制高校2年生（N=6,805）



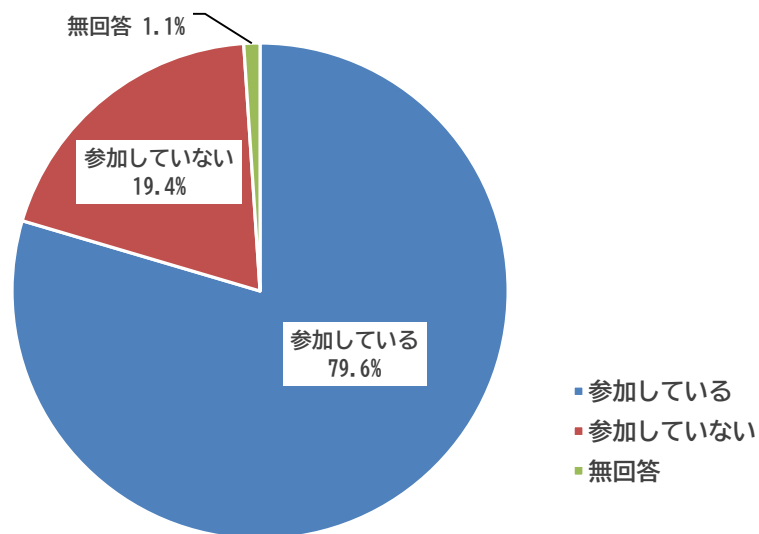
### 定時制高校2年生相当（N=123）



# 問7 部活動（学校外での活動を含む）に参加していますか。

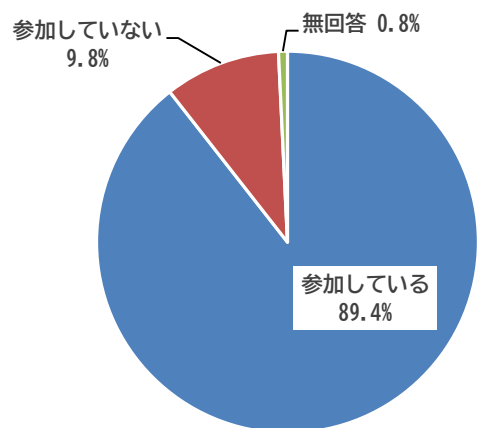
中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

## 部活動への参加（全体）（N=14,237）

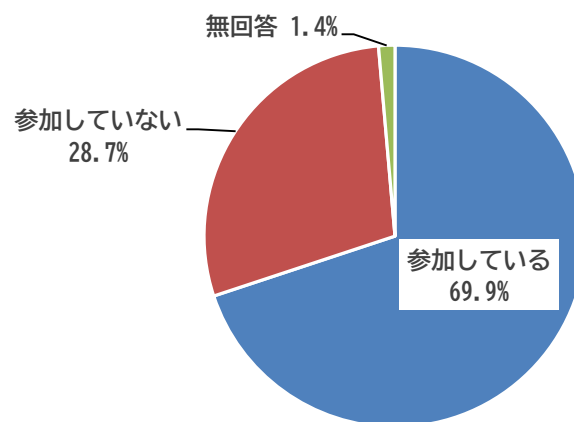


◇回答者全体（N=14,237）の部活動への参加状況は、【参加している】が約8割となった。  
◇【参加している】は、中学校2年生で約9割、全日制高校2年生で約7割であったが、定時制高校2年生相当では3割未満であった。

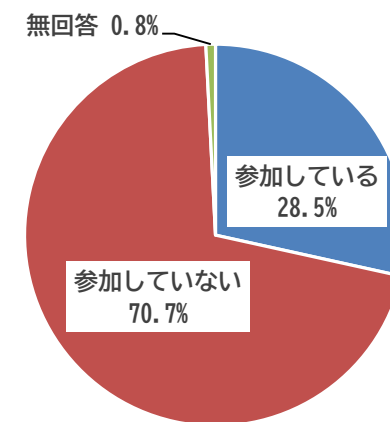
## 中学校2年生（N=7,309）



## 全日制高校2年生（N=6,805）



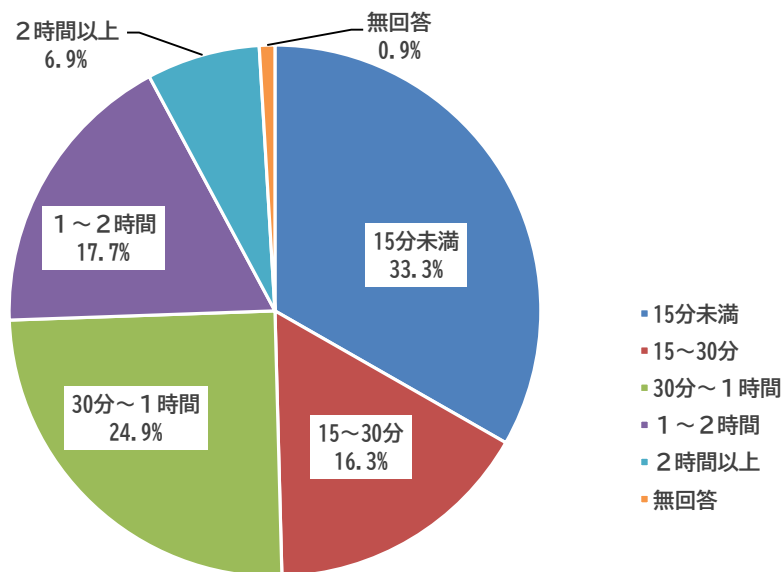
## 定時制高校2年生相当（N=123）



# 問8 平日（学校のある日）、家で1日にどのくらい勉強しているか 教えてください。

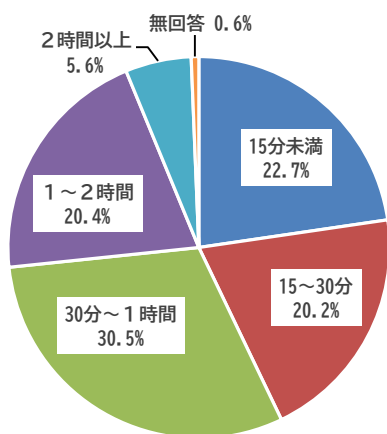
中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

平日の家での勉強時間（全体）（N=14,237）

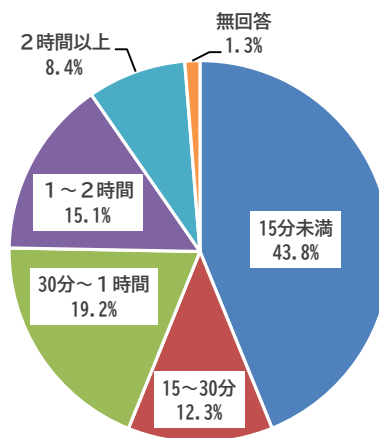


◇平日の勉強時間では、回答者全体（N=14,237）の約7割が1時間未満（【15分未満】+【15～30分】+【30分～1時間】）と回答した。  
◇1時間未満（【15分未満】+【15～30分】+【30分～1時間】）の回答は、中学校2年生、全日制高校2年生ともに約75%であったが、定時制高校2年生相当では【15分未満】の回答者が最も多く76.4%であり、1時間未満の割合は9割超となった。

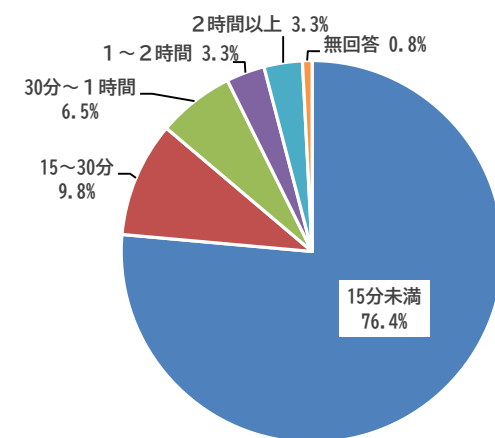
中学校2年生（N=7,309）



全日制高校2年生（N=6,805）



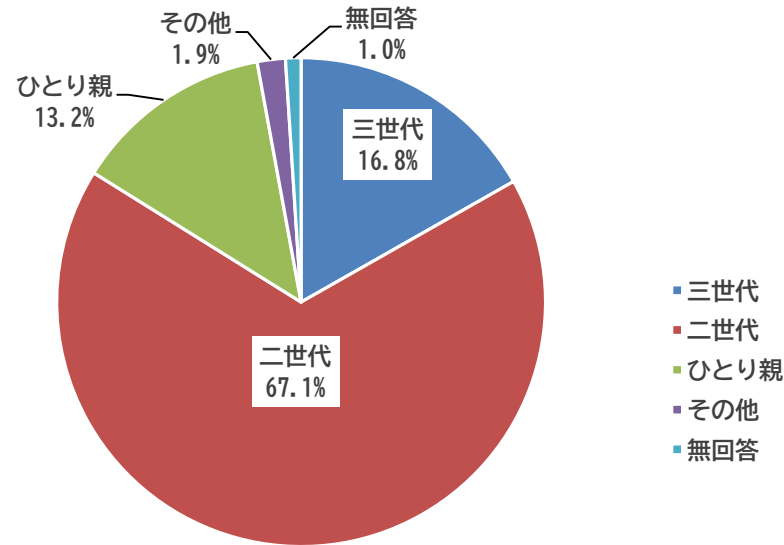
定時制高校2年生相当（N=123）



# 問9 一緒に住んでいる家族について、あてはまるものを全て選んでください。

中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

家族構成（全体）（N=14,237）

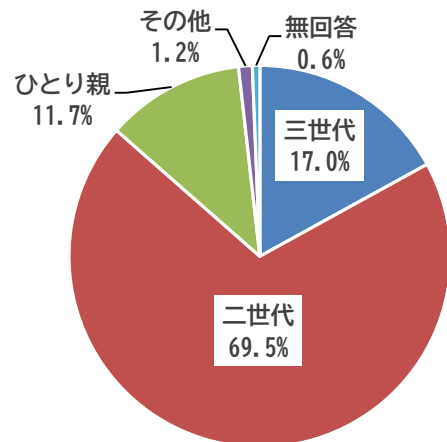


◇家族の構成員についての回答に基づき、回答者を【三世代世帯】【二世帯世帯】【ひとり親世帯】【その他】に類型化した。回答者全体（N=14,237）の約7割が二世帯同居世帯、16.8%が三世代同居世帯、13.2%がひとり親世帯であった。

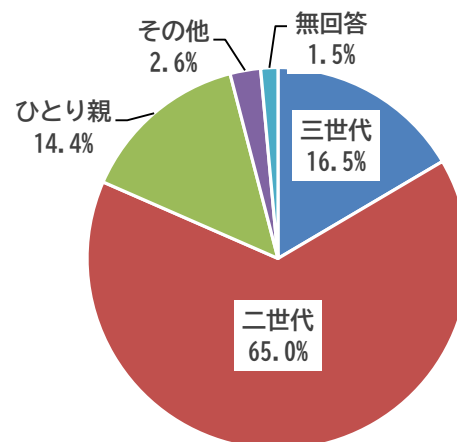
◇中学校2年生と全日制高校2年生は全体とほぼ同様の割合であったが、定時制高校2年生相当では二世帯同居世帯、ひとり親世帯がともに約4割となり、家族構成の違いが明確にあらわれた。

※回答者本人と父親+母親（+きょうだい等） → 【二世帯世帯】  
 二世帯世帯+祖父、祖母 → 【三世代世帯】  
 回答者本人と父親、母親のどちらか（+きょうだい等） → 【ひとり親世帯】  
 上記3パターン以外の世帯 → 【その他】

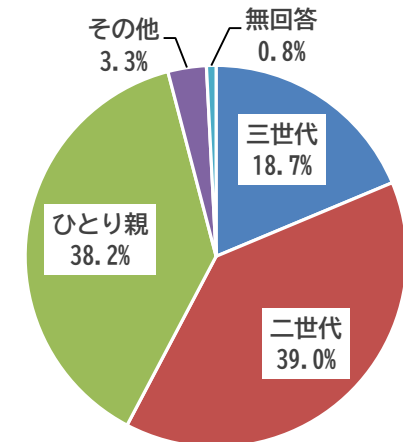
中学校2年生（N=7,309）



全日制高校2年生（N=6,805）



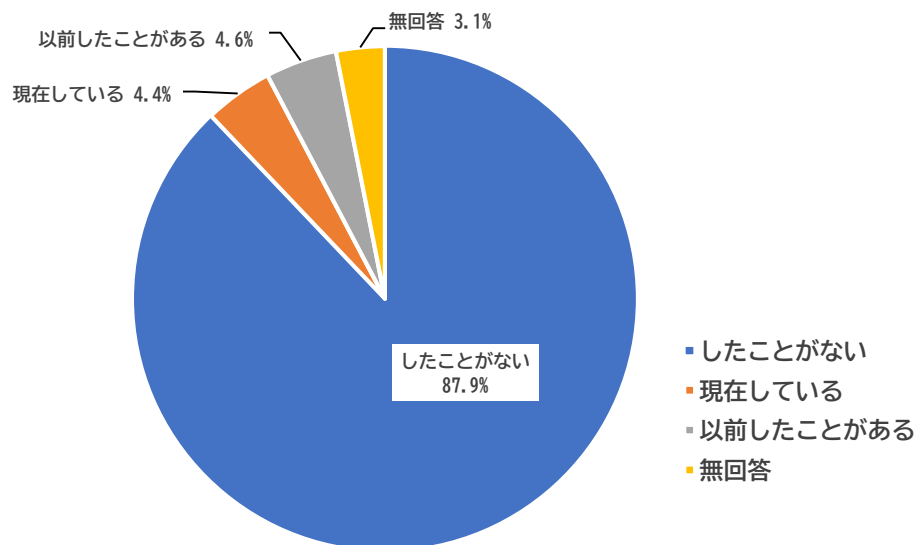
定時制高校2年生相当（N=123）



# 問10 あなたは、家族のケアをしたことがありますか。

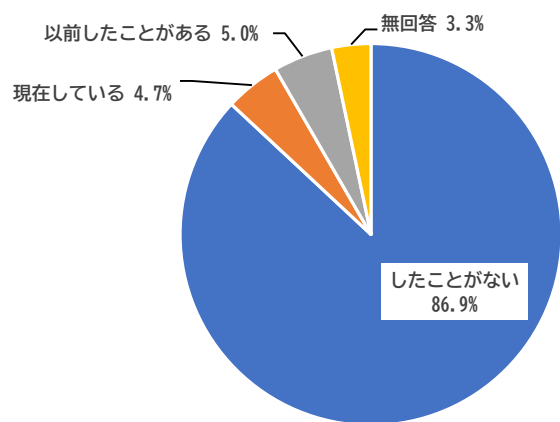
中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

### 家族のケアの経験（全体）（N=14,237）

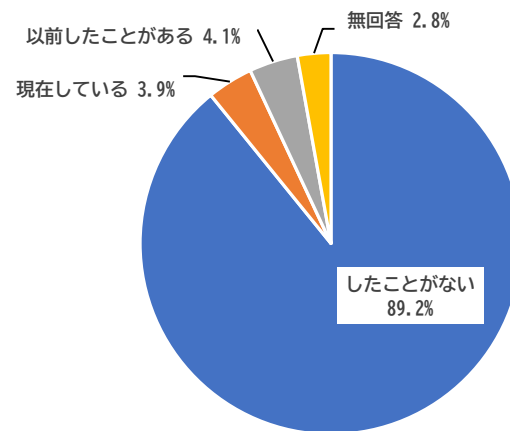


- ◇回答者全体（N=14,237）に占めるケアの経験者の割合は、【現在している】が4.4%で、【以前したことがある】も同程度の割合となった。
- ◇【現在している】は、中学校2年生で4.7%、全日制高校2年生で3.9%であったが、定時制高校2年生相当では13.8%とやや高い値となった。
- ◇国の調査では、世話をしている家族が【いる】と答えた回答者が、中学校2年生で5.7%、全日制高校2年生で4.1%、定時制高校2年生相当で8.5%となっている。

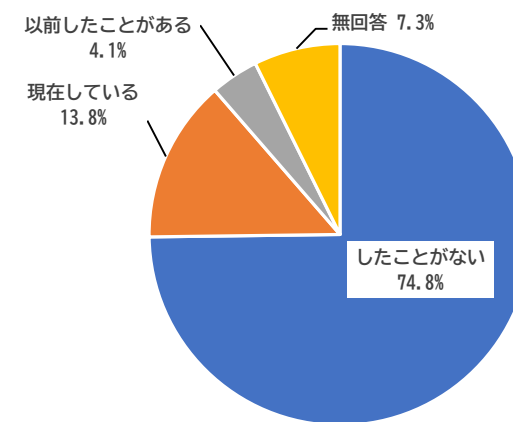
### 中学校2年生（N=7,309）



### 全日制高校2年生（N=6,805）



### 定時制高校2年生相当（N=123）

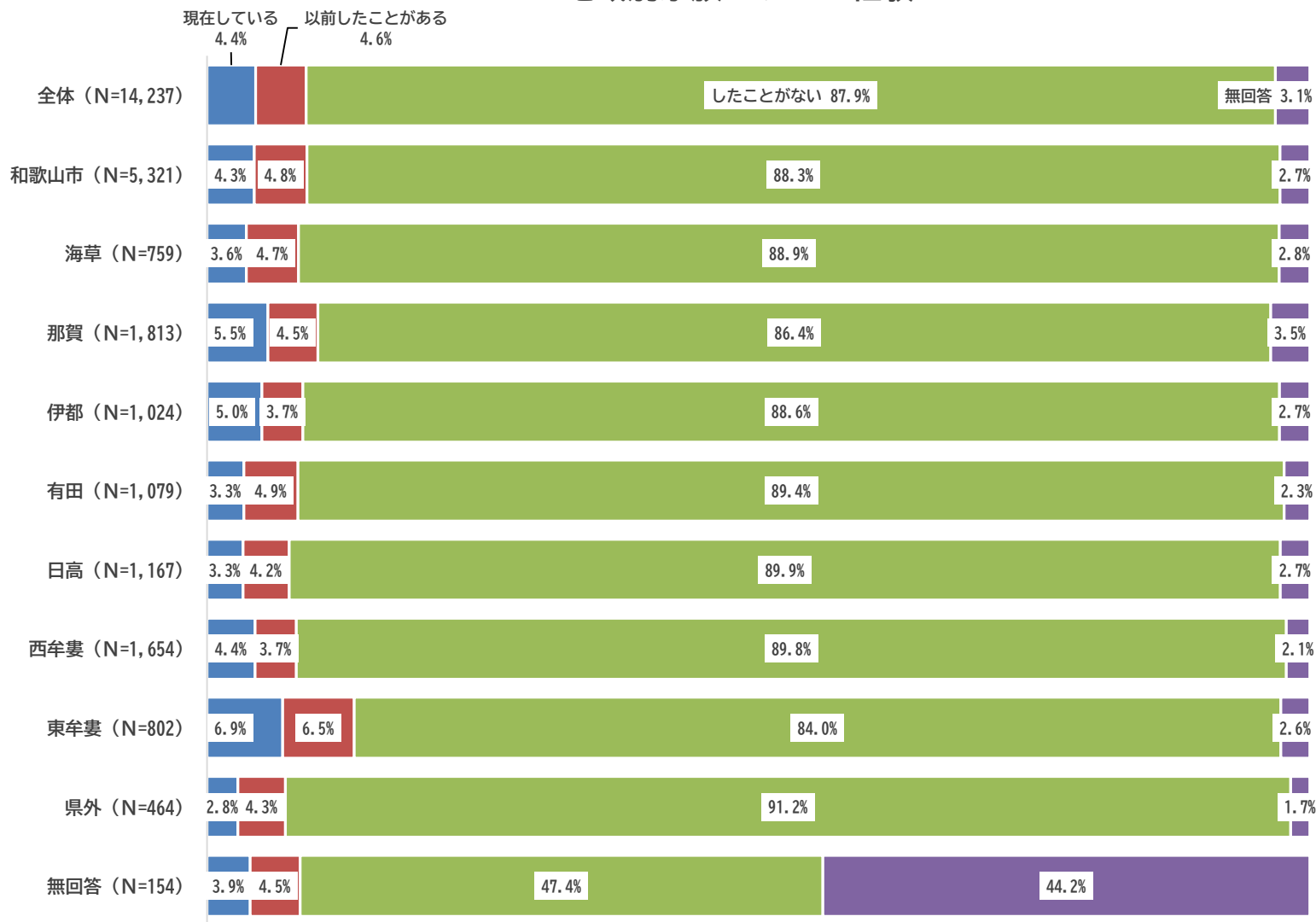




# 問10 あなたは、家族のケアをしたことがありますか。 (地域別比較)

中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

### 地域別家族のケアの経験



◇家族のケアの経験についての回答を地域別にみると、家族のケアを【現在している】の割合は、全ての地域で7%未満であった。  
◇最小値は日高地域の3.3%、最大値は東牟婁地域の6.9%となった。

海南市、紀美野町 → 【海草】  
 紀の川市、岩出市 → 【那賀】  
 橋本市、かつらぎ町、九度山町、高野町 → 【伊都】  
 有田市、湯浅町、広川町、有田川町 → 【有田】  
 御坊市、美浜町、日高町、由良町  
 印南町、みなべ町、日高川町 → 【日高】  
 田辺市、白浜町、上富田町、すさみ町 → 【西牟婁】  
 新宮市、那智勝浦町、太地町  
 古座川町、北山村、串本町 → 【東牟婁】  
 に分類

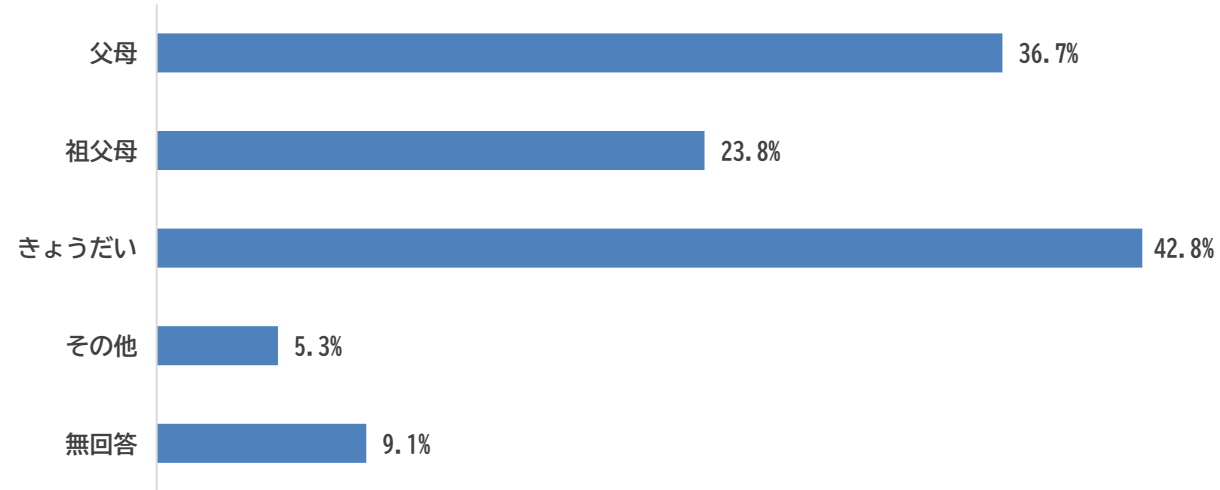
- 現在している
- 以前したことがある
- したことがない
- 無回答

# 問11 あなたがケアをしている家族について、あてはまるものを全て選んでください。

中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

ケアを必要とする家族（全体）（N=626）（複数回答）

※複数回答のため合計は100%ではありません

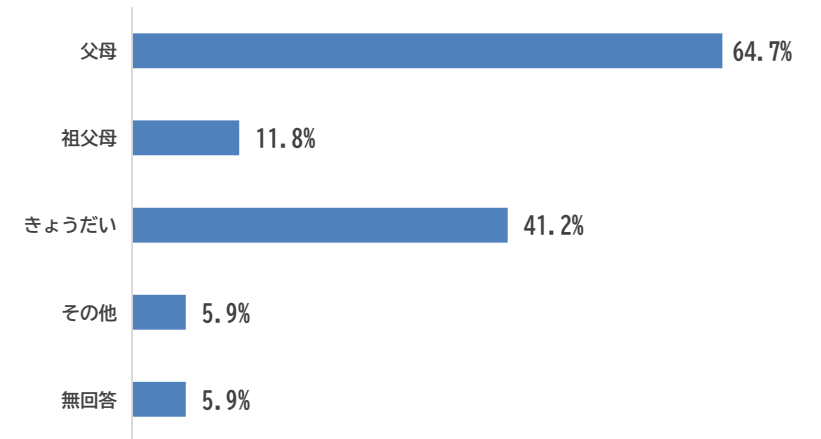
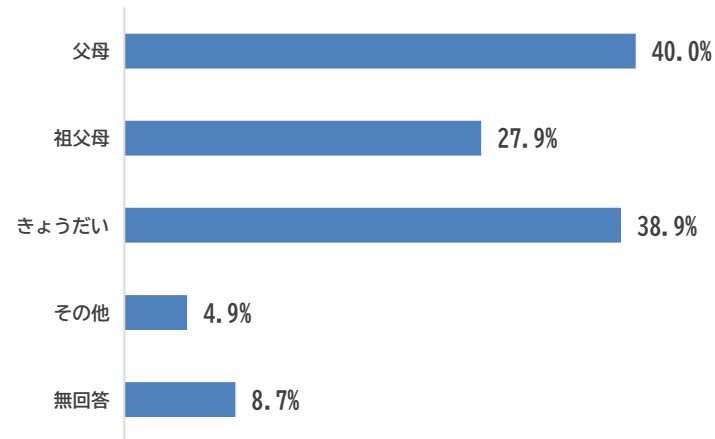
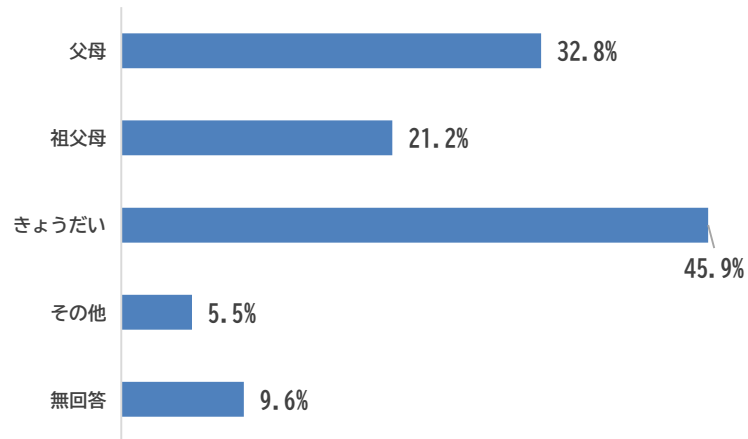


- ◇家族のケアをしている回答者全体（N=626）では、ケアを必要とする家族は【きょうだい】42.8%、次いで【父母】36.7%となった。【祖父母】は23.8%で、【きょうだい】の5割強に留まった。
- ◇学校種別に見ると、全日制高校2年生と定時制高校2年生相当では、【父母】が【きょうだい】を上回った。
- ◇国の調査では、全学校種で【きょうだい】が最も多く、【父母】【祖父母】と続いている。

中学校2年生（N=344）

全日制高校2年生（N=265）

定時制高校2年生相当（N=17）

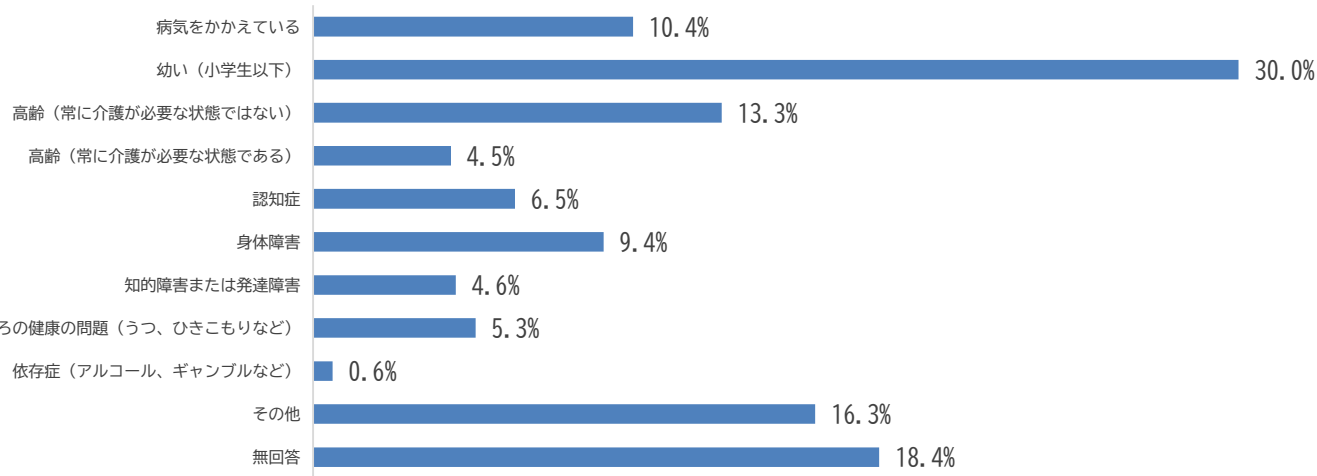


# 問12 あなたがケアをしている家族の主な課題について、あてはまるものを全て選んでください。

中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

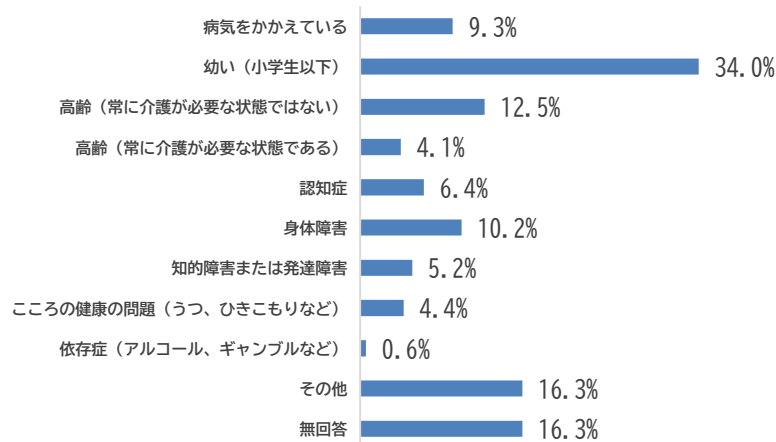
ケアを必要とする家族の主な課題 全体 (N=626) (複数回答)

※複数回答のため合計は100%ではありません

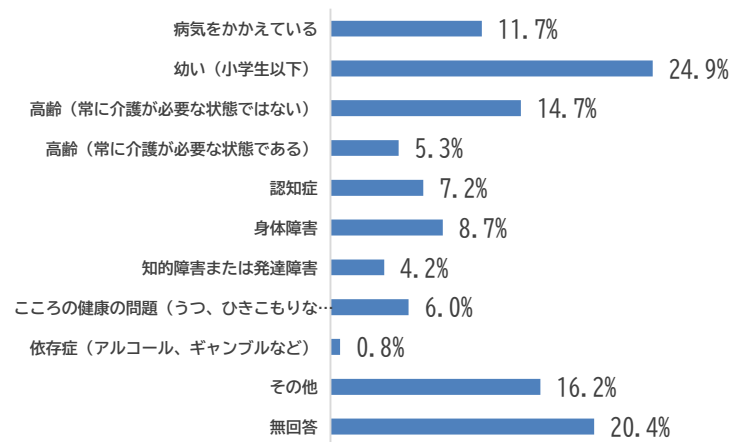


◇ケアを必要とする家族の主な課題では、回答者全体 (N=626) の約3割が【若い】を選び、次いで【高齢 (常に介護が必要な状態ではない)】 【病気】の順となった。  
 ◇中学校2年生と全日制高校2年生は全体と同様の傾向であったが、定時制高校2年生相当では【高齢 (常に介護が必要な状態ではない)】の割合が低下し、【こころの健康の問題】の割合が高くなった。

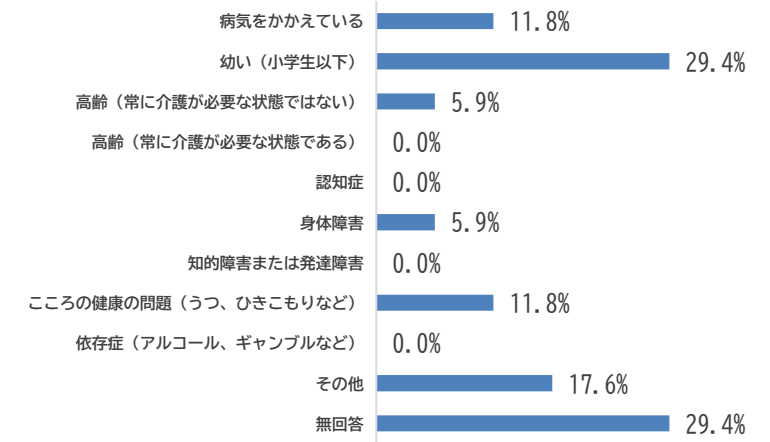
中学校2年生 (N=344)



全日制高校2年生 (N=265)



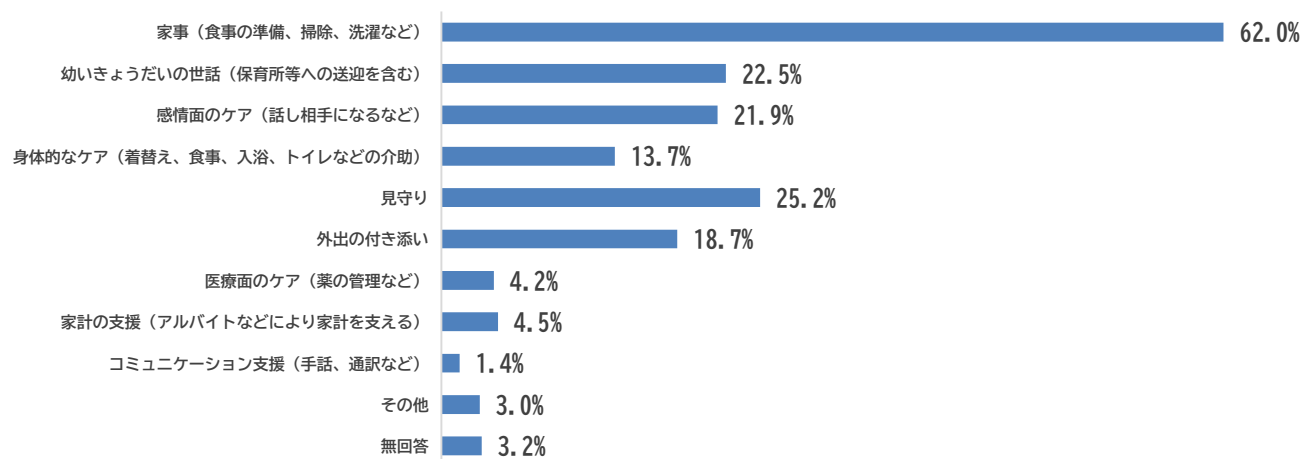
定時制高校2年生相当 (N=17)



# 問13 あなたが普段している家族のケアの内容について、あてはまるものを全て選んでください。

中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

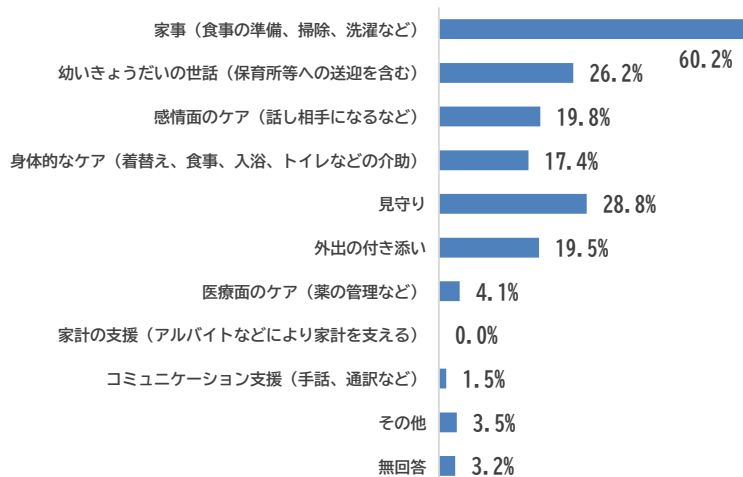
主なケアの内容（全体）（N=626）（複数回答）



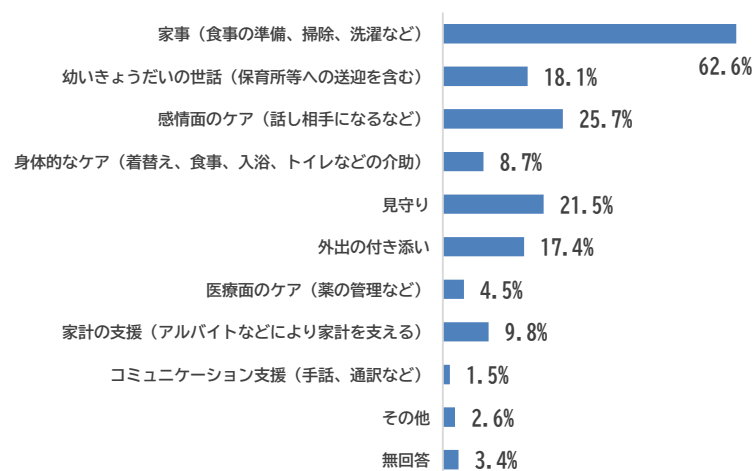
※複数回答のため合計は100%ではありません

◇主なケアの内容では、回答者全体（N=626）の約6割が【家事】を選び、次いで【見守り】【幼いきょうだいの世話】【感情面のケア】の割合が高くなった。  
◇中学校2年生と全日制高校2年生は全体と同様の傾向であったが、定時制高校2年生相当では【家事】の割合がさらに高くなり、一方で【感情面のケア】【見守り】の割合が低下した。

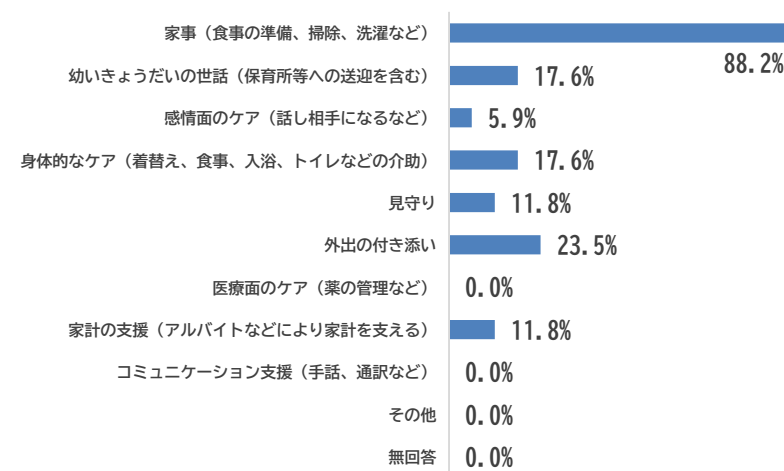
中学校2年生（N=344）



全日制高校2年生（N=265）



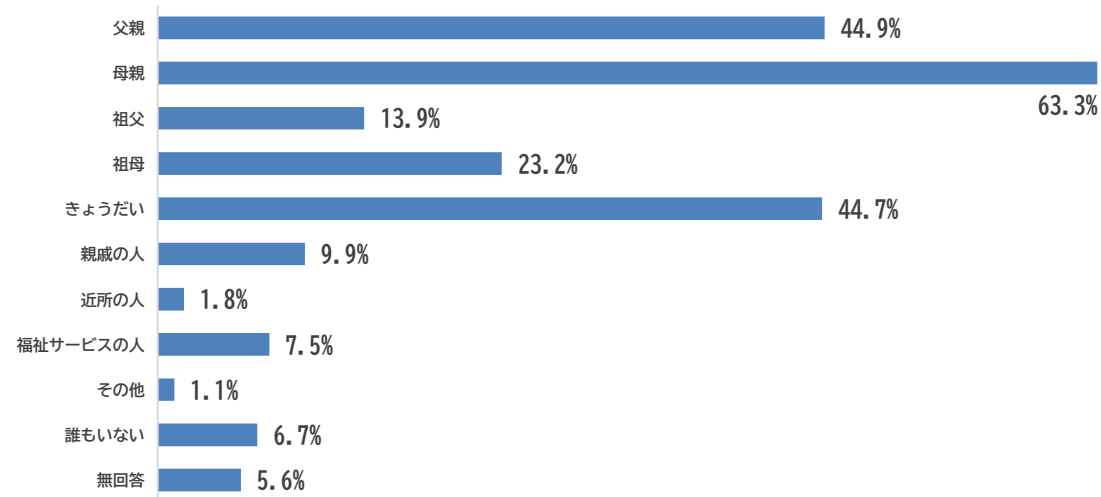
定時制高校2年生相当（N=17）



# 問14 あなたと一緒に家族のケアをしてくれる人について、あてはまるものを全て選んでください。

中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

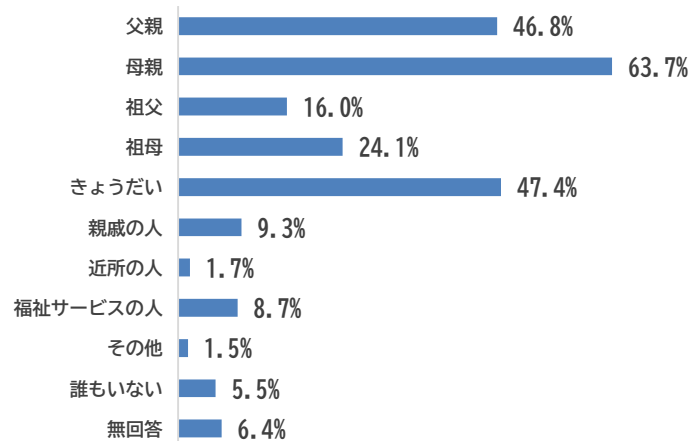
一緒に家族のケアをする人（全体）（N=626）（複数回答）



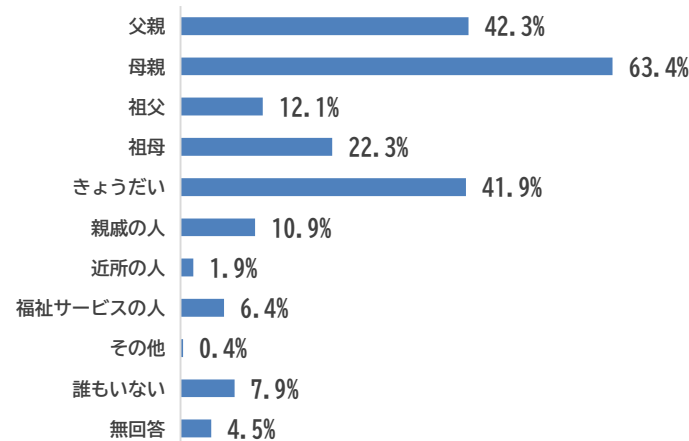
※複数回答のため合計は100%ではありません

◇一緒に家族のケアをする人では、回答者全体（N=626）の約6割が【母親】を選び、次いで【父親】【きょうだい】の割合が高かった。また、福祉サービスの利用者は全体の7.5%であった。  
 ◇中学校2年生と全日制高校2年生は全体と同様の傾向であったが、定時制高校2年生相当では【母親】の割合が約10%低下し、【誰もいない】の割合が高くなった。  
 ◇国の調査においても、全ての学校種で【母親】がもっとも多くなっているが、【自分のみ】が中学校2年生や全日制高校2年生では約1割と、今回の調査における【誰もいない】の割合に比べやや高い結果となっている。

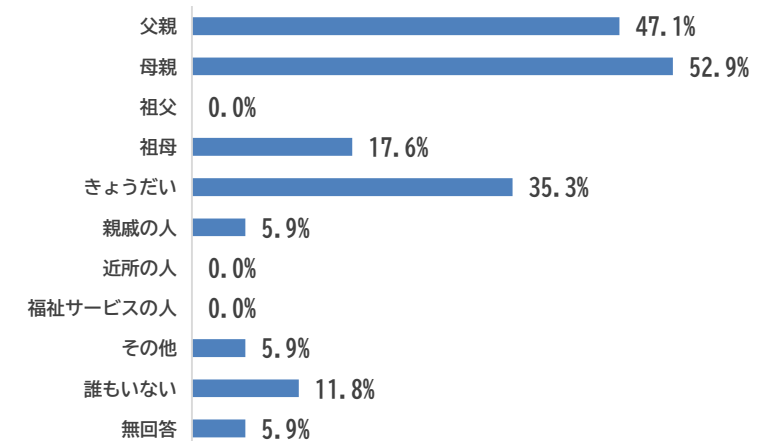
中学校2年生（N=344）



全日制高校2年生（N=265）



定時制高校2年生相当（N=17）

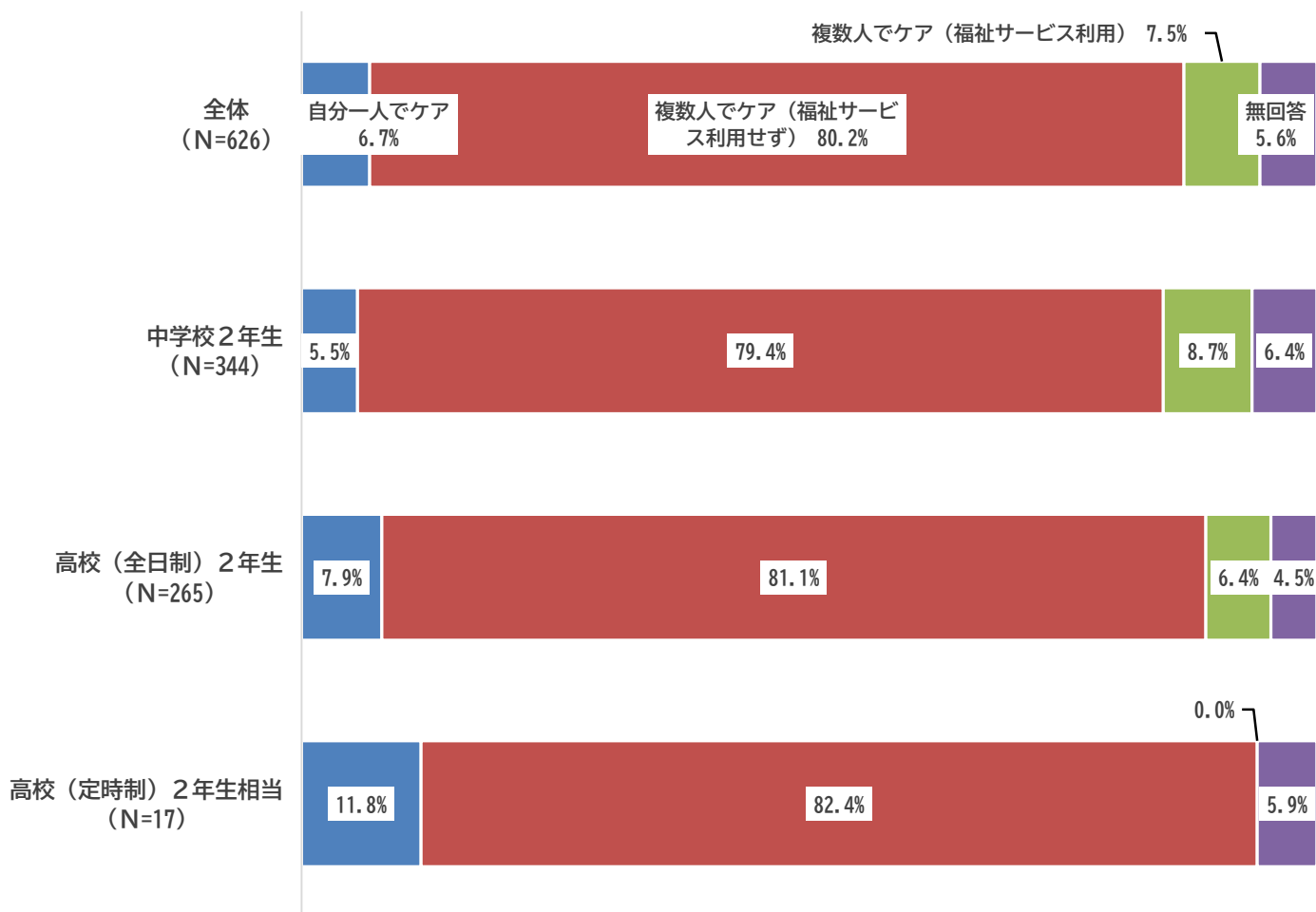


# 問14 あなたと一緒に家族のケアをしてくれる人について

(一緒に家族のケアをする人の類型化後のデータ)

中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

一緒に家族のケアをする人 (類型化後)



■ 自分一人でケア      ■ 複数人でケア (福祉サービス利用せず)  
■ 複数人でケア (福祉サービス利用)      ■ 無回答

◇回答者全体 (N=626) では、約9割が家族や福祉サービス事業者などと複数人でケア (【複数人でケア(福祉サービス利用せず)】 + 【複数人でケア(福祉サービス利用)】) を行っている一方、【自分一人でケア】も1割弱存在する。

◇中学校2年生と全日制高校2年生は全体と同様の傾向であったが、定時制高校2年生相当では【複数人でケア(福祉サービス利用)】との回答がなく、一方で【自分一人でケア】の割合が高くなった。

※選択肢のうち

〈⑩誰もいない〉のみを回答

→ 【自分一人でケア】

〈⑧福祉サービスの人〉を含む回答

→ 【複数人でケア (福祉サービス利用)】

⑩と⑧を含まない回答

→ 【複数人でケア (福祉サービス利用せず)】

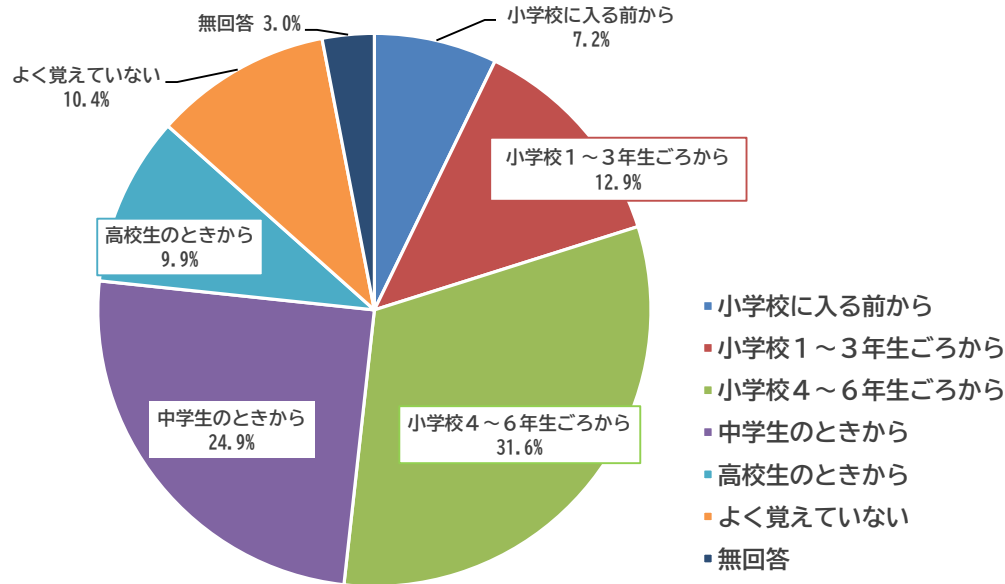
回答なし → 【無回答】

に類型化した。

# 問15 あなたが家族のケアをするようになったのは、いつごろからですか。

中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

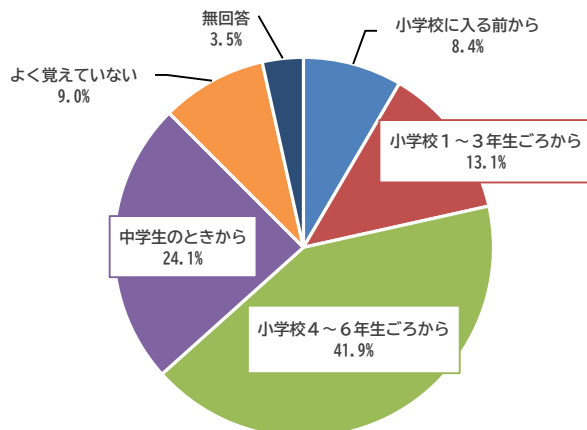
ケアの開始時期（全体）（N=626）



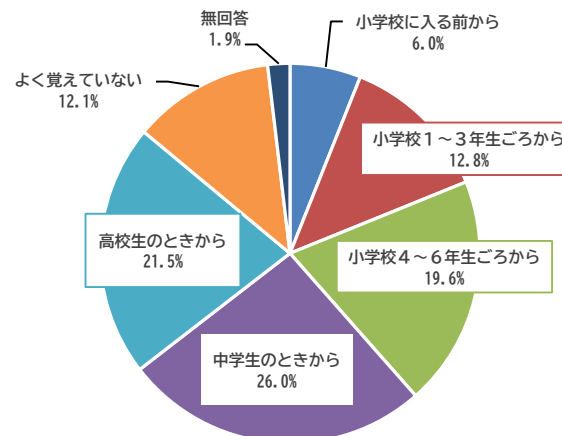
◇ケアの開始時期について、回答者全体（N=626）では約5割が小学生の時期からケアを行っていた。ただし、中学校2年生については【高校生のときから】という選択がなく、中学生としての期間も約1年半であることから、必然的に【小学生から】の割合が高くなっていると考えられ、各学校種別に判断する必要がある。

◇国の調査においても同様に、中学校2年生では【小学生（高学年）】、全日制高校2年生では【中学生以降】が最も多くなっている。

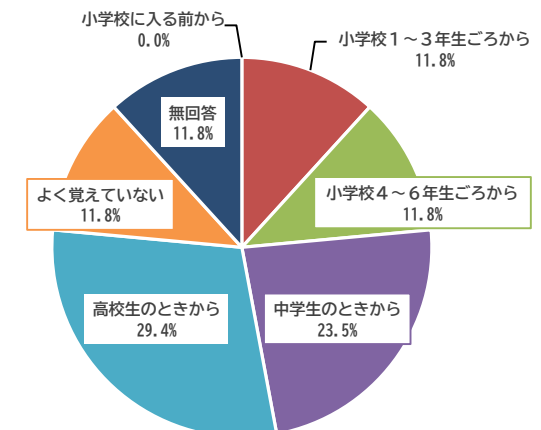
中学校2年生（N=344）



全日制高校2年生（N=265）



定時制高校2年生相当（N=17）

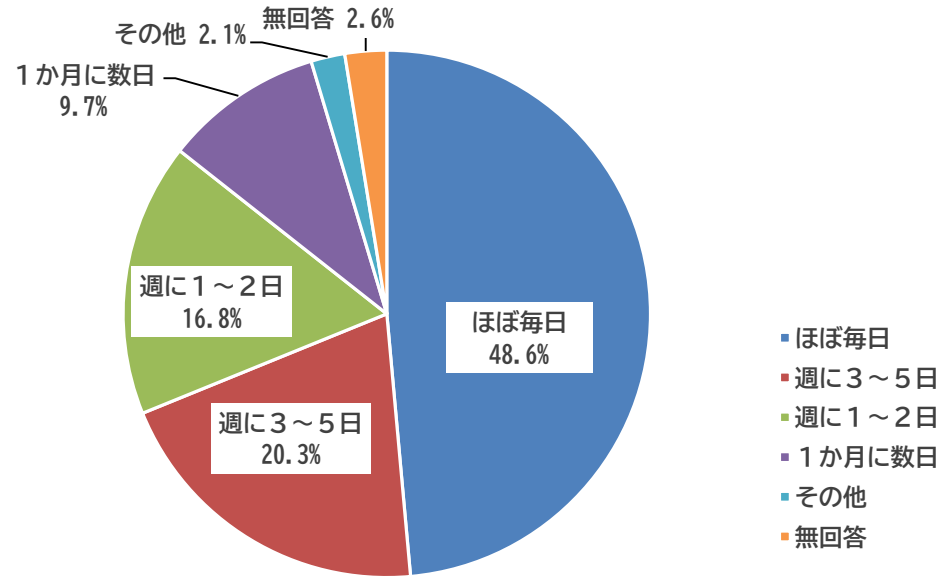


対象が中学生のため【高校生のときから】の回答は存在しません

# 問16 あなたはどのくらいのペースで家族のケアをしていますか。

中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

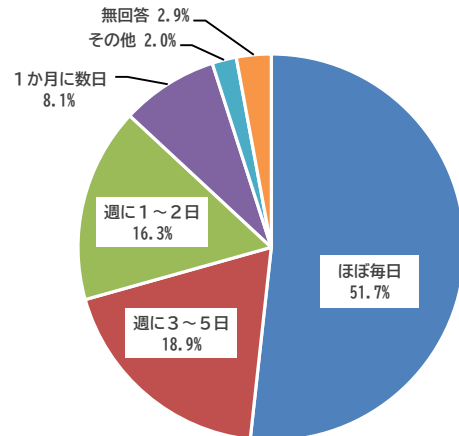
ケア頻度（全体）（N=626）



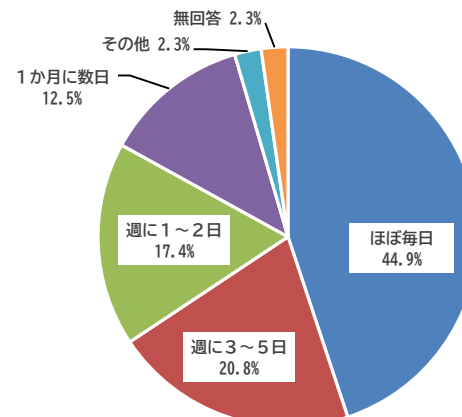
◇ケアの頻度では、回答者全体（N=626）の約半数が【ほぼ毎日】を選択し、【週に3~5日】を加えると、全体の7割に迫る割合となっている。  
 ◇中学校2年生と全日制高校2年生は全体と同様の傾向であったが、定時制高校2年生相当では【ほぼ毎日】に【週に3~5日】を加えた割合が約8割まで増加した。  
 ◇国の調査でも、全学校種で【ほぼ毎日】が一番多くなっている。

※グラフ化にあたり、【無回答】【その他】の値が〈0〉の場合は表示していない

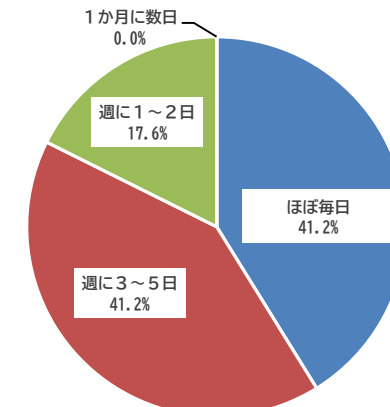
中学校2年生（N=344）



全日制高校2年生（N=265）



定時制高校2年生相当（N=17）

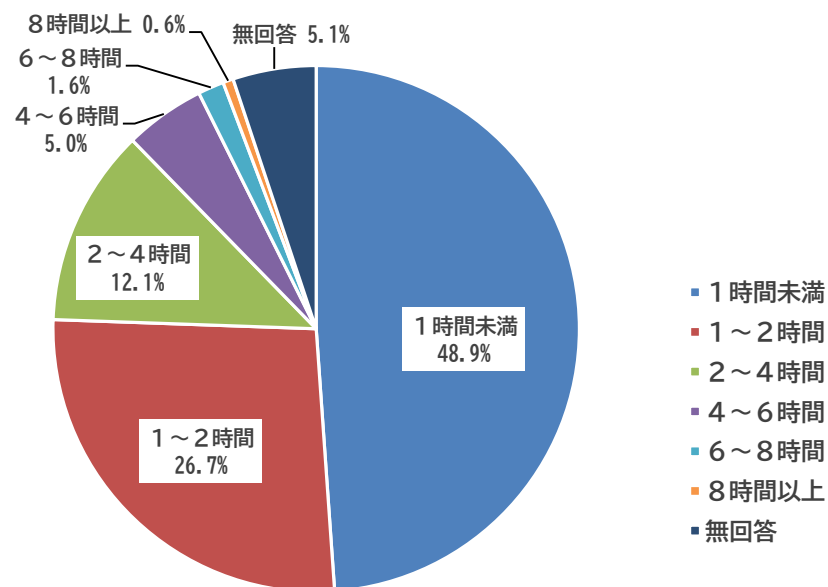




# 問17 平日（学校のある日）において、あなたが家族のケアをしている時間はどのくらいですか。

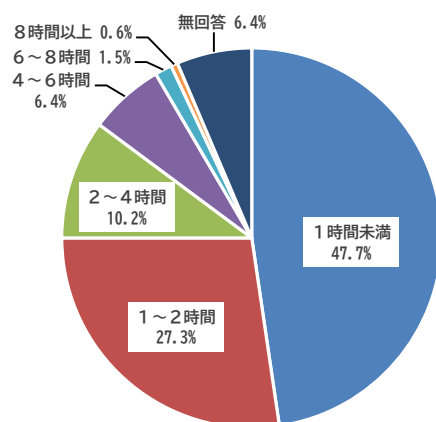
中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

ケアに要する時間（平日）（全体）（N=626）

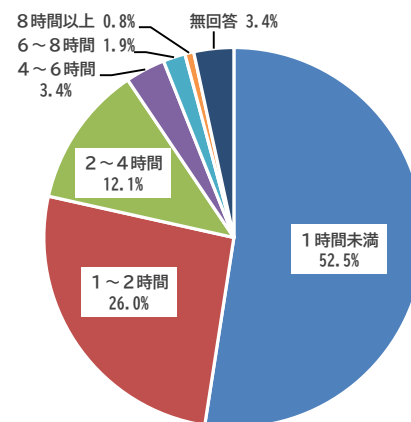


◇ケアに要する時間（平日1日あたり）では、回答者全体（N=626）の約半数が【1時間未満】を選択し、【1～2時間】を加えると、全体の約75%に達した。  
 ◇中学校2年生と全日制高校2年生は全体と同様の傾向であったが、定時制高校2年生相当では【1時間未満】に【1～2時間】を加えた割合が約40%まで低下し、2時間以上が5割超となった。  
 ◇国の調査でも同様に、中学校2年生、全日制高校2年生と比べ、定時制高校2年生相当では、やや長時間化の傾向がみられた。

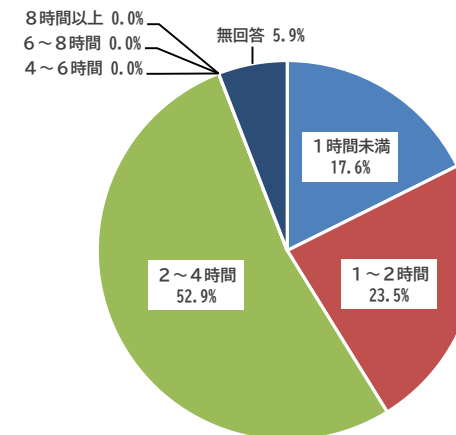
中学校2年生（N=344）



全日制高校2年生（N=265）



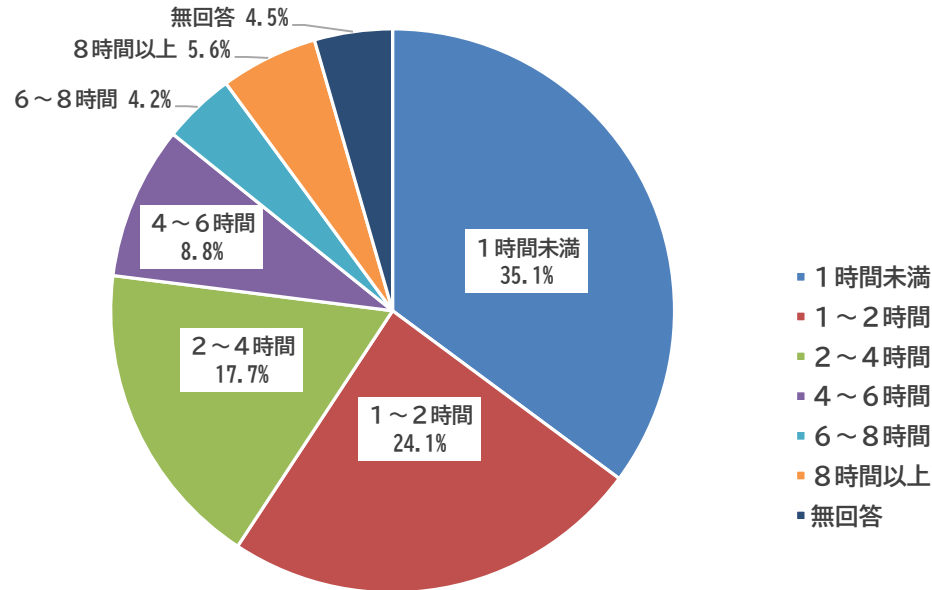
定時制高校2年生相当（N=17）



# 問18 休日において、あなたが家族のケアをしている時間はどのくらいですか。

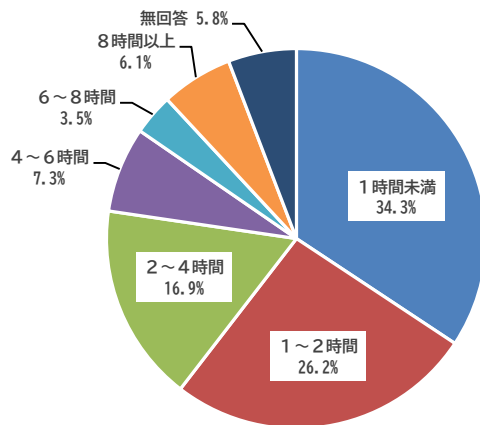
中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

ケアに要する時間（休日）（全体）（N=626）

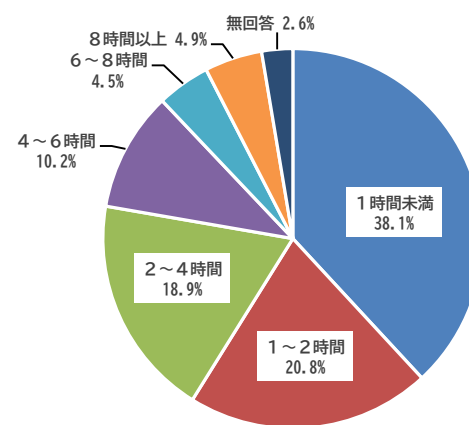


◇ケアに要する時間（休日1日あたり）では、回答者全体（N=626）の約35%が【1時間未満】を選択し、【1～2時間】を加えると、全体の約6割となった。  
 ◇中学校2年生と全日制高校2年生は全体と同様の傾向であったが、定時制高校2年生相当では【1時間未満】に【1～2時間】を加えた割合が約40%まで低下し、2時間以上が5割超となった。

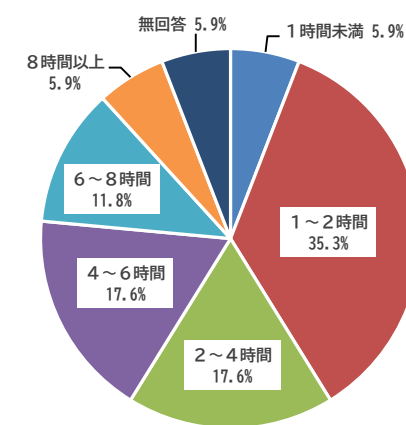
中学校2年生（N=344）



全日制高校2年生（N=265）



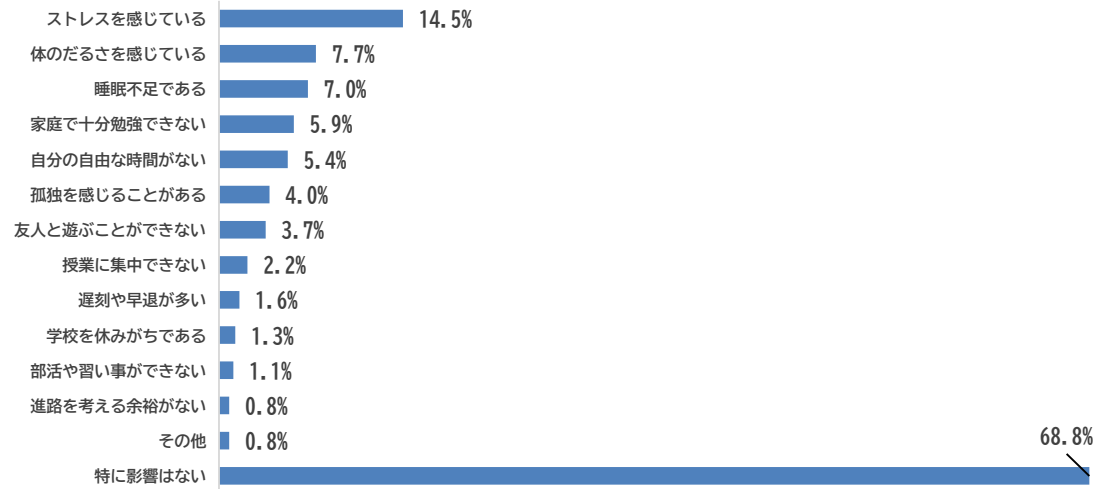
定時制高校2年生相当（N=17）



# 問19 家族のケアをしているために、自分の生活にどのような影響が出ていると思いますか。（複数回答）

中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

自分の生活への影響（全体）（N=626）（複数回答）

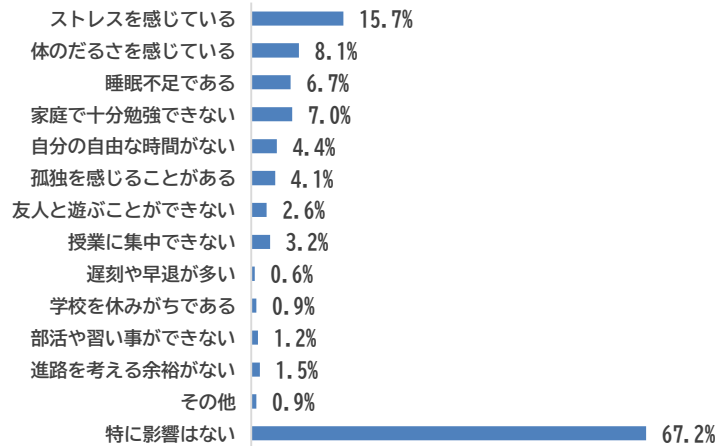


※複数回答のため合計は100%ではありません

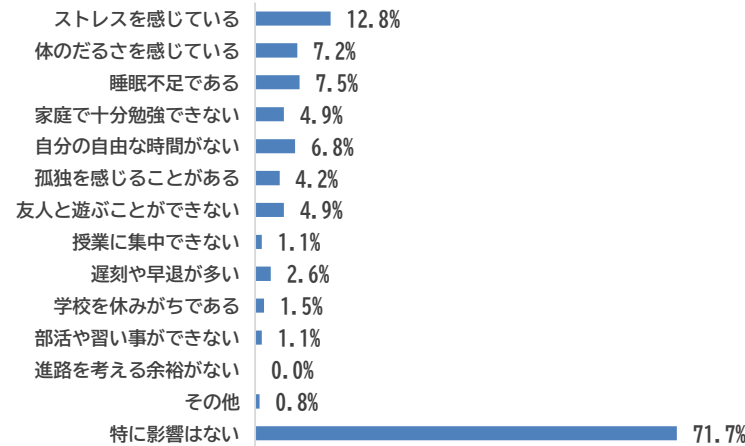
◇自分の生活への影響では、回答者全体（N=626）の約7割が【特に影響はない】を選択したが、それ以外の項目では【ストレス】が最も多く、次いで【体のだるさ】【睡眠不足】の順となっている。

◇中学校2年生と全日制高校2年生は全体と同様の傾向であったが、定時制高校2年生相当では【特に影響はない】が約60%まで低下し、【ストレス】の割合がやや高めとなった。

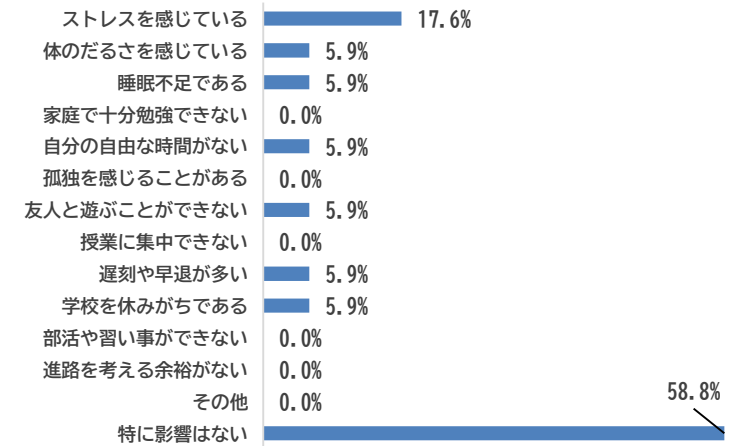
中学校2年生（N=344）



全日制高校2年生（N=265）



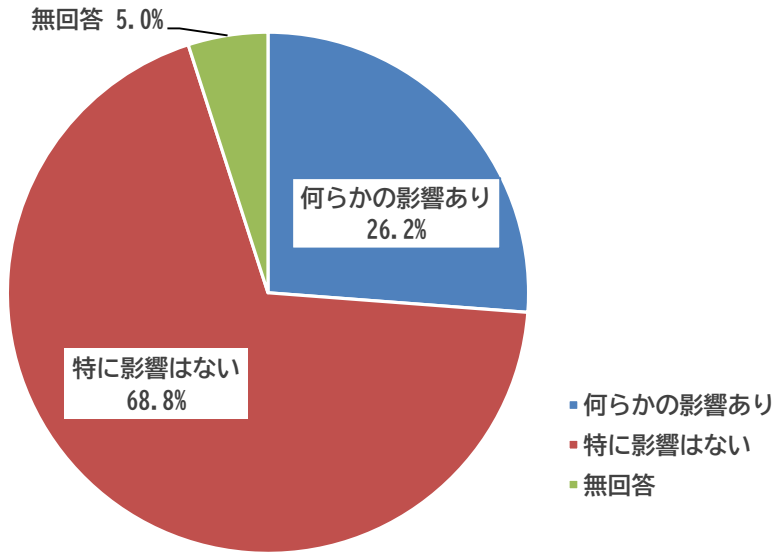
定時制高校2年生相当（N=17）



# 問19 家族のケアをしているために、自分の生活にどのような影響が出ていると思いますか。（類型化後）

中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

自分の生活への影響（類型化）（全体）（N=626）

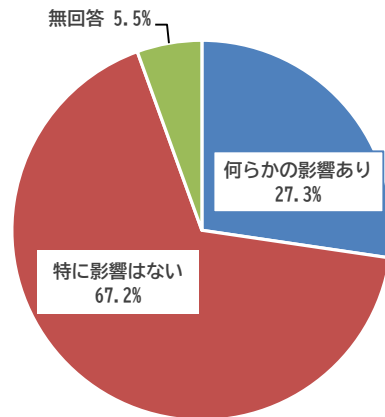


- ◇自分の生活への影響への回答を【何らかの影響あり】【特に影響はない】【無回答】に類型化して集計した。
- ◇【何らかの影響あり】に分類された総数は164人で、家族のケアを現在している回答者（626人）に占める割合、アンケートの全回答者（14,237人）に占める割合は、それぞれ26.2%、1.2%であった。
- ◇学校種別に見ると、中学校2年生の27.3%、全日制高校2年生の24.2%、定時制高校2年生相当の35.3%が【何らかの影響あり】に分類された。

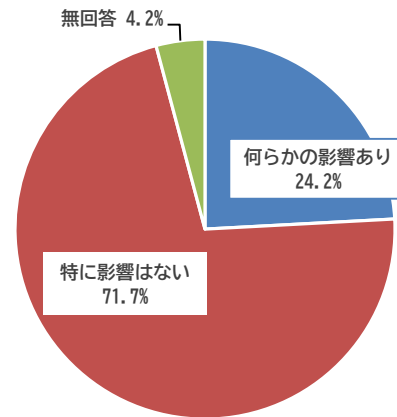
※選択肢のうち

- ⑭【特に影響はない】を選択 → 【特に影響はない】
  - ⑭【特に影響はない】以外を選択 → 【何らかの影響あり】
  - ⑭【無回答】を選択 → 【無回答】
- に類型化した。

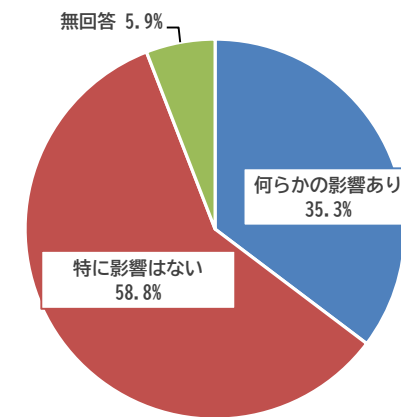
中学校2年生（N=344）



全日制高校2年生（N=265）



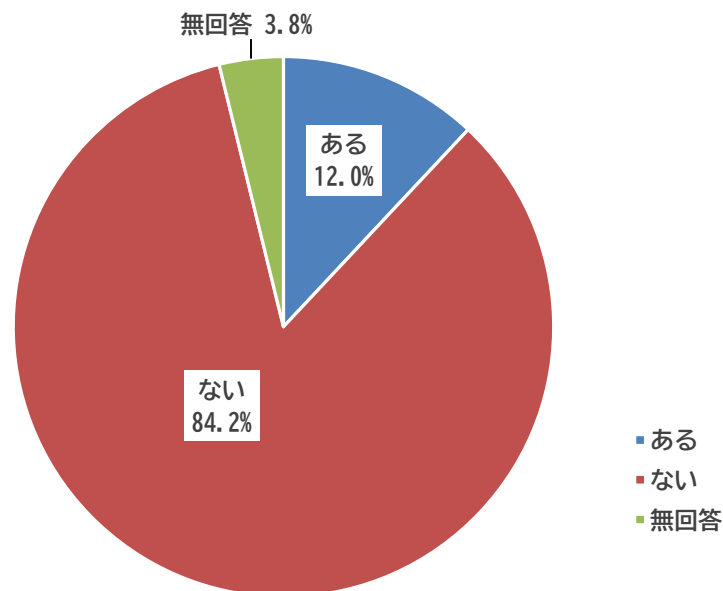
定時制高校2年生相当（N=17）



# 問20 家族のケアに関する悩みを誰かに相談したことがありますか。

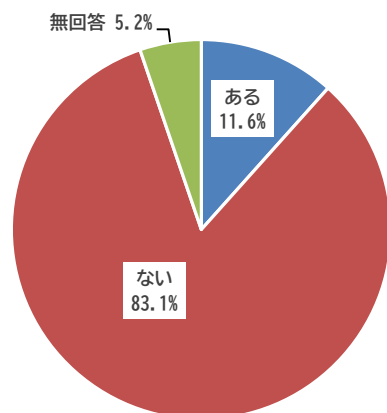
中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

### ケアに関する悩みの相談経験（全体）（N=626）

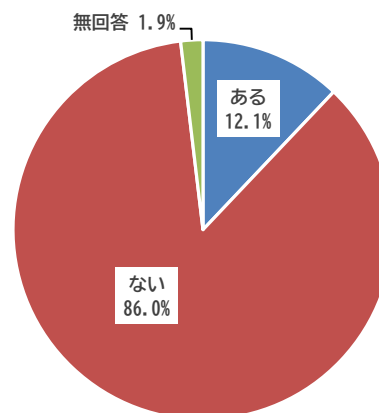


◇ケアに関する悩みの相談経験では、回答者全体（N=626）で【ある】を選択したのは約1割に留まった。  
◇中学校2年生と全日制高校2年生は全体と同様の傾向であったが、定時制高校2年生相当では【ある】の割合がやや高く、2割に近い値となった。  
◇国の調査では、今回の調査と比べ、全学校種で【ある】を選択した割合が高くなっており、中学校2年生と全日制高校2年生で約2割、定時制高校2年生相当で約3割となっている。

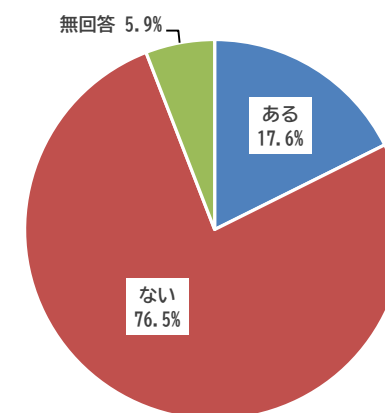
### 中学校2年生（N=344）



### 全日制高校2年生（N=265）



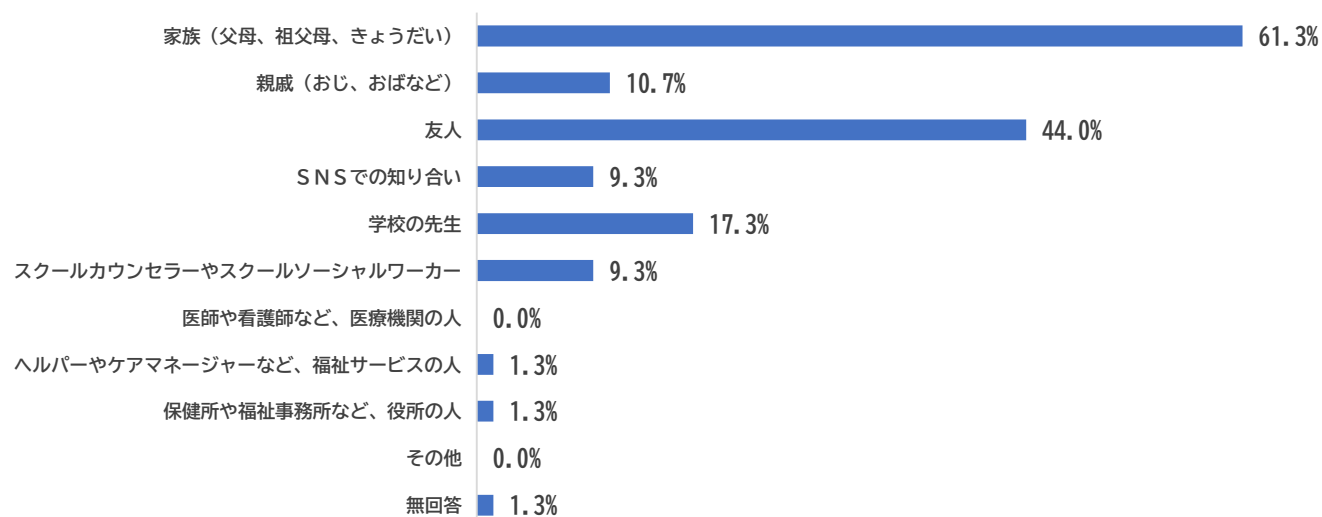
### 定時制高校2年生相当（N=17）



# 問21 【問20で「① ある」と回答した方】相談した方について、あてはまるものを全て選んでください。

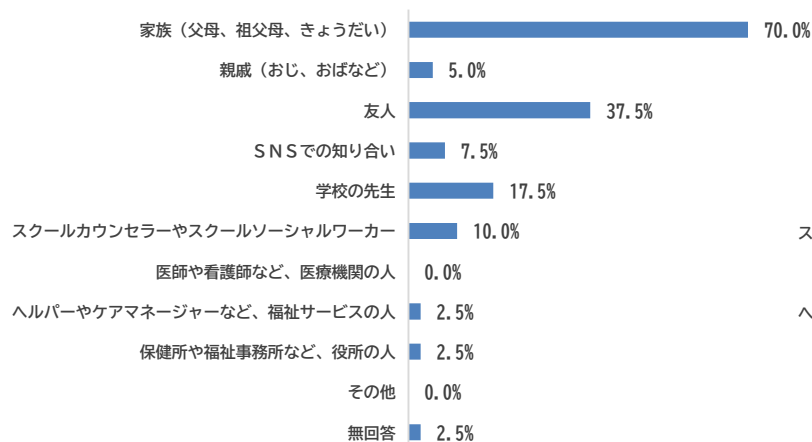
中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

家族のケアに関する悩みの相談経験がある回答者の相談相手（全体）（N=75）（複数回答） ※複数回答のため合計は100%ではありません

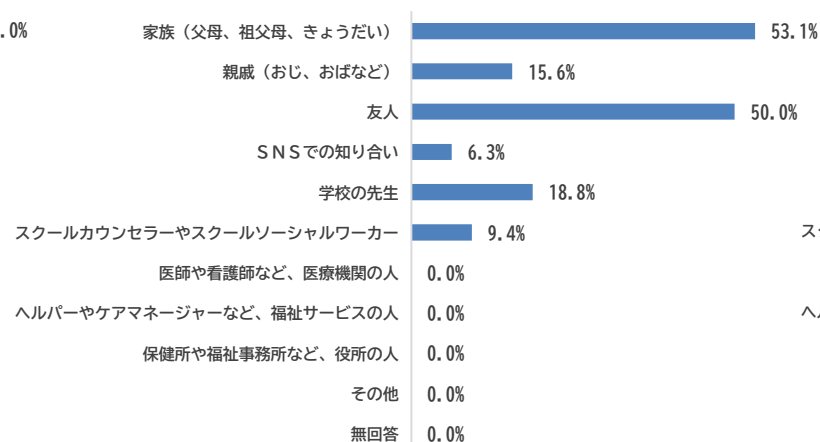


◇家族のケアに関する悩みの相談経験がある回答者の相談相手については、回答者全体（N=75）の約6割が【家族】、次いで【友人】【学校の先生】と回答した。中学校2年生と全日制高校2年生でも同様の傾向であった。  
 ◇国の調査においても同様に、【家族】が約7割、次いで【友人】【学校の先生】であった。

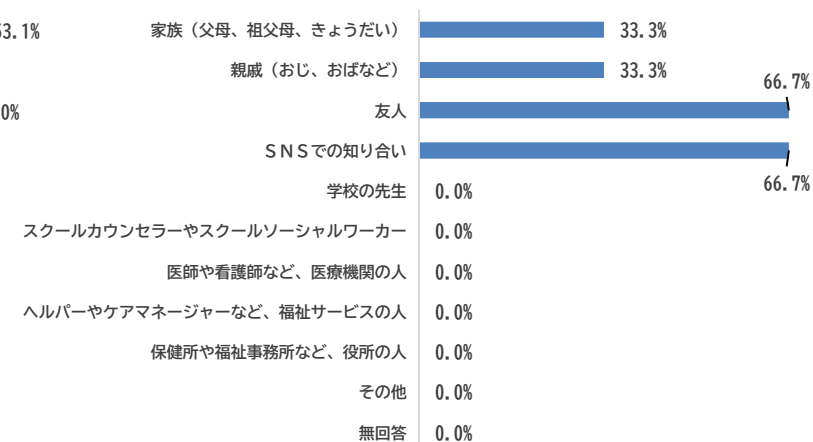
中学校2年生（N=40）



全日制高校2年生（N=32）



定時制高校2年生相当（N=3）

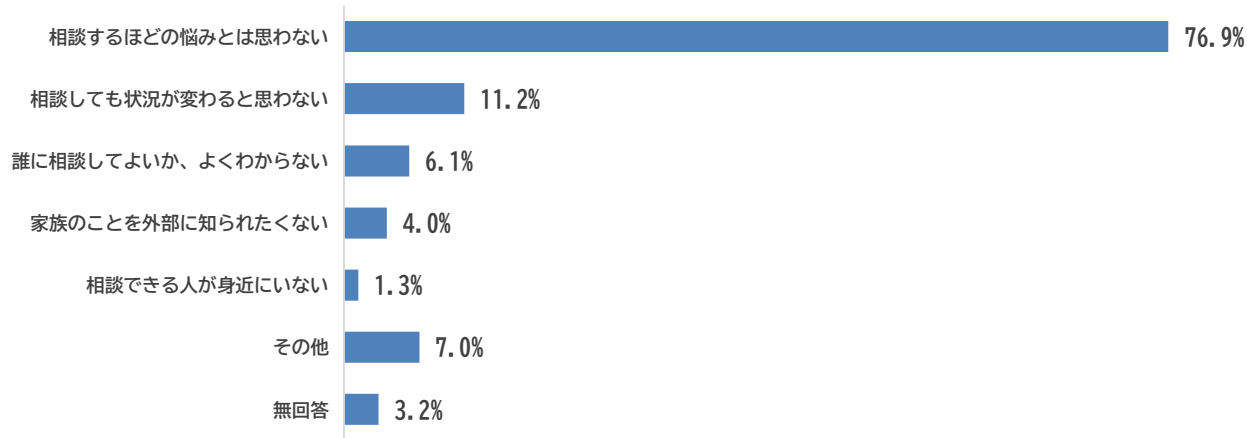


# 問22 【問20で「② ない」と回答した方】その理由についてあてはまるものを 全て選んでください。

中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

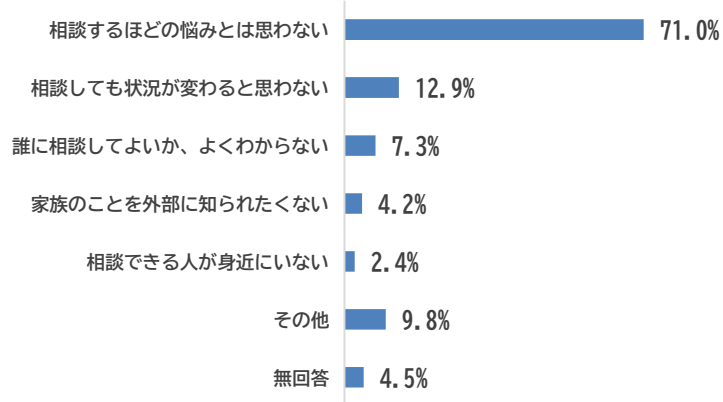
悩みを相談しなかった理由（全体）（N=527）（複数回答）

※複数回答のため合計は100%ではありません

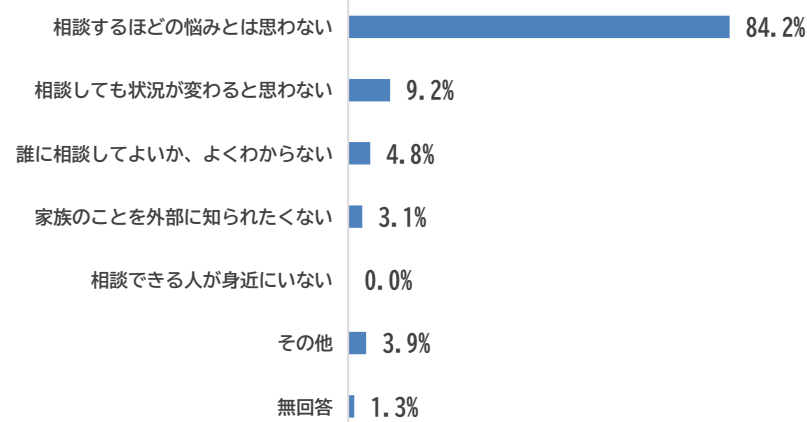


◇ケアに関する悩みを相談しなかった理由では、回答者全体（N=626）の7割超が【相談するほどの悩みとは思わない】を選択し、各学校種においても同様の傾向であった。  
◇国の調査においても、今回の調査と同様、全ての学校種で【誰かに相談するほどの悩みではない】が7割程度であった。

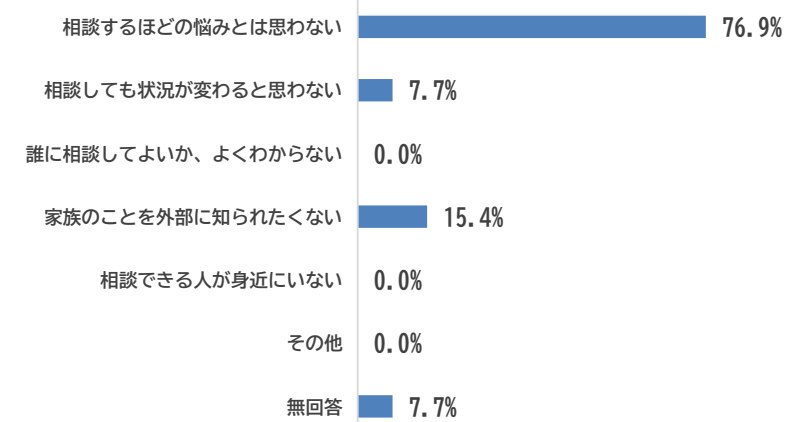
中学校2年生（N=286）



全日制高校2年生（N=228）



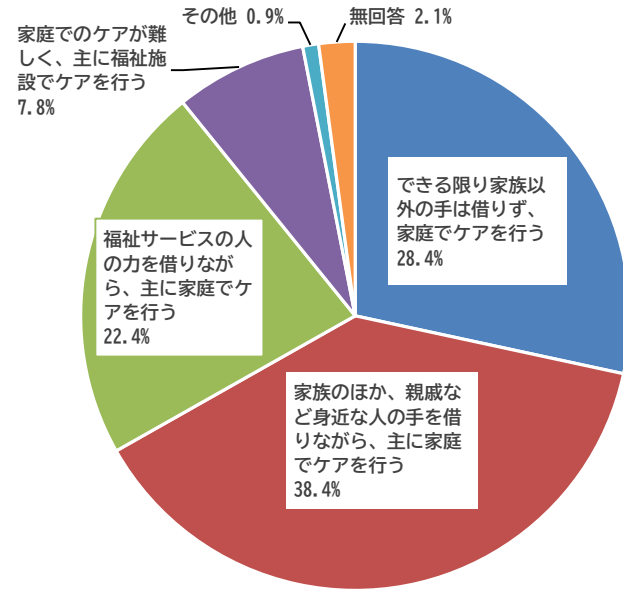
定時制高校2年生相当（N=13）



# 問23 【問10で家族のケアを「③ したことがない」と回答した方】 もしあなたが家族のケアすることになったら、どうだと思いますか。次の中から最も近いものを選んでください。

中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

## ケアをすることになった場合のケアの方法（全体）（N=12,514）

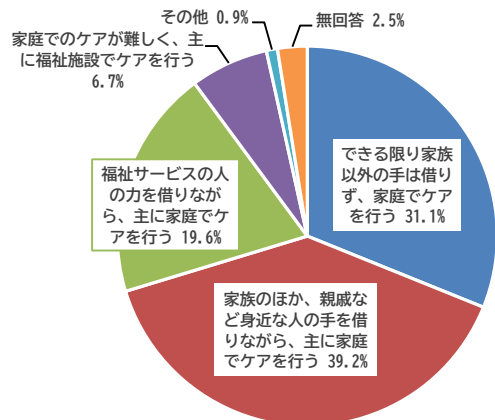


- できる限り家族以外の手は借りず、家庭でケアを行う
- 家族のほか、親戚など身近な人の手を借りながら、主に家庭でケアを行う
- 福祉サービスの人の力を借りながら、主に家庭でケアを行う
- 家庭でのケアが難しく、主に福祉施設でケアを行う
- その他
- 無回答

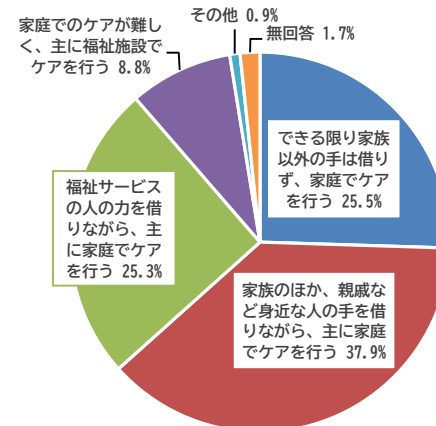
◇今後家族のケアをすることになった場合のケアの方法では、回答者全体（N=12,514）の6割超が、福祉サービスを利用せず、家族間あるいは親戚など身近な人の手を借りながらケアを行うと回答した。

◇中学校2年生と全日制高校2年生は全体と同様の傾向であったが、定時制高校2年生相当では福祉サービスを利用しない割合が低下し、【主に福祉施設でケアを行う】の割合がやや高くなった。

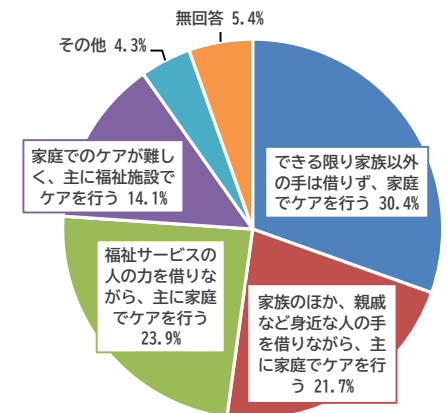
## 中学校2年生（N=6,355）



## 全日制高校2年生（N=6,067）



## 定時制高校2年生相当（N=92）

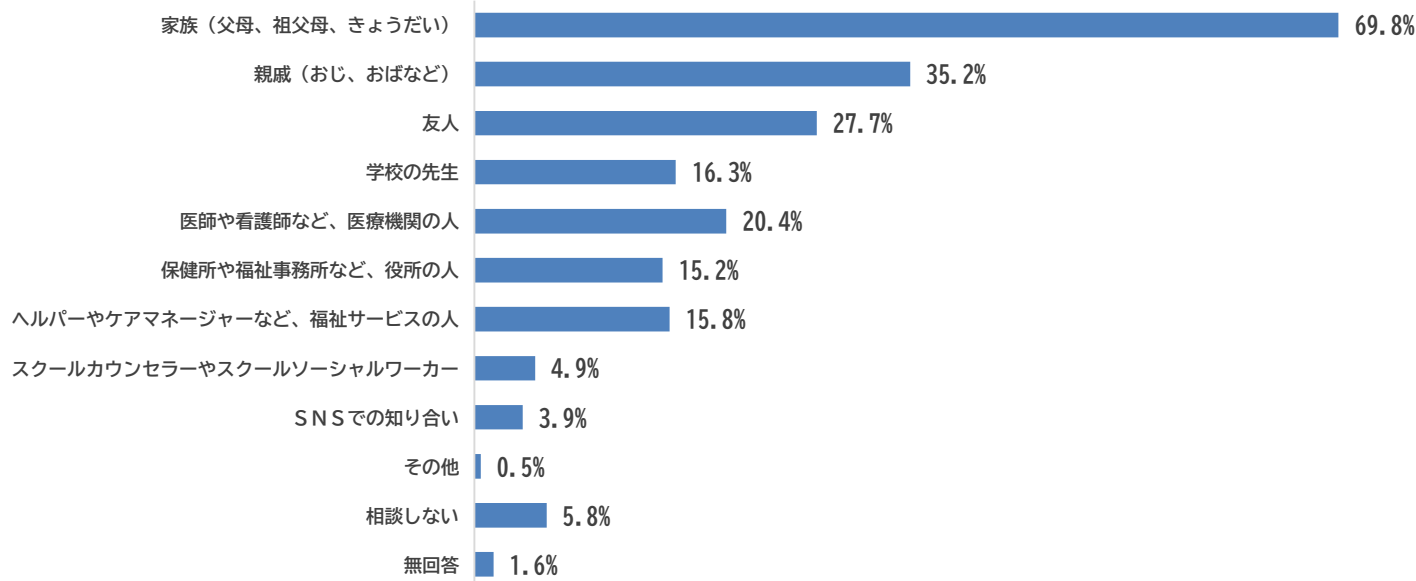




# 問24 【問10で家族のケアを「③ したことがない」と回答した方】もしあなたが家族のケアで困ったら、誰に相談しようと思いますか。あてはまるものを全て選んでください。

中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

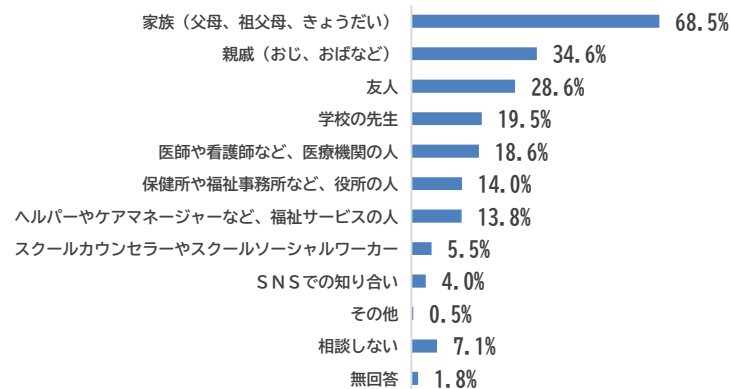
ケアで困った場合の相談相手（全体）（N=12,514）（複数回答）



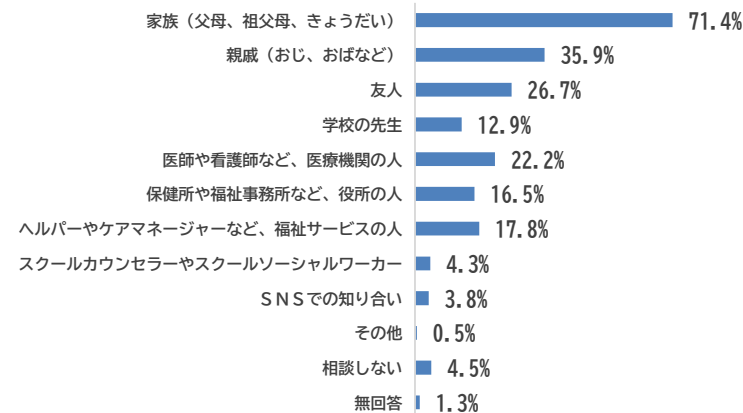
※複数回答のため合計は100%ではありません

◇今後家族のケアで困った場合の相談相手では、回答者全体（N=12,514）の約7割が【家族】と回答し、次いで【親戚】【友人】の順となった。  
◇中学校2年生と全日制高校2年生は全体と同様の傾向であったが、定時制高校2年生相当では【親戚】【友人】の割合が他と比較し低い傾向がみられた。

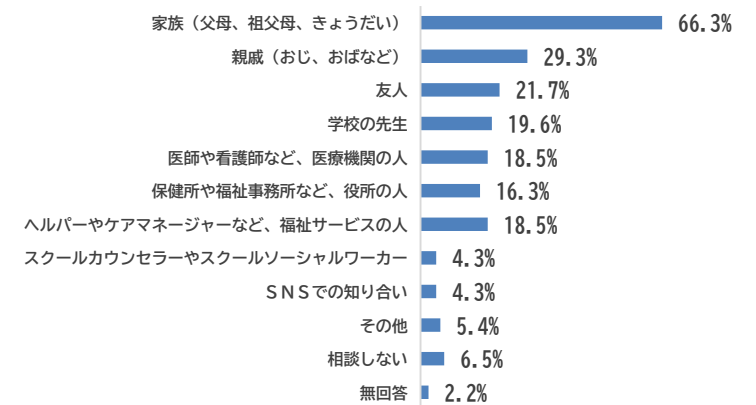
中学校2年生（N=6,355）



全日制高校2年生（N=6,067）



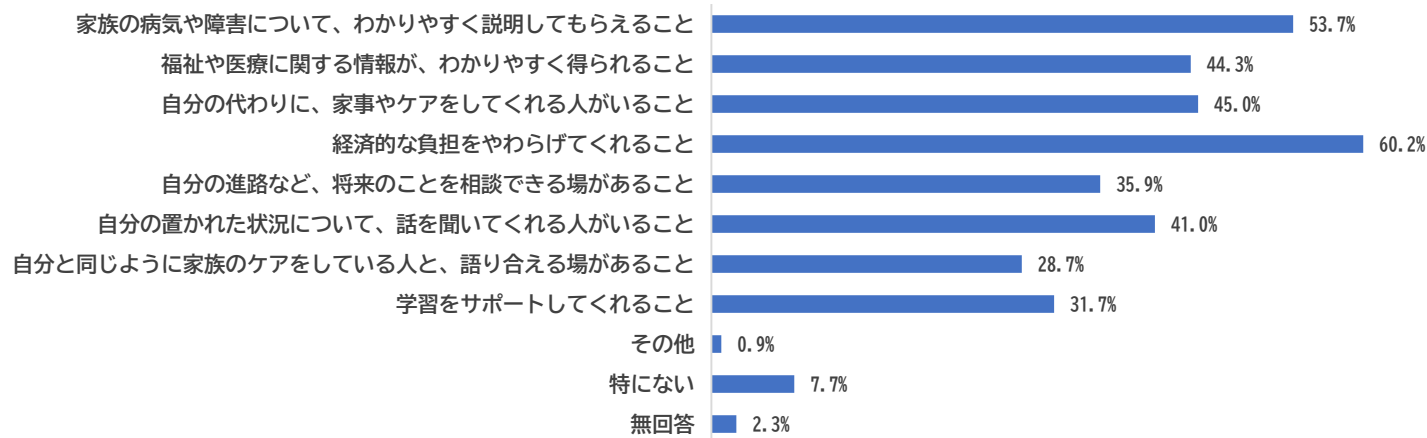
定時制高校2年生相当（N=92）



# 問25 家族のケアを行う子供のためにあれば良いと思う支援について あてはまるものを全て選んでください。

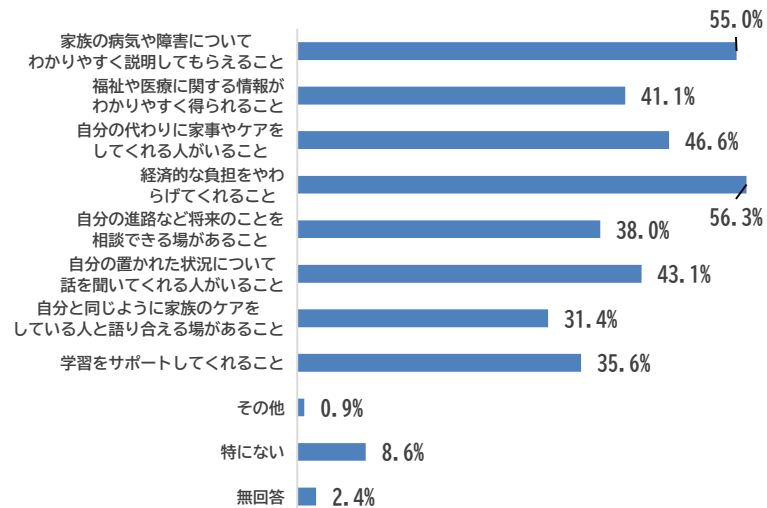
中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

家族のケアを行う子供のためにあれば良いと思う支援（全体）（N=14,237）（複数回答） ※複数回答のため合計は100%ではありません

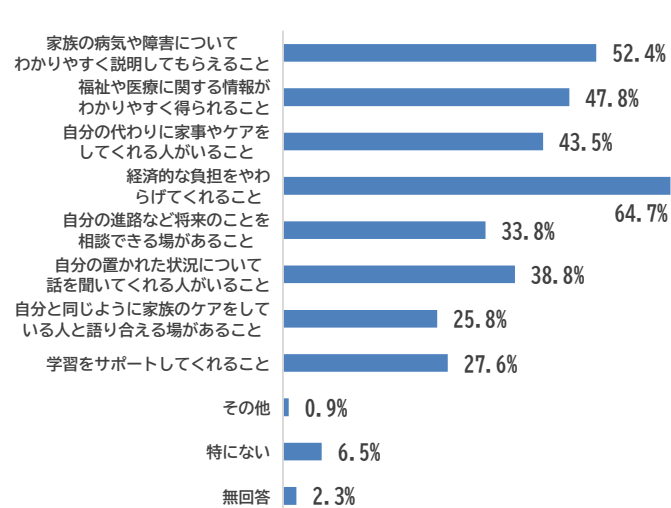


◇あれば良いと思う支援では、回答者全体（N=14,237）の約6割が【経済的な支援】を、約半数が【わかりやすい説明】を選択した。  
◇中学校2年生と全日制高校2年生は全体と同様の傾向であったが、定時制高校2年生相当では【わかりやすい説明】が【経済的な支援】を上回った。  
※なお、今後の施策の参考とするため、現在ケアをしていない者へも質問している。

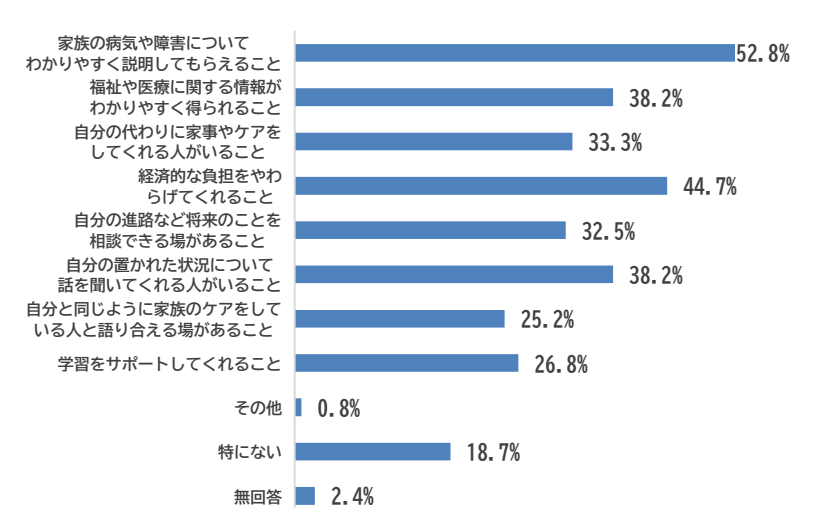
中学校2年生（N=7,309）



全日制高校2年生（N=6,805）



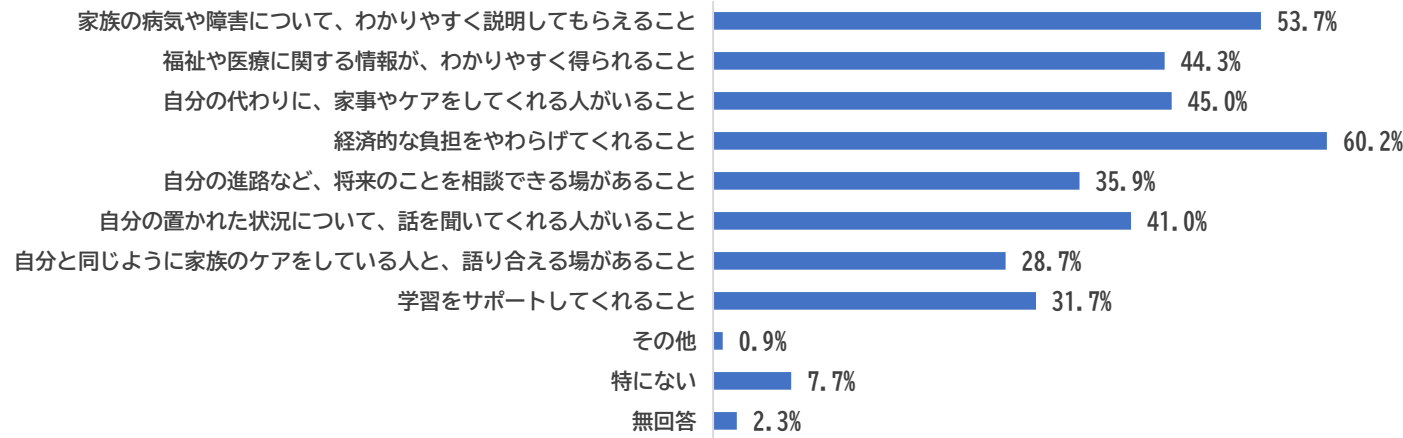
定時制高校2年生相当（N=123）



# 問25 家族のケアを行う子供のためにあれば良いと思う支援についてあてはまるものを全て選んでください。(ケアの経験別比較)

中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

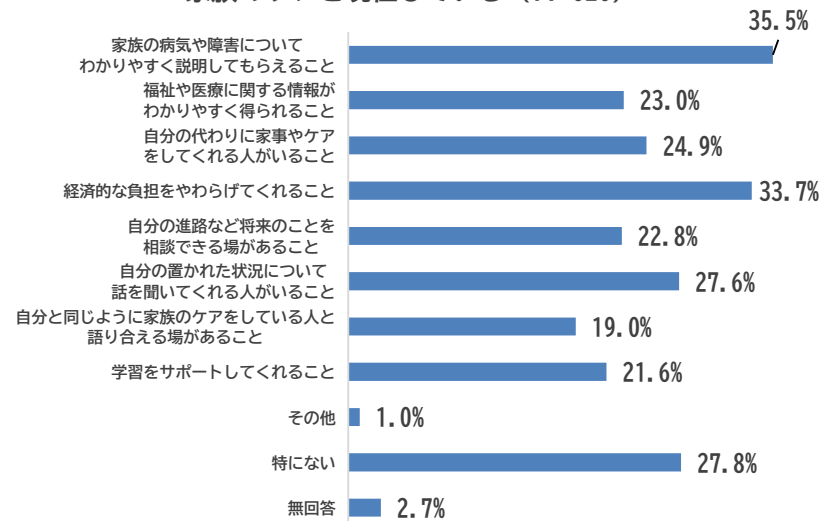
家族のケアを行う子供のためにあれば良いと思う支援（全体）（N=14,237）  
（複数回答）



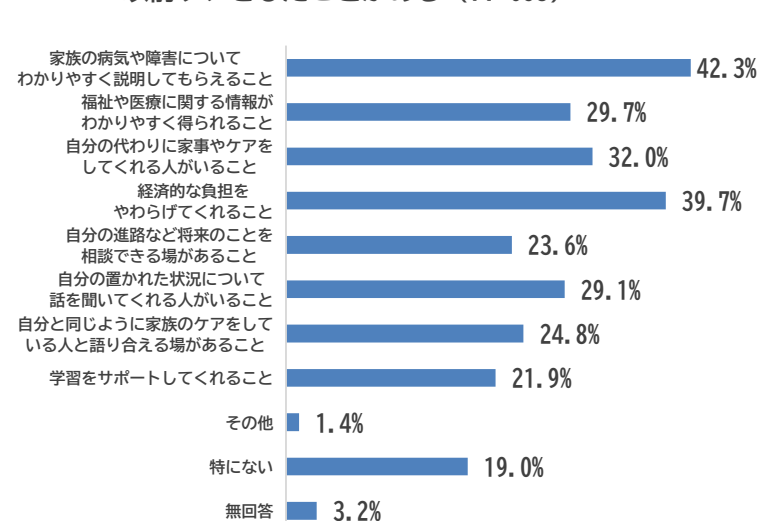
※複数回答のため合計は100%ではありません

◇あれば良いと思う支援について、ケアの経験別に比較した。  
◇ケアの経験層（【現在している】および【以前したことがある】層）では、【経済的な支援】は4割未満であり、【わかりやすい説明】を下回った。

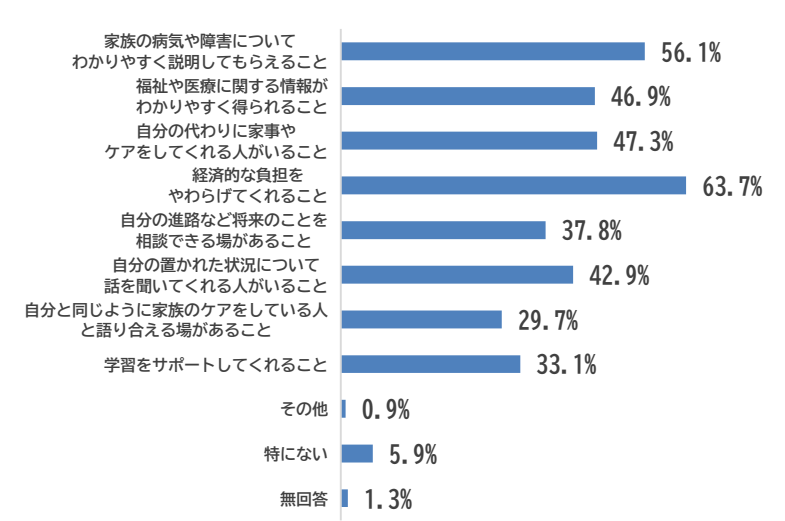
家族のケアを現在している（N=626）



以前ケアをしたことがある（N=653）



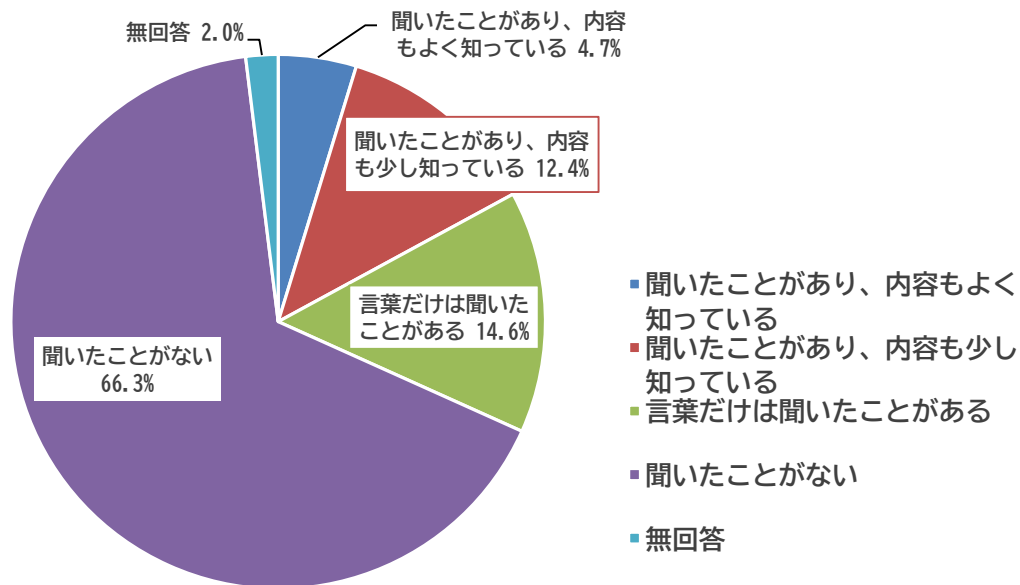
ケアの経験がない（N=12,514）



# 問26 今回、和歌山県が啓発やアンケートをするまで“ヤングケアラー”という言葉を知ったことがありますか。

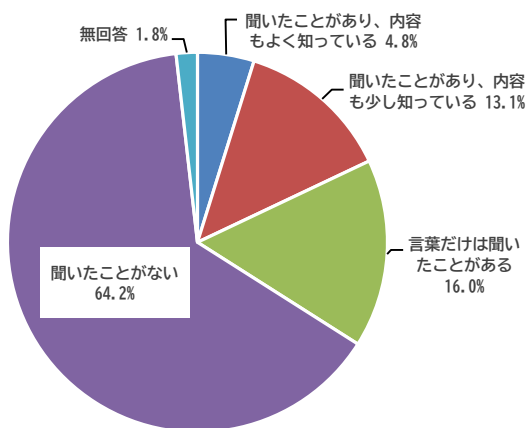
中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

“ヤングケアラー”の認知度（全体）（N=14,237）

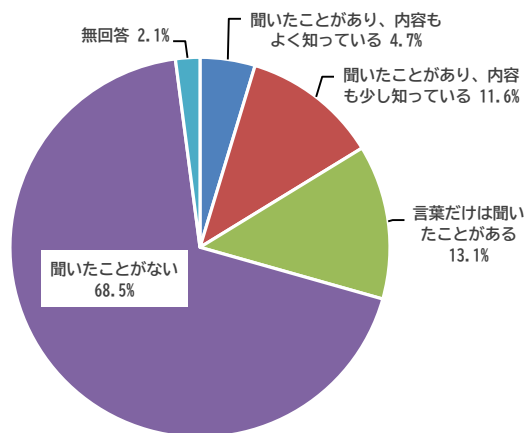


◇ “ヤングケアラー”の認知度については、全体では7割弱が【聞いたことがない】と回答しており、各学校種においても同様の傾向がみられた。  
 ◇ 国の調査では、8割強が【聞いたことはない】と回答しており、今回の調査の方が認知度がやや高い結果となった。国の調査が半年ほど早く、今回の調査との間に各種メディアを通じ“ヤングケアラー”の周知が図られたためと考えられる。

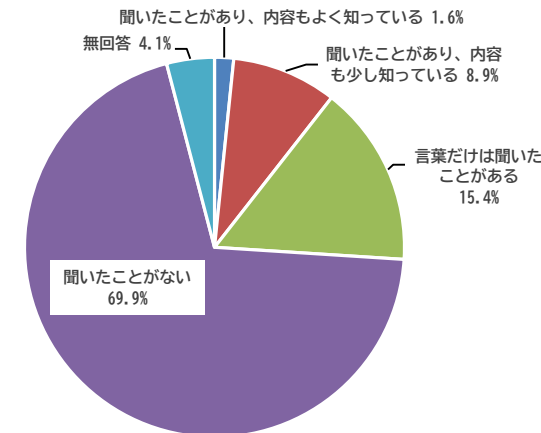
中学校2年生（N=7,309）



全日制高校2年生（N=6,805）



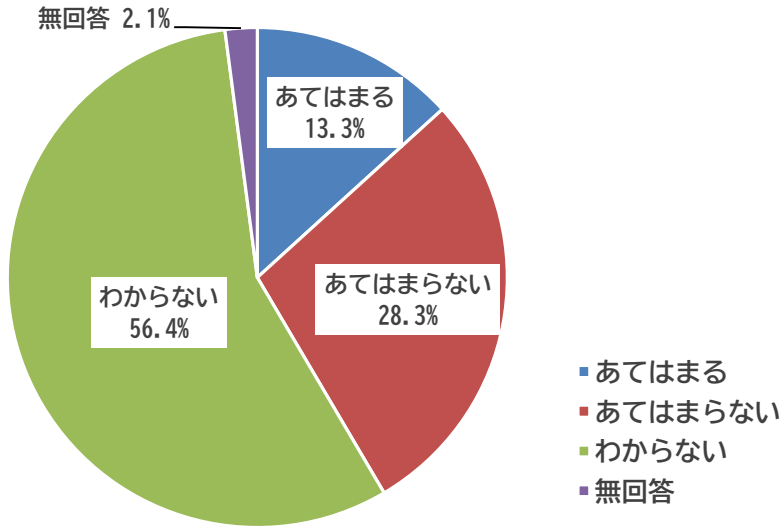
定時制高校2年生相当（N=123）



# 問27 あなた自身は“ヤングケアラー”にあてはまると思いますか。

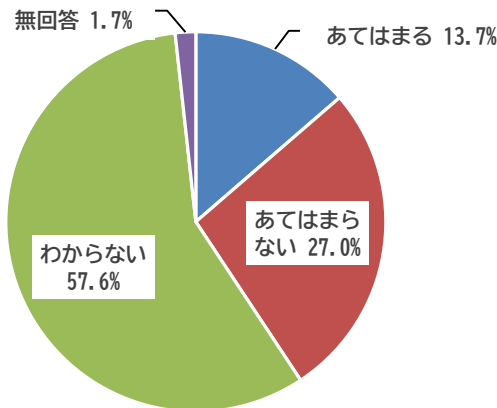
中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

家族のケアを【現在している】回答者の“ヤングケアラー”に係る自己認識（全体）（N=626）

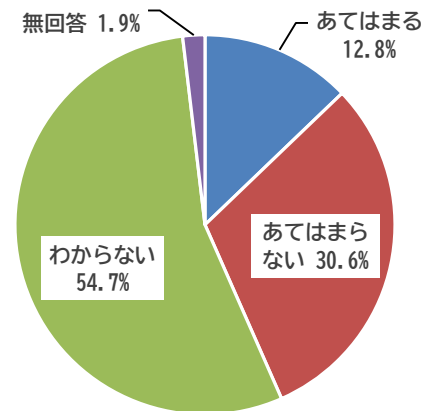


- ◇家族のケアを現在している回答者において、【わからない】との回答が過半数を占める結果となり、“ヤングケアラー”の確立された定義がないことによる影響がうかがえる。
- ◇“ヤングケアラー”に【あてはまる】を選択した回答者の総数は83人で、家族のケアを現在している回答者（626人）に占める割合、アンケートの全回答者（14,237人）に占める割合は、それぞれ13.3%、0.6%であった。
- ◇学校種別に見ると、中学校2年生と全日制高校2年生は全体と同様の傾向であったが、定時制高校2年生相当では【あてはまらない】の割合がやや低くなった。

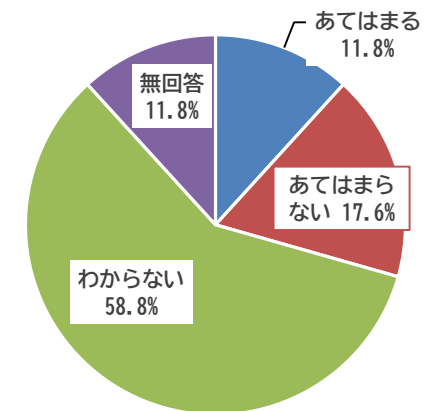
中学校2年生（N=344）



全日制高校2年生（N=265）



定時制高校2年生相当（N=17）



# 問28 このアンケートに関する感想や、学校や行政への意見・要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

## ① アンケートを通じての感想（主なもの）

※可能な限り、回答者の表現を用いる形で掲載

- ヤングケアラーという言葉は初めて聞きました。自分と同じくらいの歳で、学校に通いながら家族のケアをしている人がいると思うと、とても尊敬します。自分は自分のことで手一杯なので、本当にすごいと思いました。
- ヤングケアラーという言葉は、今まで知らなかったけど、気づかぬうちにそのようなことをしていたのだなと思った。
- ヤングケアラーは詳しく知らなかったけれど、もっと身近に支えがある社会になってほしいと思った。
- ヤングケアラーという言葉を知ることができてよかったし、そんな人を支えられるような、あたたかい環境が必要なんだなと思った。
- 家族のケアも大切だけど、その子の進路や将来を犠牲にすることのないように、いろんな人が協力し合える社会になるのが大切だなと思いました。
- ヤングケアラーという言葉を知って、好きなことや勉強がなかなかできない人がいるのがすごくショックでした。
- 私と同じ年齢の子が働いていることがあるという事実には驚きました。
- ヤングケアラーについては知っていたが、手話や通訳などのコミュニケーション支援もヤングケアラーに含まれることは知らなかった。
- もし家族が病気にかかったりしたら、自分の話を聞いてくれて、相談に乗ってくれる人がいるといいなと思いました。
- 小学生のころ、親が仕事だったので休日に小さい弟の世話をしていました。休日でも小さい子を預かってくれる保育園などが増えたらいいなと思います。
- ヤングケアラーについてよく分かった。もしそんな人が周りにいたら、力になりたいと感じた。
- ヤングケアラーについて改めて知ることができ、よかったです。もし身近にいれば、できる限り相談にのってあげたりしたいと思いました。
- 自分はヤングケアラーではなく、必要な支援などはよくわからないけれど、考えることで何か力になりたいです。
- この先家族に何かあったとき、自分は家族を支えていけるのかなど、先のことを考えさせられました。
- 下半身が動かない祖父がいて、祖母が面倒をみてくれているけれど、いつ自分がヤングケアラーの立場になるかわからないし、他人事ではないのだと実感しました。
- 今はまだ家族のケアをしていませんが、将来的に母や父が高齢になっていくと、することになるであろうことなので、今からしっかり向き合えないといけないなと思いました。

# 問28 このアンケートに関する感想や、学校や行政への意見・要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

## ② 意見・要望など（主なもの）

※可能な限り、回答者の表現を用いる形で掲載

- ヤングケアラーの定義をはっきりしてください。
- ヤングケアラーが解決すべき問題であるなら、明確な基準を示していただきたい。
- ヤングケアラーと「家のお手伝い」の境界線はどこか。ヤングケアラーと呼ばれる人の中には、お手伝いの延長と思っている人もいる。
- 親の代わりに、自分の姉の分の家事をしていた時期がありましたが、それはケアに入るんでしょうか。
- 兄に障害があり、お母さんがケアしている。僕はお母さんのカバーをしているものの、それがケアなのか、結局わからなかったです。
- 自分にとって負担でなく、また、自発的に行うケアであれば、ヤングケアラーにあてはまらないのでしょうか。
- ヤングケアラーの原因には、病気や障害のほかに、虐待やネグレクトもあると思う。
- 悩んでいる人のために話を聞いてあげるのはいいけれど、話したくなかったり、言葉にするのが苦手な人には、逆に負担となる場合もあると思います。
- 今回のアンケートは中学2年生と高校2年生が対象でしたが、ヤングケアラーは社会問題なので、もっと色々な人に知ってもらえるようにした方がよいのではないのでしょうか。
- ヤングケアラーを知らない人が多いと思うので、もっと子供に（大人にも）知ってもらった方がいいと思う。相談や支援をすることに力を入れてほしい。
- ヤングケアラーで学びたくても学べない人がいる。その現状を解決して行ってほしい。
- ヤングケアラーで困っている人がいたら、それをしっかりとサポートしてほしい。一人では解決するのが難しいかもしれないから。
- ヤングケアラーかどうか一人一人学校が把握し、手をさしのべるべき。
- 同年代でも家族のケアをしている人がいると考えると、とても大変だと思いました。学習をサポートしてくれる人と、家事をしてくれる人は、特にあればいいと思います。
- 同じ病気などの人と話し合えるグループラインやDiscordを作ったらよいかもしれない。
- ヤングケアラーを支援する制度（例：イギリスのケアラー法）をつくってほしい。また、ヤングケアラーについて学ぶ機会を、小・中学校のときから設けてほしい。





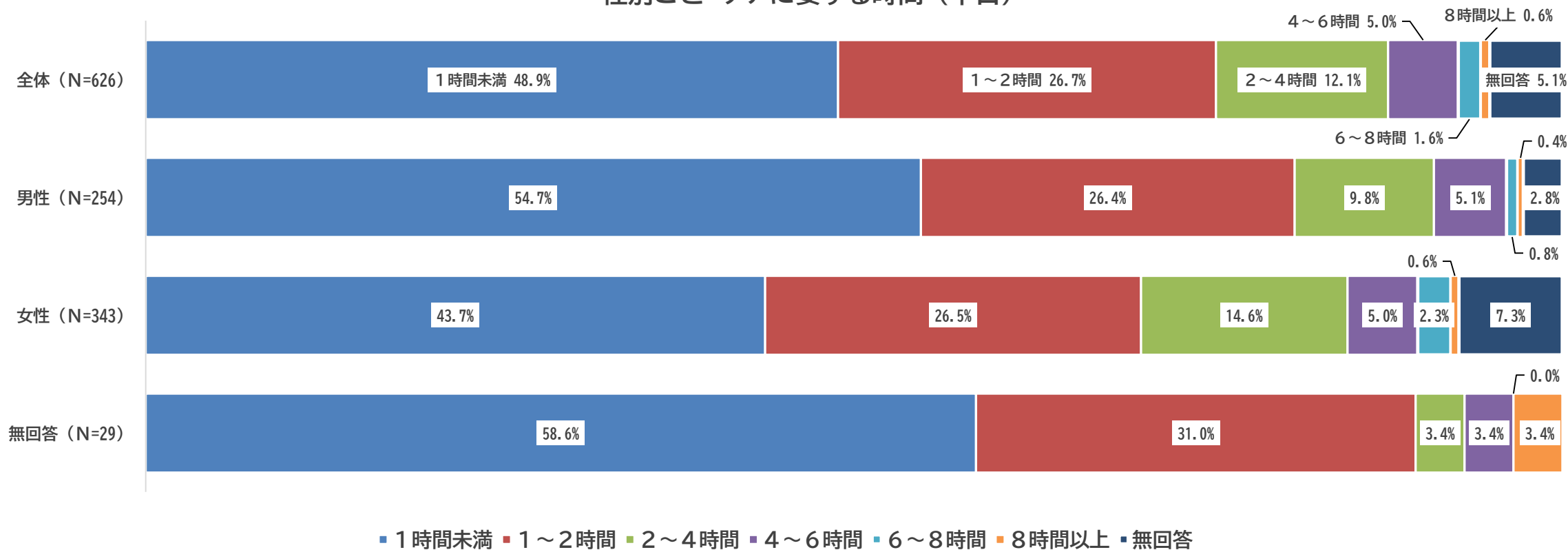
**第2部 「ケアに要する時間」  
に関するクロス集計**

## 第2部 目次

中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

性別ごと ケアに要する時間（平日）	（問2×問17）	39
ケアに要する時間（平日）別 健康状態	（問17×問4）	40
ケアに要する時間（平日）別 欠席状況	（問17×問5）	41
ケアに要する時間（平日）別 遅刻や早退の状況	（問17×問6）	42
ケアに要する時間（平日）別 部活動への参加状況	（問17×問7）	43
ケアに要する時間（平日）別 平日の勉強時間	（問17×問8）	44
ケアに要する時間（平日）別 一緒に住んでいる家族の構成	（問17×問9）	45
一緒に住んでいる家族の構成別 ケアに要する時間（平日）	（問9×問17）	46
ケアに要する時間（平日）別 一緒にケアをする人	（問17×問14）	47
一緒にケアをする人別 ケアに要する時間（平日）	（問14×問17）	48
ケアの頻度別 ケアに要する時間（平日）	（問16×問17）	49
ケアに要する時間（平日）別 自分の生活への影響	（問17×問19）	50
ケアに要する時間（平日）別 ケアに関する悩みの相談経験	（問17×問20）	51
ケアに要する時間（平日）別 ヤングケアラーに係る自己認識	（問17×問27）	52

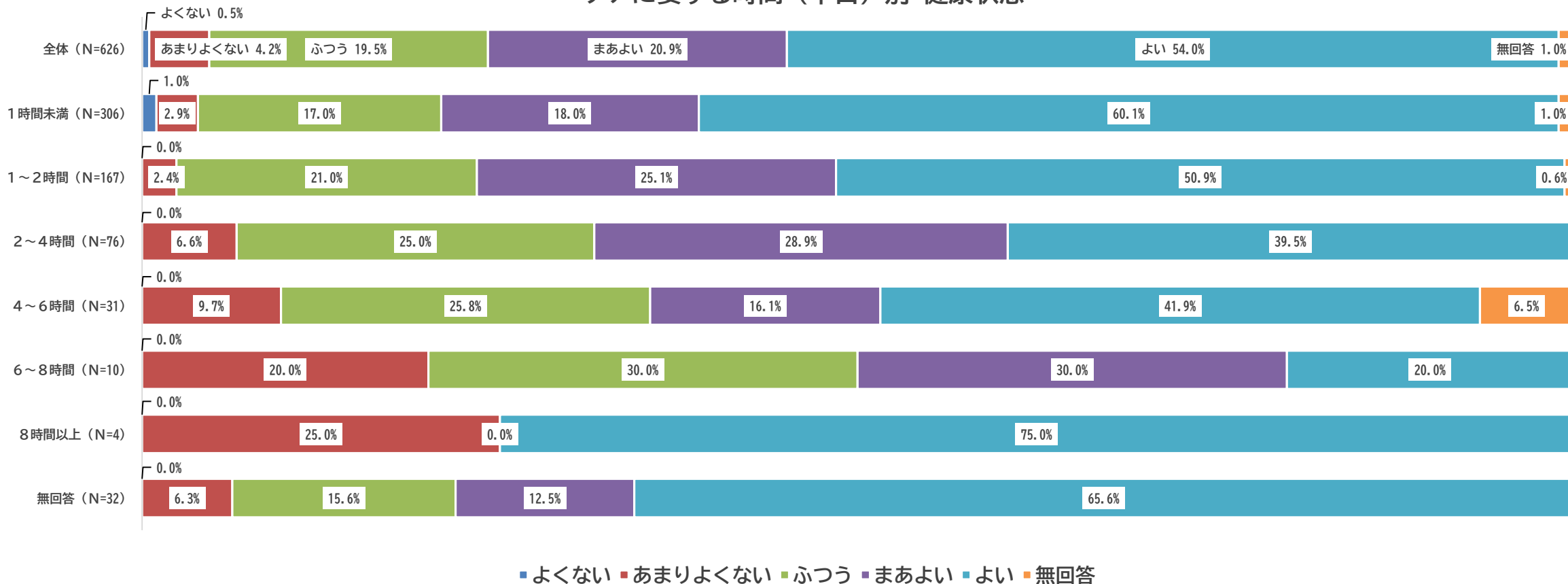
性別ごと ケアに要する時間（平日）



※【無回答】【その他】の値が「0」の場合は当該グラフに表示していない

◇平日のケアに要する時間を性別で見ると、全体と比べ男性は【1時間未満】、女性は【2～4時間】の割合が高かった。

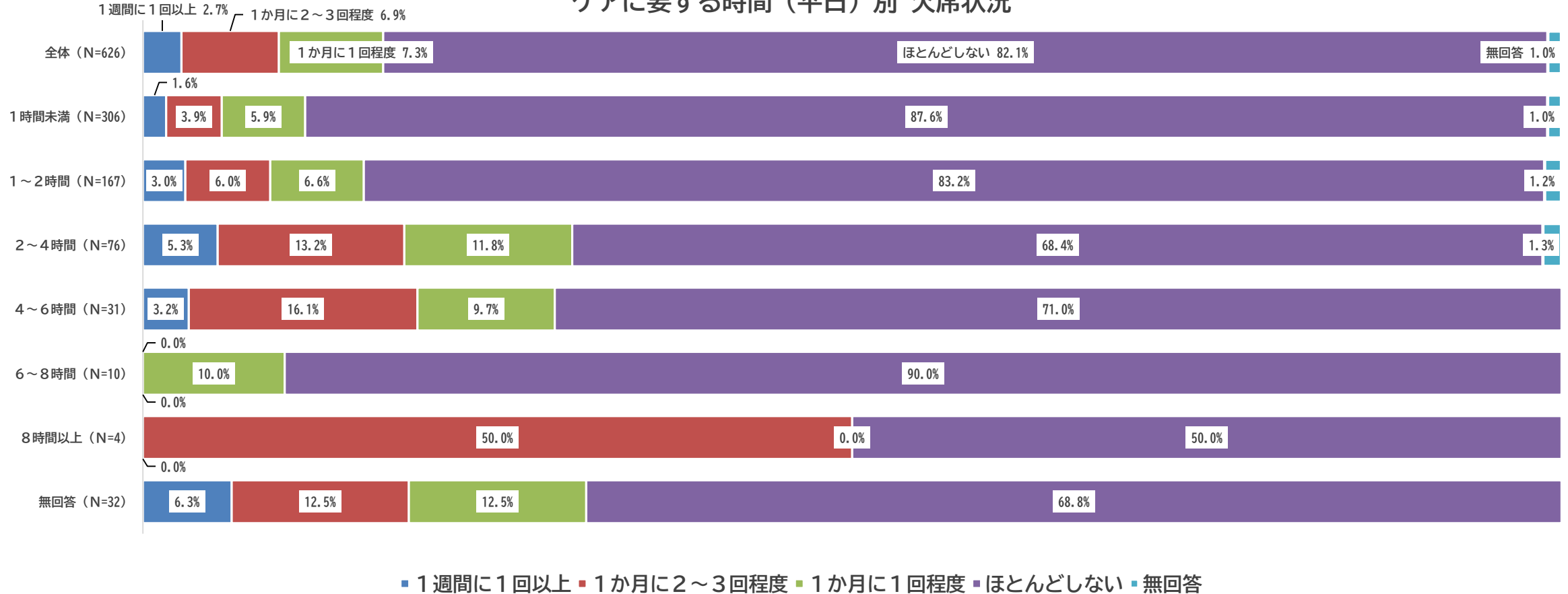
## ケアに要する時間（平日）別 健康状態



※【無回答】【その他】の値が「0」の場合は当該グラフに表示していない

◇ケアを現在行っている回答者の健康状態について、平日のケアに要する時間別に見てみると、ケアに要する時間が長くなるにつれ母数が小さくなるものの、【よくない】【あまりよくない】の割合が増加し、【まあよい】【よい】の割合が減少する傾向がみられた。

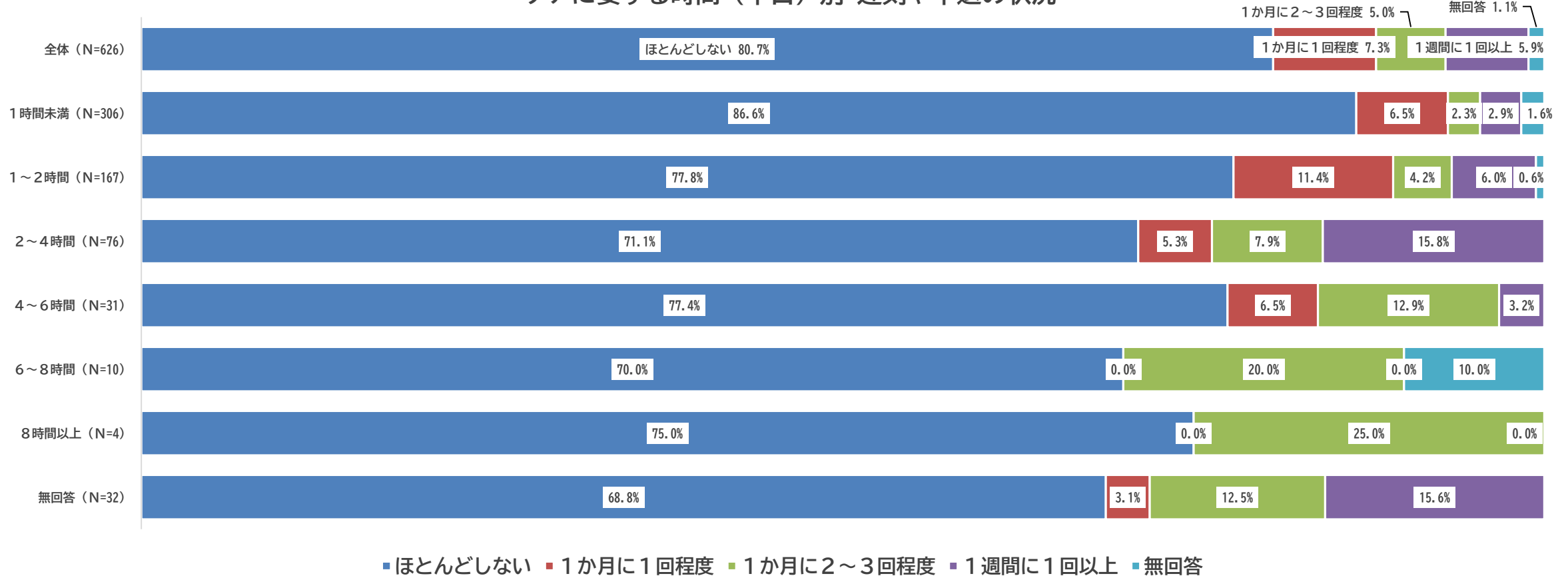
## ケアに要する時間（平日）別 欠席状況



※【無回答】【その他】の値が「0」の場合は当該グラフに表示していない

◇ケアを現在行っている回答者の欠席状況について、平日のケアに要する時間別に見てみると、ケアに要する時間が長くなるにつれ母数が小さくなるものの、【ほとんどしない】の割合が【2～4時間】までは減少し、【4～6時間】以上で増加する傾向がみられた。

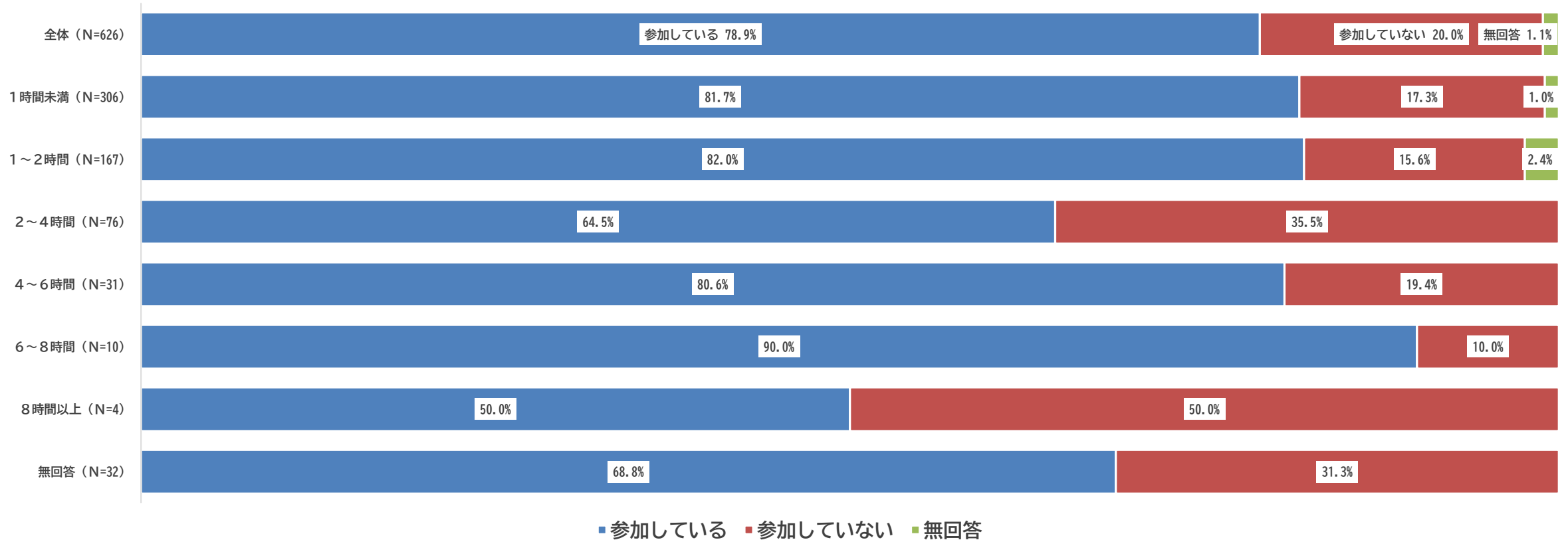
## ケアに要する時間（平日）別 遅刻や早退の状況



※【無回答】【その他】の値が「0」の場合は当該グラフに表示していない

◇ケアを現在行っている回答者の遅刻や早退の状況について、平日のケアに要する時間別に見てみると、ケアに要する時間が長くなるにつれ母数が小さくなるものの、【ほとんどしない】の割合が減少する傾向がみられた。

ケアに要する時間（平日）別 部活動への参加状況



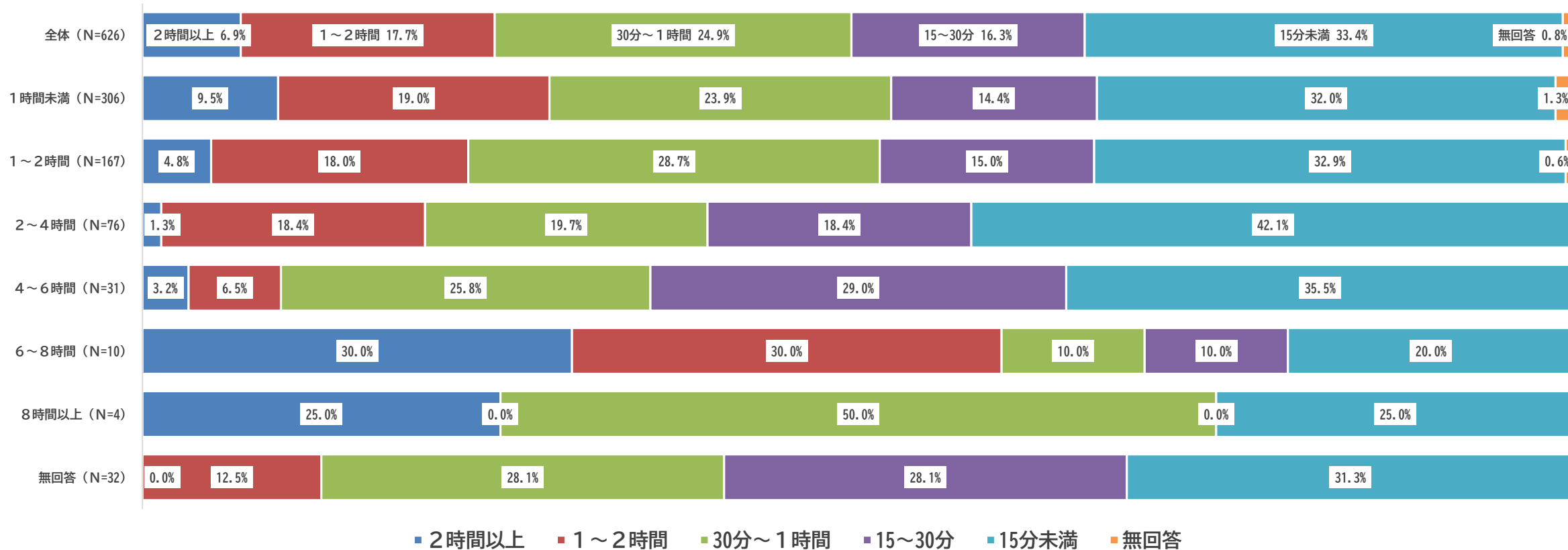
※【無回答】【その他】の値が「0」の場合は当該グラフに表示していない

◇ケアを現在行っている回答者の部活動への参加状況について、平日のケアに要する時間別に見てみると、概ね8割程度が部活動に参加しているが、ケアに要する時間が【2～4時間】【8時間以上】の層において、部活動への参加率が大きく低下していた。

# ケアに要する時間（平日）別 平日の勉強時間（問17×問8）

中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

ケアに要する時間（平日）別 平日の勉強時間

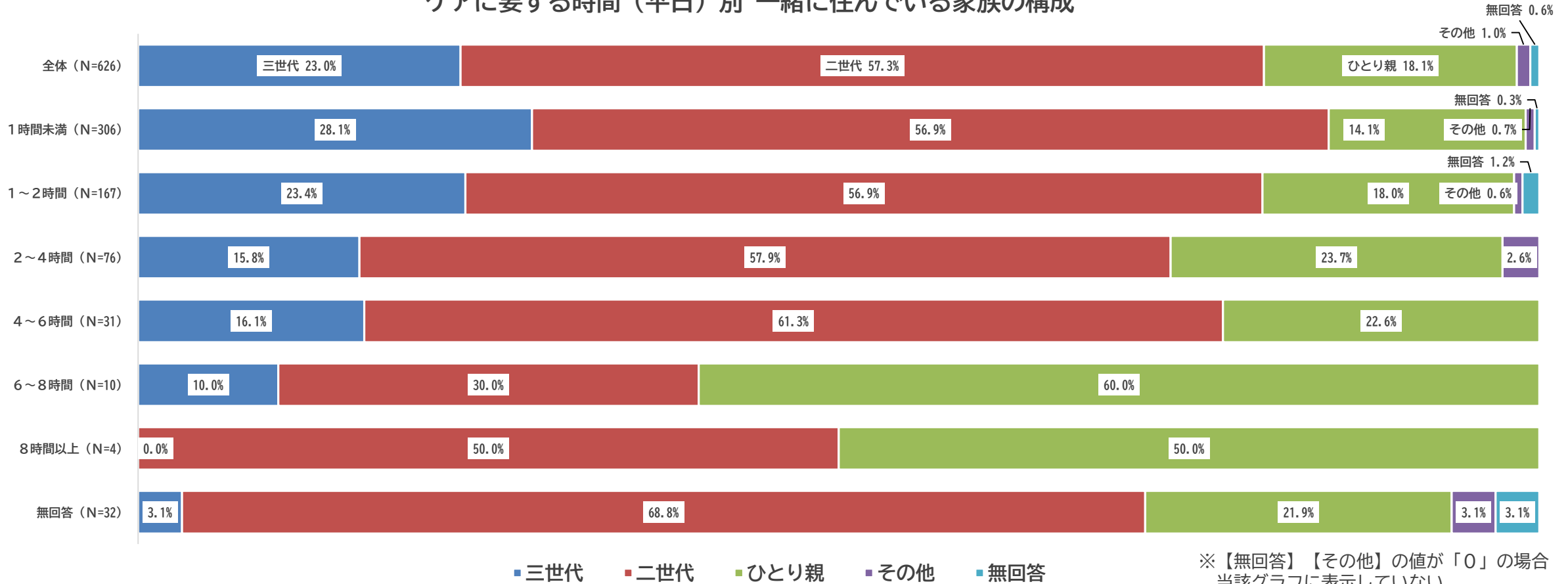


※【無回答】【その他】の値が「0」の場合は当該グラフに表示していない

◇ケアを現在行っている回答者の平日の自宅での勉強時間について、平日のケアに要する時間別に見てみると、ケアに要する時間が長くなるにつれ母数が小さくなるものの、30分以上勉強する回答者の割合が【4~6時間】までは減少し、【6~8時間】以上で増加する傾向がみられた。



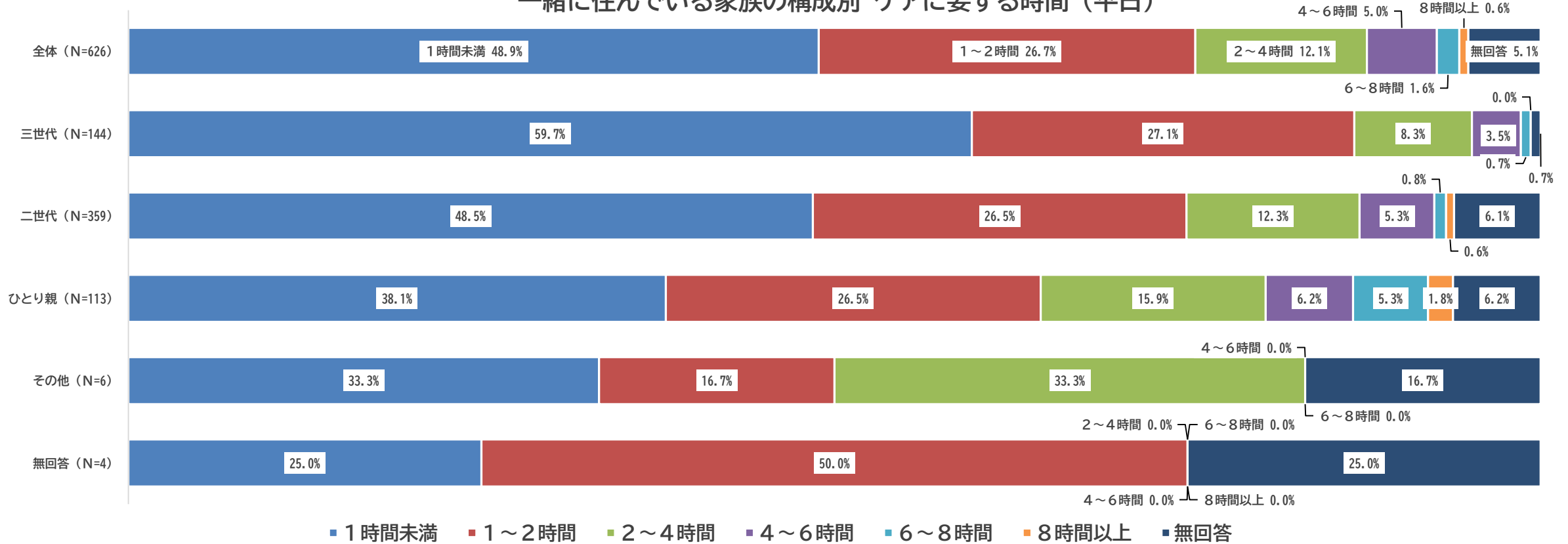
## ケアに要する時間（平日）別 一緒に住んでいる家族の構成



※【無回答】【その他】の値が「0」の場合  
当該グラフに表示していない

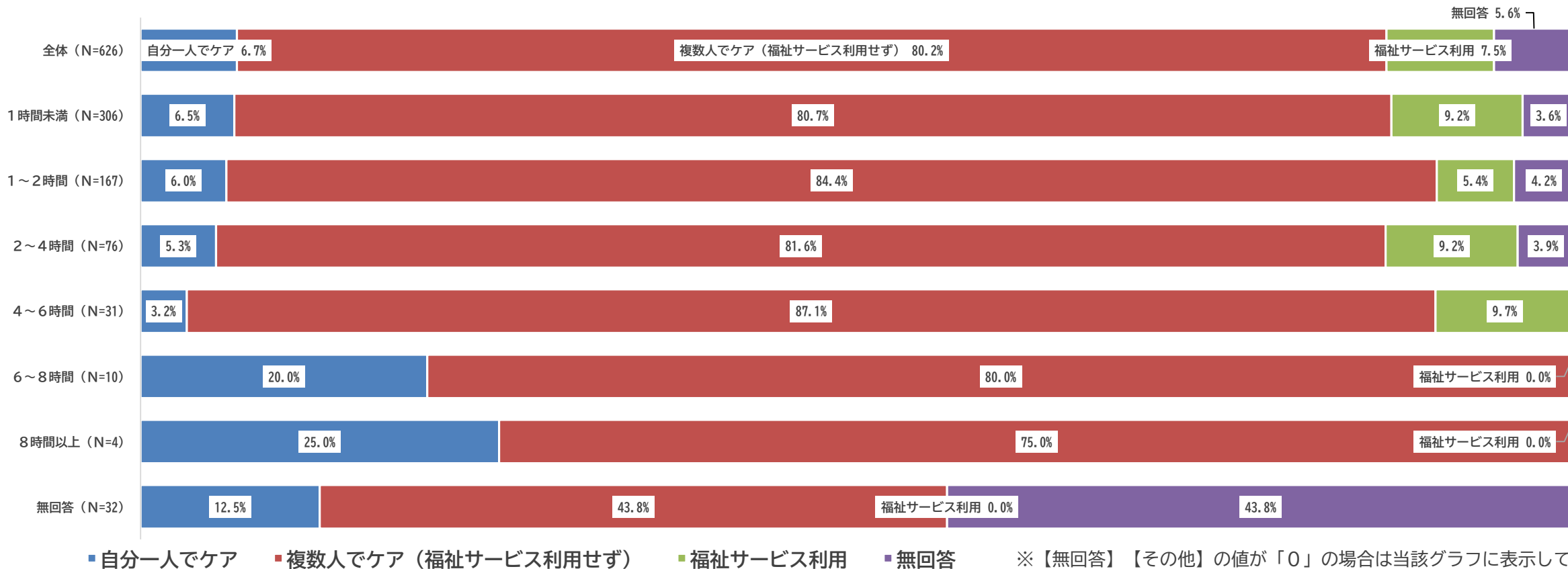
- ◇家族の構成員に対する回答に基づき、回答者を【三世代世帯】【二世世代世帯】【ひとり親世帯】【その他】に類型化（第1部参照）した。
- ◇ケアを現在行っている回答者の家族構成（類型化後）について、平日のケアに要する時間別に見てみると、ケアに要する時間が長くなるにつれ母数が小さくなるものの、【二世世代世帯】【三世代世帯】の割合が減少し、【ひとり親世帯】の割合が増加する傾向がみられた。

一緒に住んでいる家族の構成別 ケアに要する時間（平日）



◇家族の構成員に対する回答に基づき、回答者を【三世代世帯】【二世帯世帯】【ひとり親世帯】【その他】に類型化（第1部参照）した。  
 ◇ケアを現在行っている回答者の平日のケアに要する時間について、家族構成別に見てみると、【三世代世帯】、【二世帯世帯】、【ひとり親世帯】の順に、ケアに要する時間が長くなる傾向がみられた。

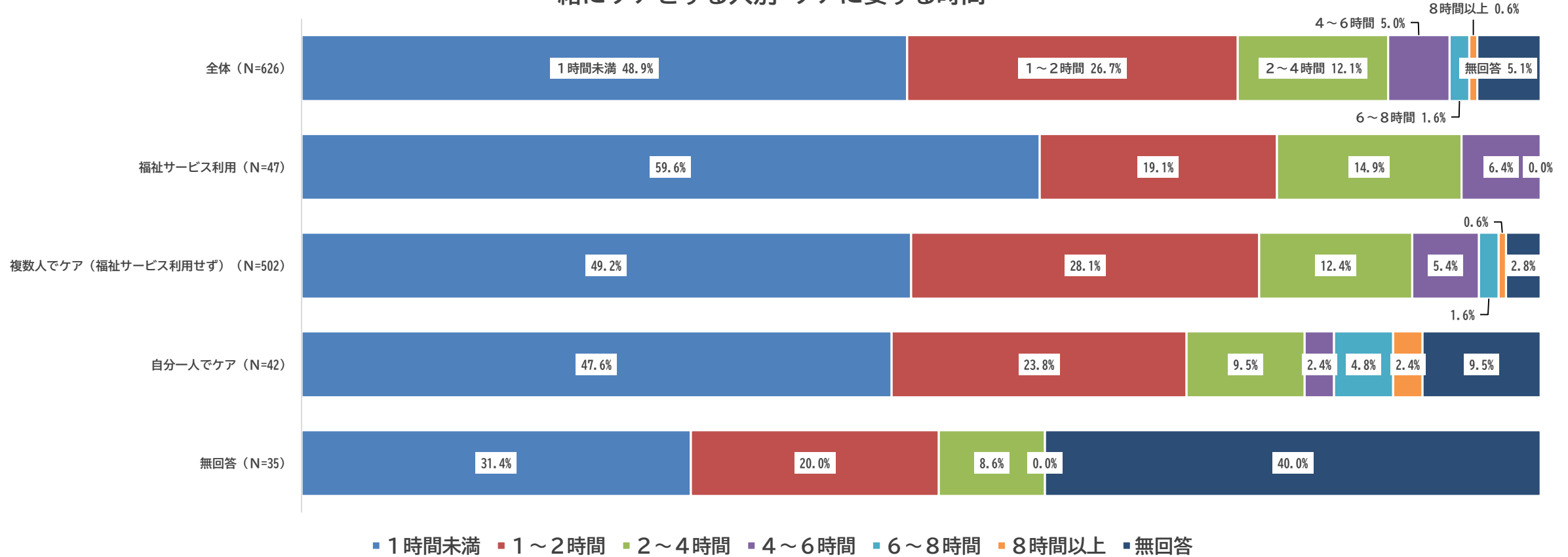
## ケアに要する時間（平日）別 一緒にケアをする人



◇ケアを現在行っている回答者と一緒にケアをする人（類型化後※）について、平日のケアに要する時間別に見てみると、福祉サービスを利用せず、【自分一人でケア】もしくは家族、親戚などと【複数人でケア（福祉サービス利用せず）】している割合の非常に高いことがみてとれた。

※選択肢のうち〈⑩誰もいない〉の回答を【自分一人でケア】、〈⑧福祉サービスの人〉を含む回答を【複数人でケア（福祉サービス利用）】、⑩と⑧を含まない回答を【複数人でケア（福祉サービス利用せず）】とした。

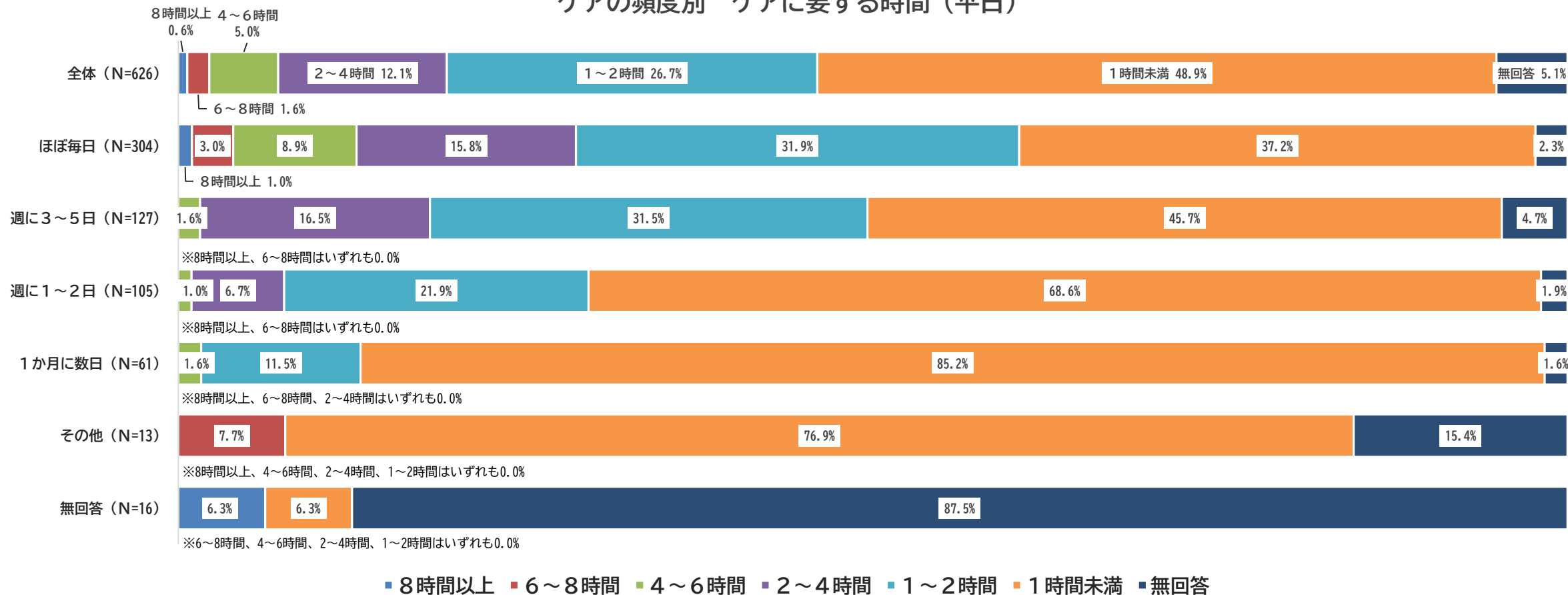
一緒にケアをする人別 ケアに要する時間



◇平日のケアに要する時間について、ケアを現在行っている回答者と一緒にケアをする人（類型化後※前頁参照）別に見てみると、福祉サービスを利用せず、ケアの負担が増すほどに、ケアに要する時間の長くなっていく傾向が見受けられた。

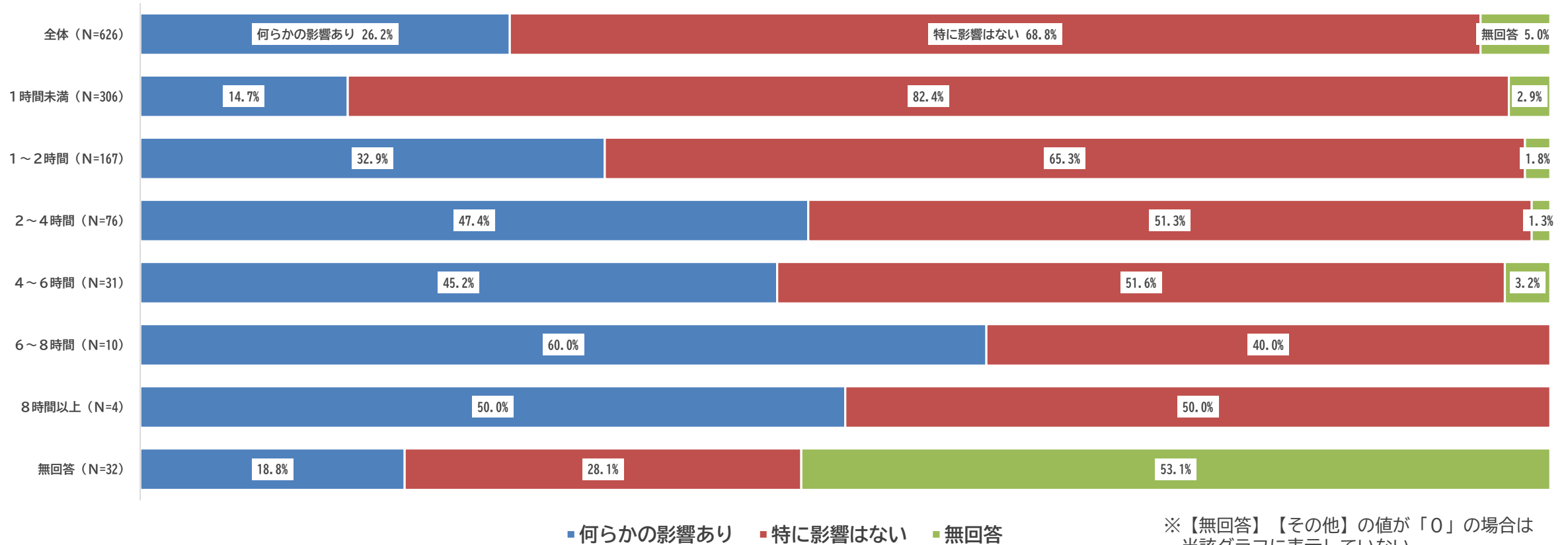
# ケアの頻度別 ケアに要する時間（平日）（問16×問17）

ケアの頻度別 ケアに要する時間（平日）



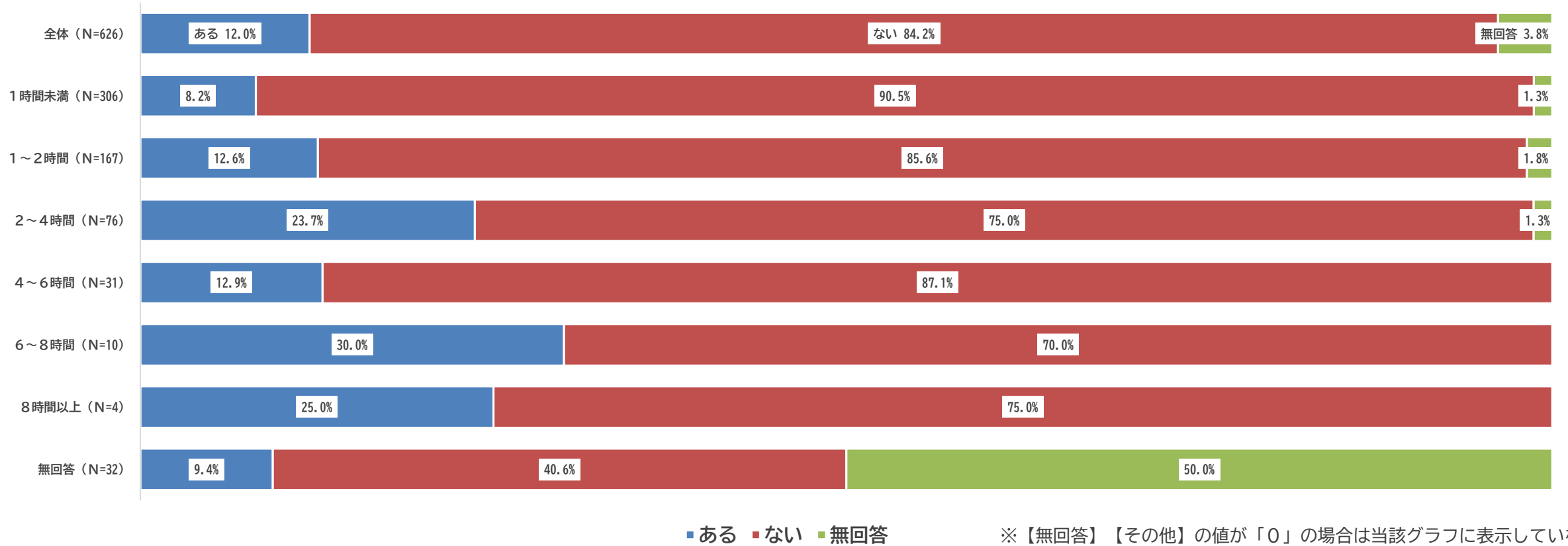
◇平日のケアに要する時間について、ケアの頻度別に見てみると、ケアの頻度が高いほど、ケアに要する時間の長くなる傾向が見受けられた。

ケアに要する時間（平日）別 自分の生活への影響



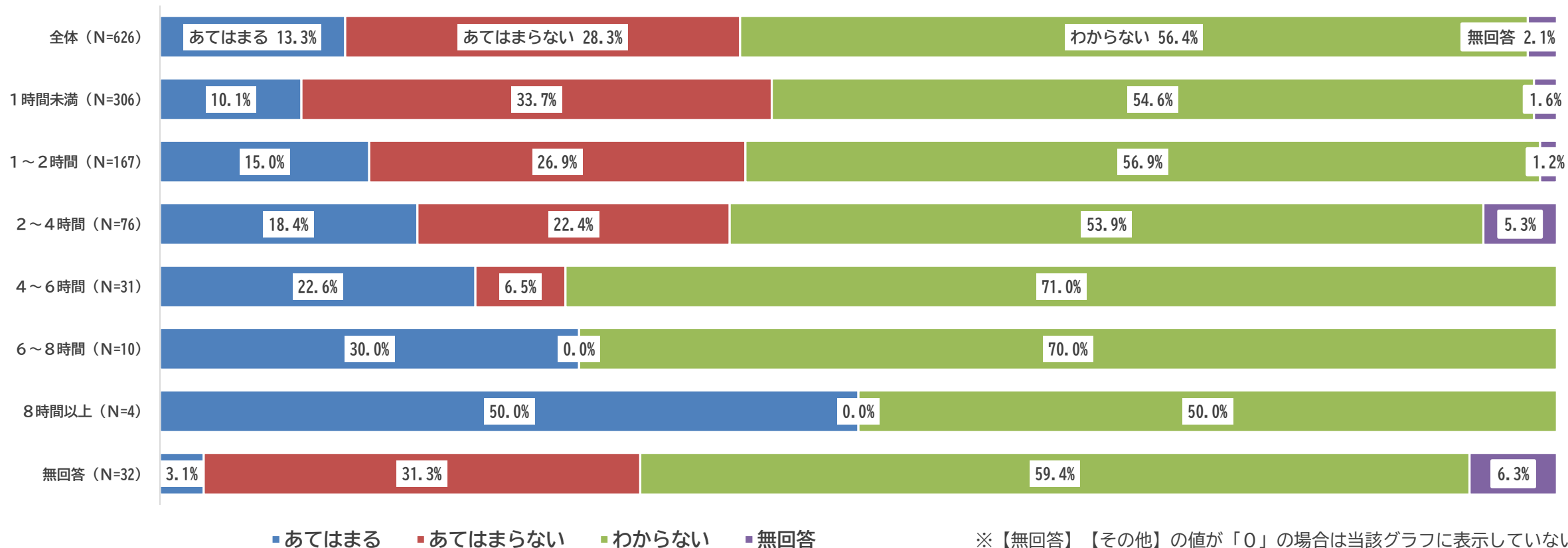
◇自分の生活への影響（類型化後※）について、平日のケアに要する時間別に見てみると、ケアに要する時間が長いほど、【何らかの影響あり】とする回答者の割合が高くなり、逆に【特に影響はない】とする回答者の割合が低下する傾向が見受けられた。  
※選択肢のうち〈⑭特に影響はない〉以外を選択した場合について、【何らかの影響あり】として集約した。

ケアに要する時間（平日）別 ケアに関する悩みの相談経験



◇ケアに関する悩みの相談経験について、平日のケアに要する時間別に見てみると、ケアに要する時間が長いほど、悩みの相談経験がある回答者の割合の高くなる傾向が見受けられたが、【4～6時間】の層においては、【1～2時間】の層と同程度の割合に留まった。

ケアに要する時間（平日）別 ヤングケアラーに係る自己認識



◇ “ヤングケアラー”に係る自己認識について、平日のケアに要する時間別に見てみると、ケアに要する時間が長いほど“ヤングケアラー”に【あてはまる】との回答が増加する傾向が見受けられた。



**第3部 より日常的にケアをしている層の  
絞り込み集計**

## 絞り込み集計の内容

### 【説明】

今回のアンケート調査の回答内容を踏まえると、家族のケアを現在行っている回答者において、純粋な「家事手伝い」も含まれていると考えられることから、より「ヤングケアラー」に該当すると想定される層（以下「より日常的にケアをしている層」という）を抽出し、家族のケアを現在行っている回答者全体との間で傾向の比較を行った。

### 【「より日常的にケアをしている層」の抽出方法】

全回答者（N=14,237）のうち、

・問10において【家族のケアを現在行っている】を選択 かつ

・問16において「ケアの頻度」が週3日以上（【週に3～5日】【ほぼ毎日】を選択）かつ

・問17において「平日のケアの時間」が2時間以上（【2～4時間】【4～6時間】【6～8時間】【8時間以上】を選択）

の回答者を「より日常的にケアをしている層」として抽出した。

### 【抽出結果(対象数)】

中学校2年生 59人

全日制高校2年生 42人

定時制高校2年生相当 9人 計 110人

※家族のケアをしている回答者（626人）に占める割合、アンケートの全回答者（14,237人）に占める割合は、それぞれ17.6%、0.8%である。

### 【備考】

調査結果のグラフ化にあたり【無回答】【その他】の数値が「0」の場合、当該グラフに表示しない。

# 第3部 目次

中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

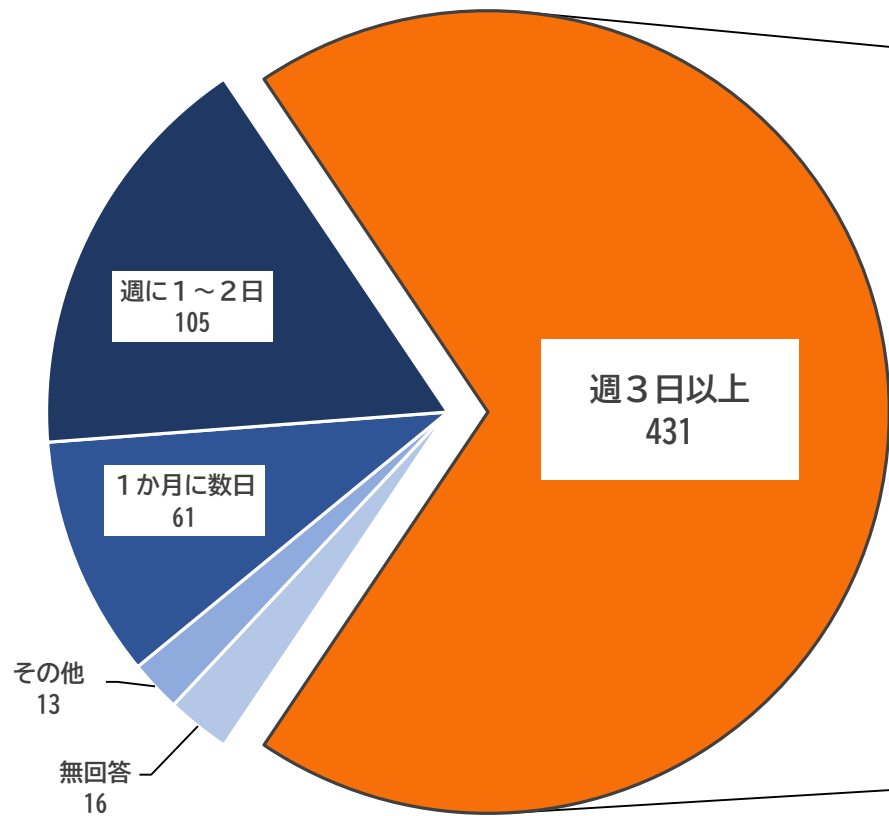
「より日常的にケアをしている層」の抽出イメージ	56
問2 性別	57
問4 健康状態	58
問5 欠席の状況	59
問6 遅刻や早退の状況	60
問7 部活動への参加状況	61
問8 平日の自宅での勉強時間	62
問9 一緒に住んでいる家族の構成	63
問11 ケアを必要とする家族	64
問12 ケアを必要とする家族の主な課題	65
問13 主なケアの内容	66
問14 一緒に家族のケアをする人①	67
問14 一緒に家族のケアをする人②	68
問14 一緒に家族のケアをする人③（類型化後）	69
問19 自分の生活への影響①	70
問19 自分の生活への影響②（類型化後）	71

問20 ケアに関する悩みの相談経験	72
問21 （相談経験がある方）相談した相手	73
問22 （相談経験がない方）相談しなかった理由	74
問25 家族のケアを行う子供のためにあれば良いと思う支援	75

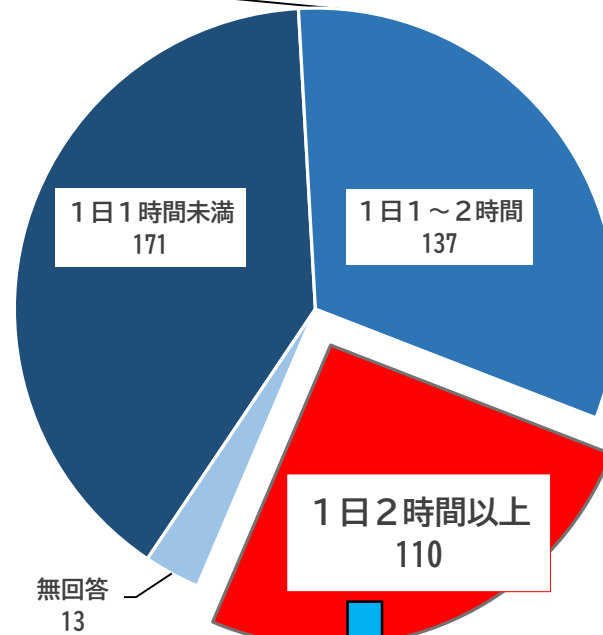
# 「より日常的にケアをしている層」の抽出イメージ

家族のケアを現在行っている回答者（N=626）のうち「週3日以上 かつ 平日1日あたり2時間以上ケアを行っている」層（N=110）について、家族のケアを現在行っている回答者全体との間で比較分析を行った。

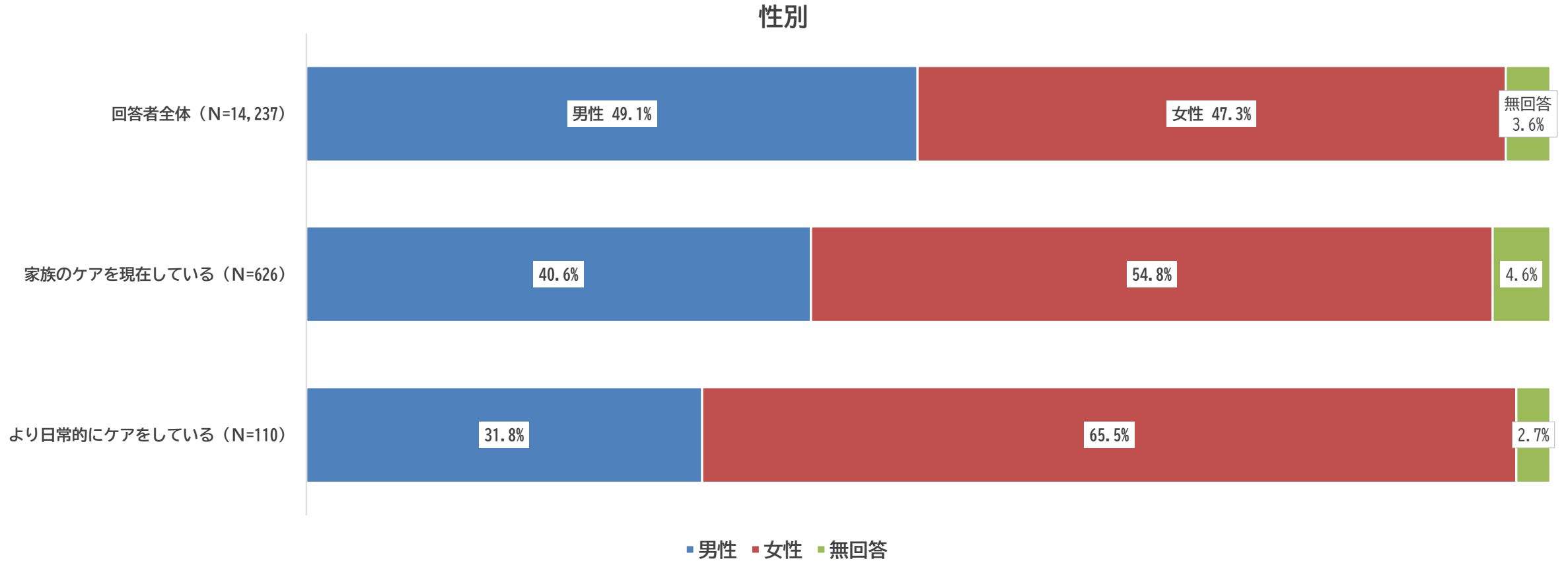
問16 ケアの頻度（N=626）



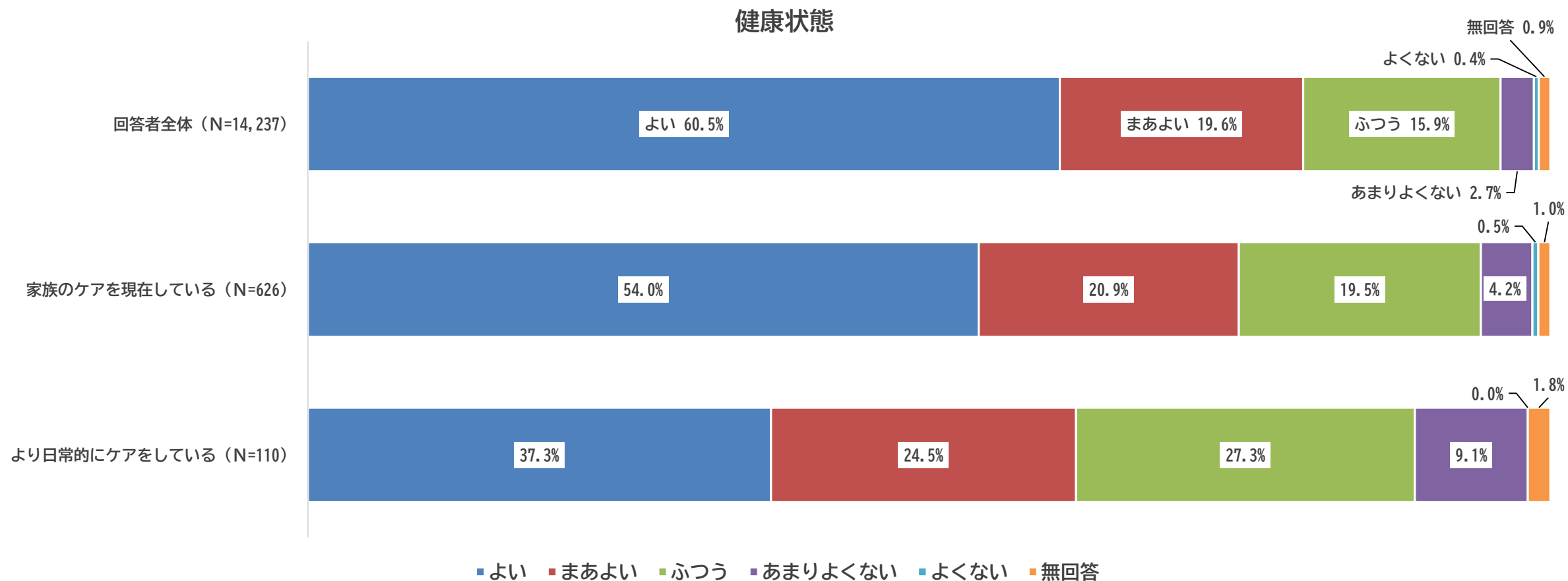
週3日以上のケアしている回答者における、平日1日あたりのケアの所要時間（N=431）



より日常的にケアをしている層  
(週3日以上かつ平日1日あたり2時間以上ケアを行っている層)

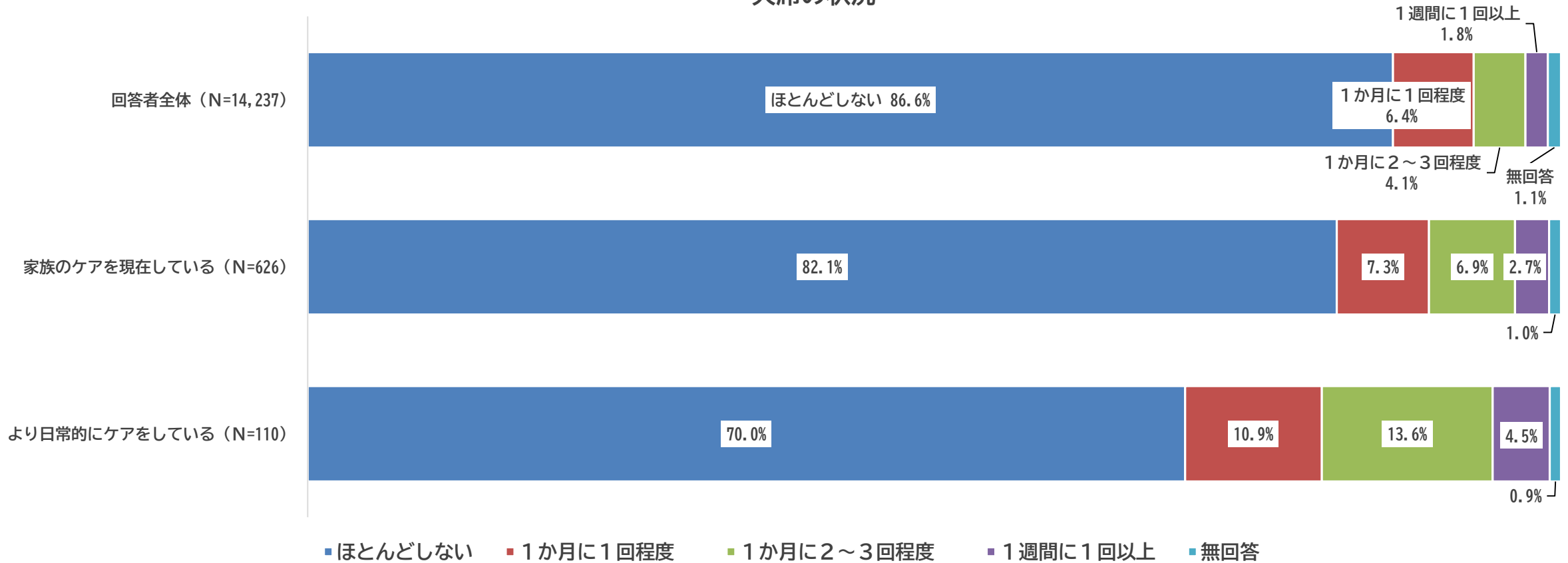


◇家族のケアを現在している層において、女性の占める割合が男性を上回っており、より日常的にケアをしている層ではその割合がさらに上昇した。



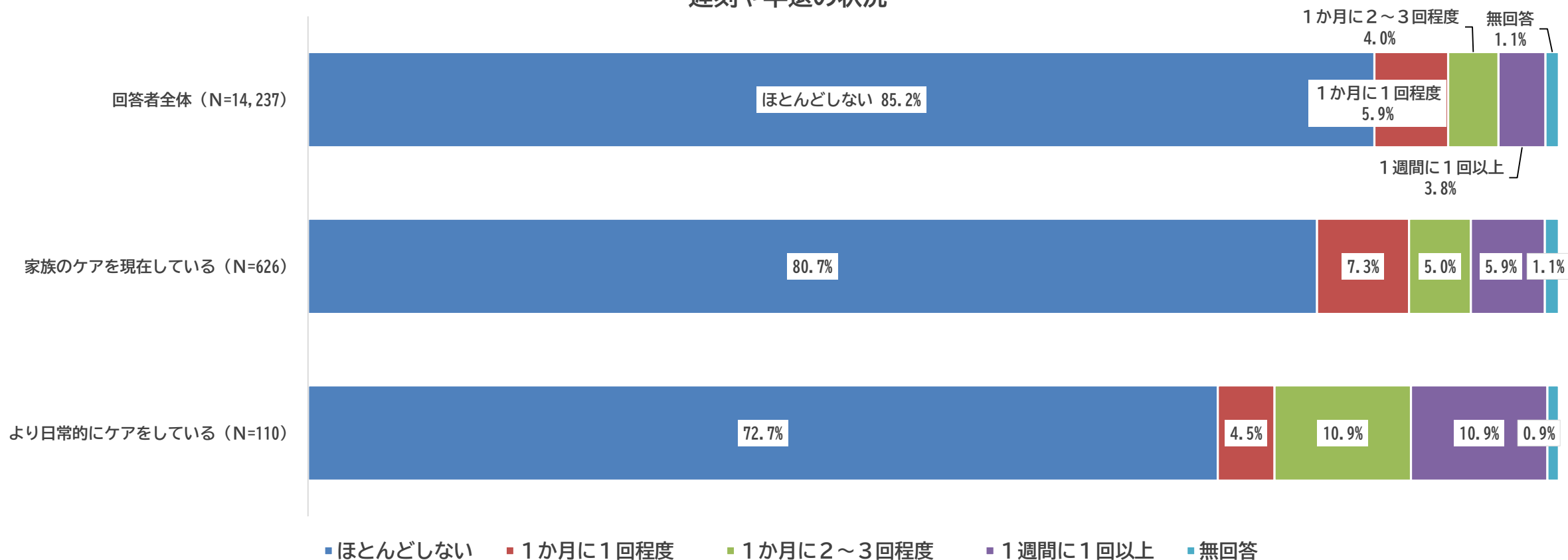
◇健康状態については、より日常的にケアをしている層において【よい】と【まあよい】を合わせた割合が減少し、【あまりよくない】と【よくない】を合わせた割合が増加した。

## 欠席の状況



◇学校の欠席状況については、より日常的にケアをしている層において【ほとんどしない】と【1か月に1回程度】を合わせた割合が減少し、【1か月に2～3回程度】と【1週間に1回以上】を合わせた割合が増加した。

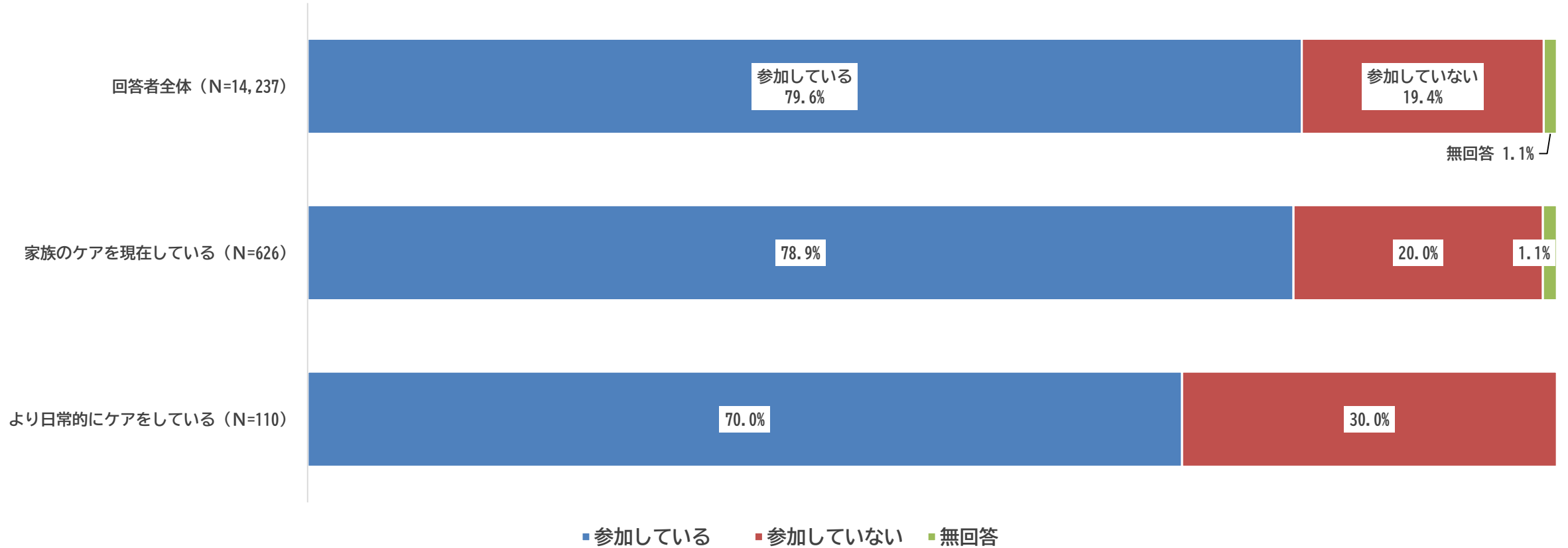
## 遅刻や早退の状況



◇遅刻や早退の状況については、欠席の状況と同様に、より日常的にケアをしている層において【ほとんどしない】と【1か月に1回程度】を合わせた割合が減少し、【1か月に2～3回程度】と【1週間に1回以上】を合わせた割合が増加した。



部活動への参加状況



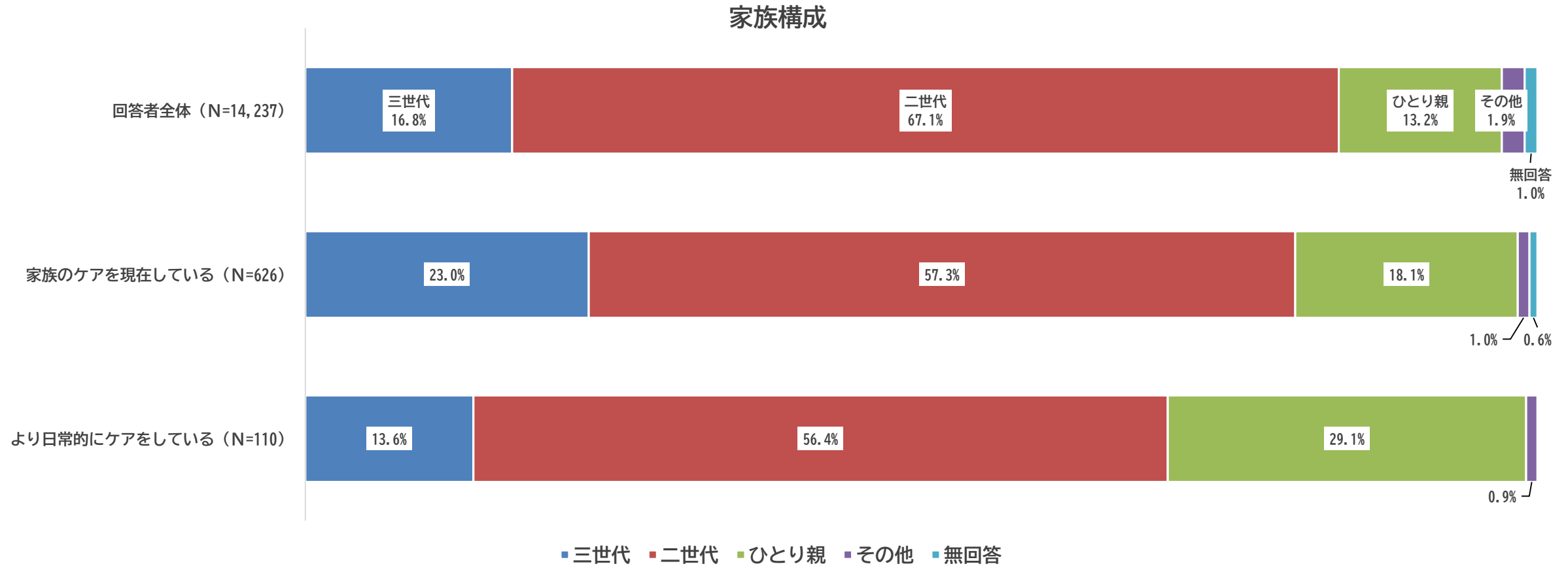
◇部活動への参加状況については、より日常的にケアをしている層において、【参加している】の割合が減少した。

# 平日の自宅での勉強時間（問8）

平日の自宅での勉強時間



◇平日の自宅での勉強時間については、回答者全体と家族のケアを現在している層との間でほとんど差異は見られなかったが、より日常的にケアをしている層においては、自宅での勉強時間が若干短くなった。

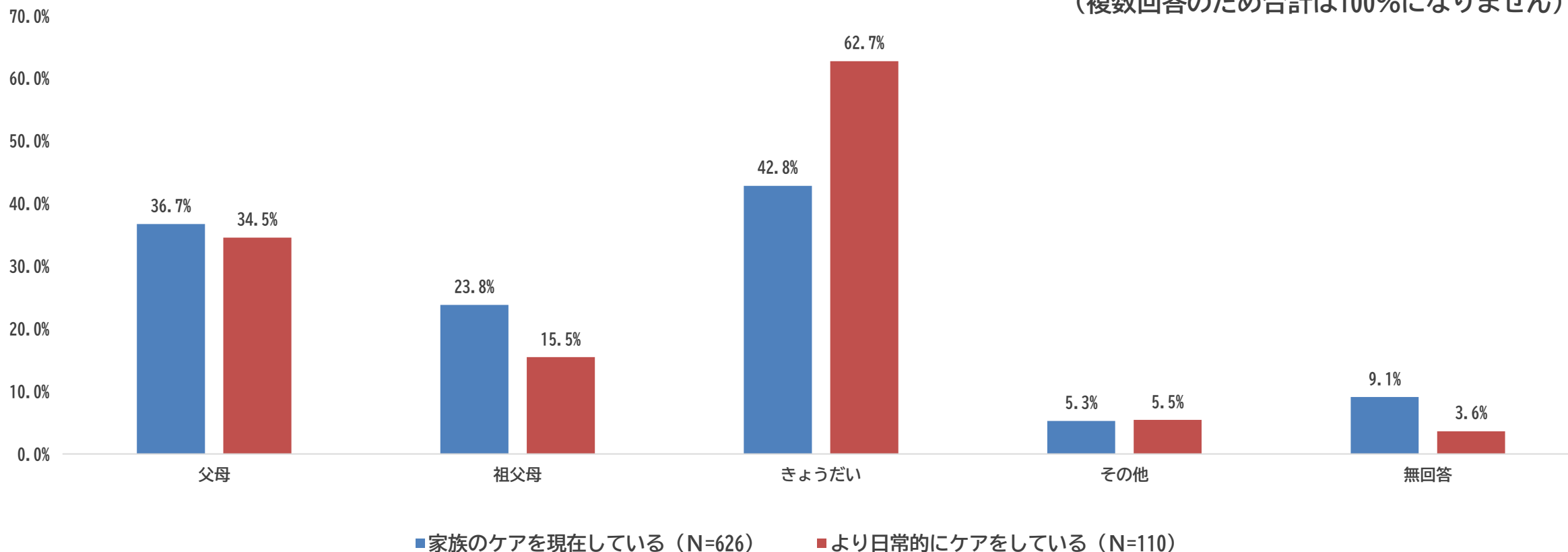


◇家族の構成員について、【三世代世帯】【二世代世帯】【ひとり親世帯】【その他】に類型化（第1部参照）して比較したところ、より日常的にケアをしている層において、【ひとり親世帯】の割合が大きくなった。

# ケアを必要とする家族（問11）

ケアを必要とする家族

◎各層全体に対し該当選択肢を選択した割合  
(複数回答のため合計は100%になりません)



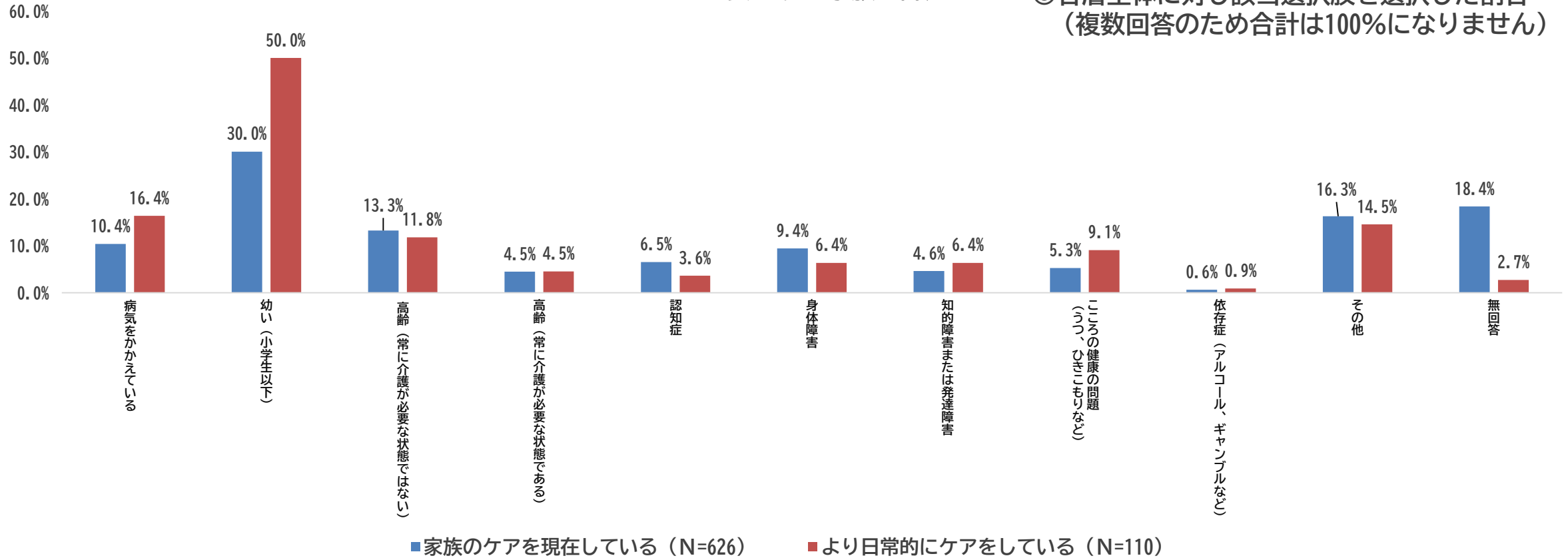
◇ケアを必要とする家族については、より日常的にケアをしている層において【父母】【祖父母】の割合が低下し、【きょうだい】の割合が増加した。

# ケアを必要とする家族の主な課題（問12）

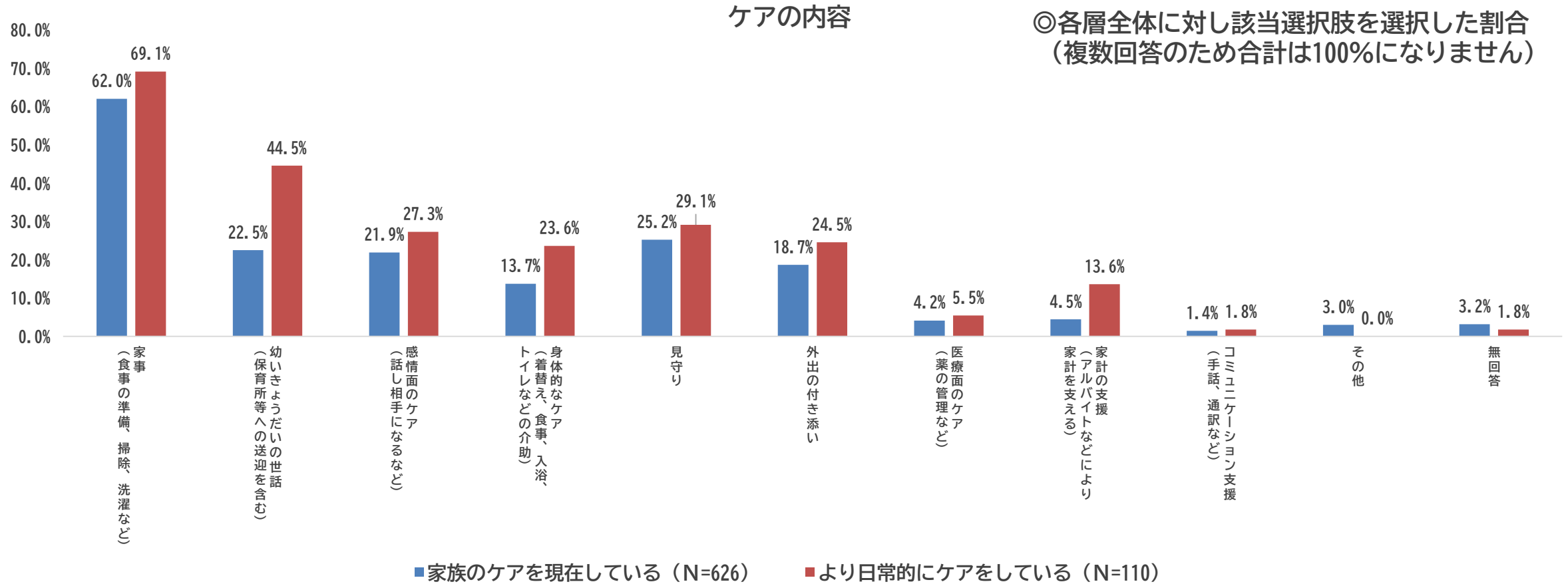
中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

ケアを必要とする家族の課題

◎各層全体に対し該当選択肢を選択した割合  
（複数回答のため合計は100%になりません）

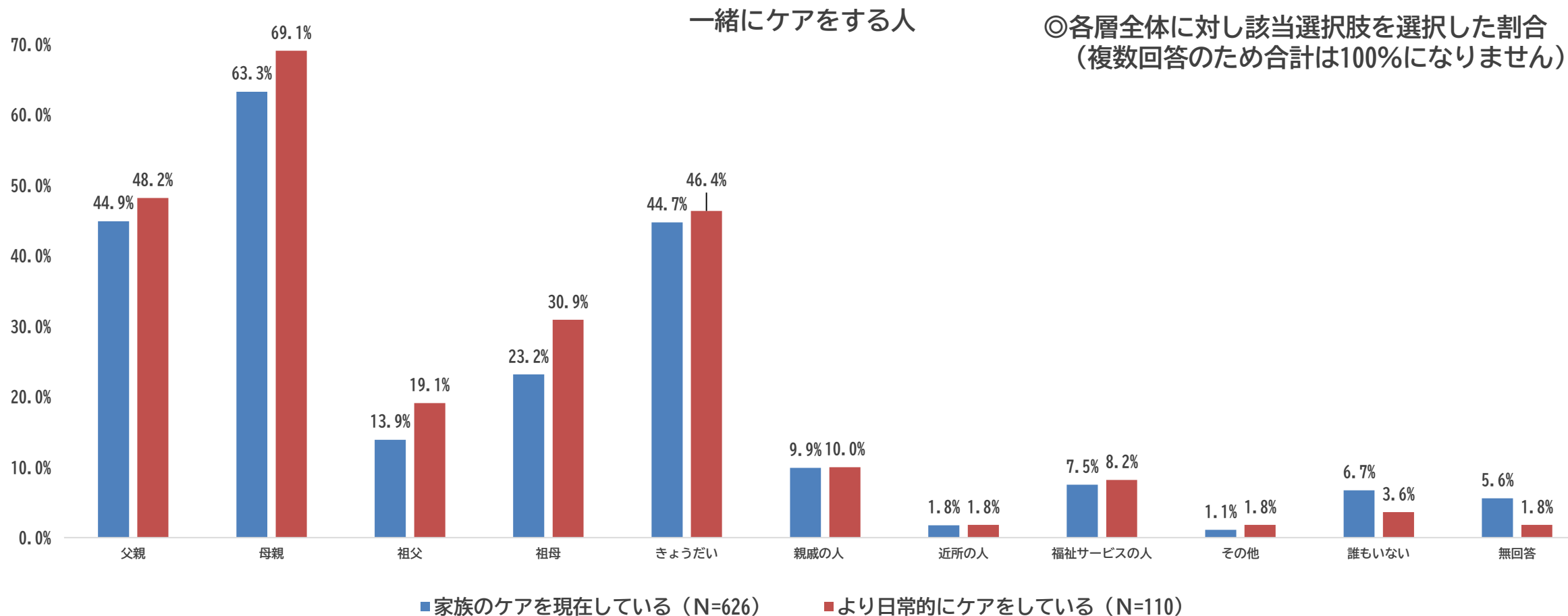


◇ケアを必要とする家族の課題については、より日常的にケアをしている層において、【幼い】の割合が大きく増加した。問11「ケアを必要とする家族」において【きょうだい】の割合が高いことから、弟・妹の世話をしているケースの多いことがうかがわれる。



◇ケアの内容については、より日常的にケアをしている層において【幼いきょうだいの世話】の割合が、次いで【身体的なケア】【家計の支援】の割合が増加した。問11「ケアを必要とする家族」において【きょうだい】の割合が高いことから、弟・妹の世話をしているケースの多いことがわかる。

# 一緒に家族のケアをする人①（問14）



◇一緒にケアをする人については、より日常的にケアをしている層において【誰もいない】の割合が減少し、【祖母】、次いで【母親】、【祖父】の割合が増加した。問11「ケアを必要とする家族」において【きょうだい】の割合が高いことから、母親を助けて弟・妹の世話をしている状況がうかがわれる。

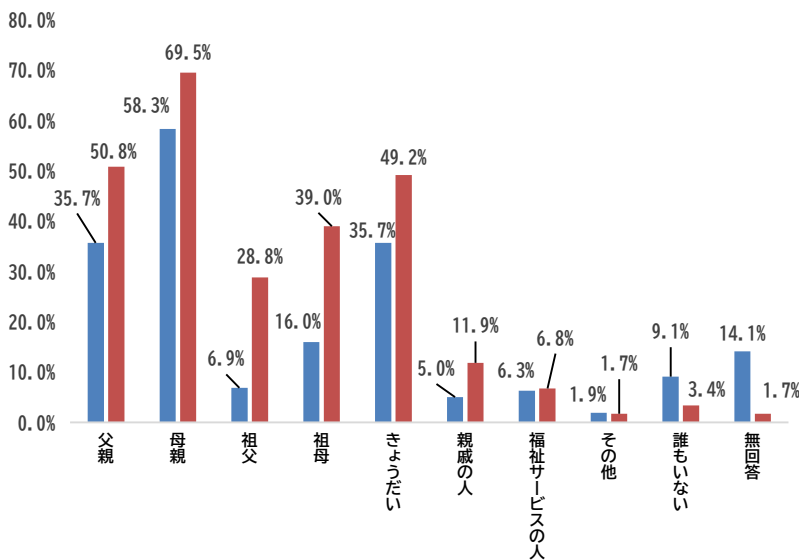
# 一緒に家族のケアをする人②（問14）

中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

## 一緒にケアをする人（学校種別・全国調査値との比較）

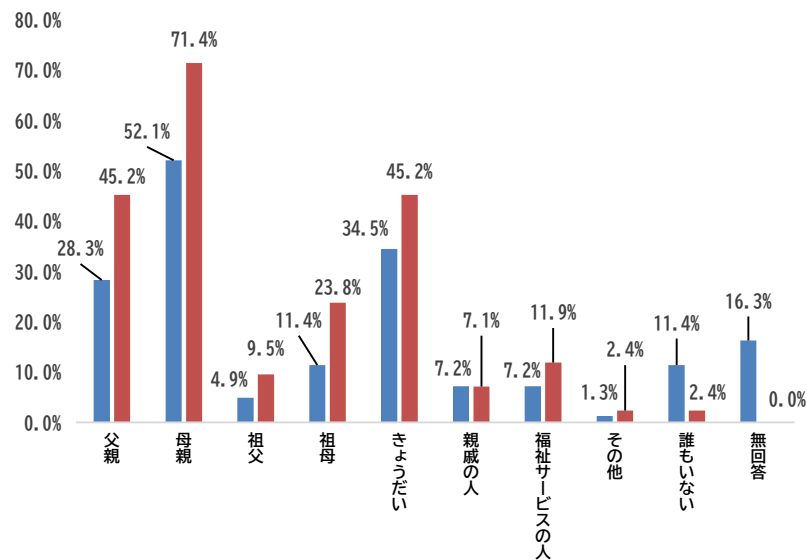
◎各層全体に対し該当選択肢を選択した割合  
（複数回答のため合計は100%になりません）

中学校2年生



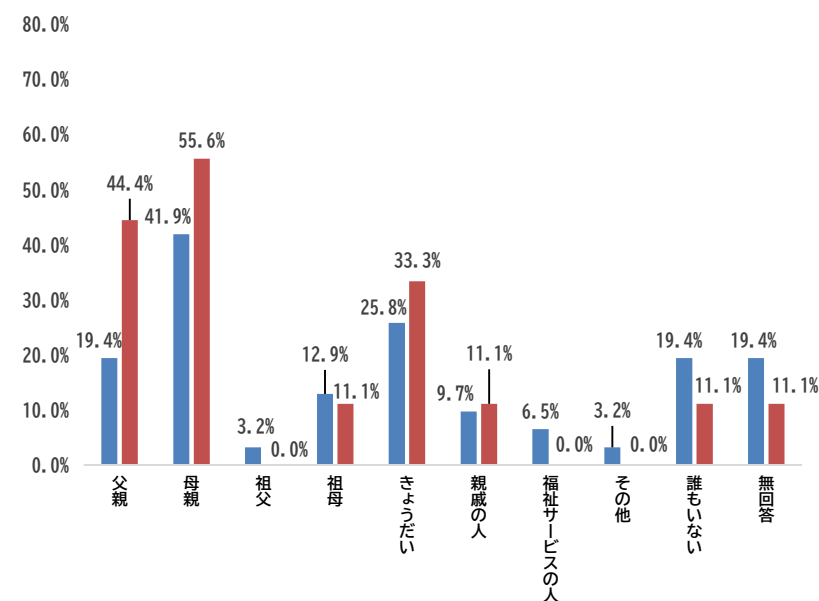
■全国調査 (N=319) ■より日常的にケアをしている (N=59)

全日制高校2年生



■全国調査 (N=307) ■より日常的にケアをしている (N=42)

定時制高校2年生相当



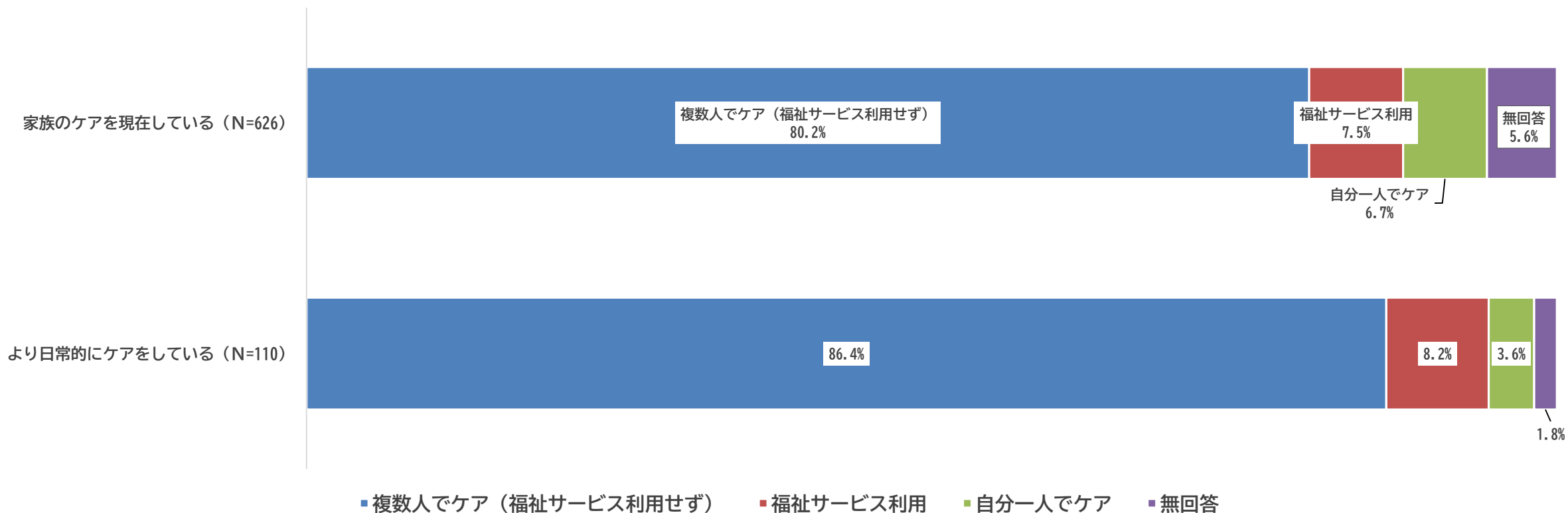
■全国調査 (N=31) ■より日常的にケアをしている (N=9)

※参考「ヤングケアラーの実態に関する調査研究」（令和3年3月）三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社より作成

◇一緒にケアをする人について、学校種別に全国調査値とより日常的にケアをしている層を比較すると、【誰もいない】の割合が低い一方、家族の各構成員の割合が概ね高かった。なお、比較に際し全国調査に【近所の人】の選択肢がないため、当該項目を除いて比較した。



## 一緒にケアをする人（類型化後）



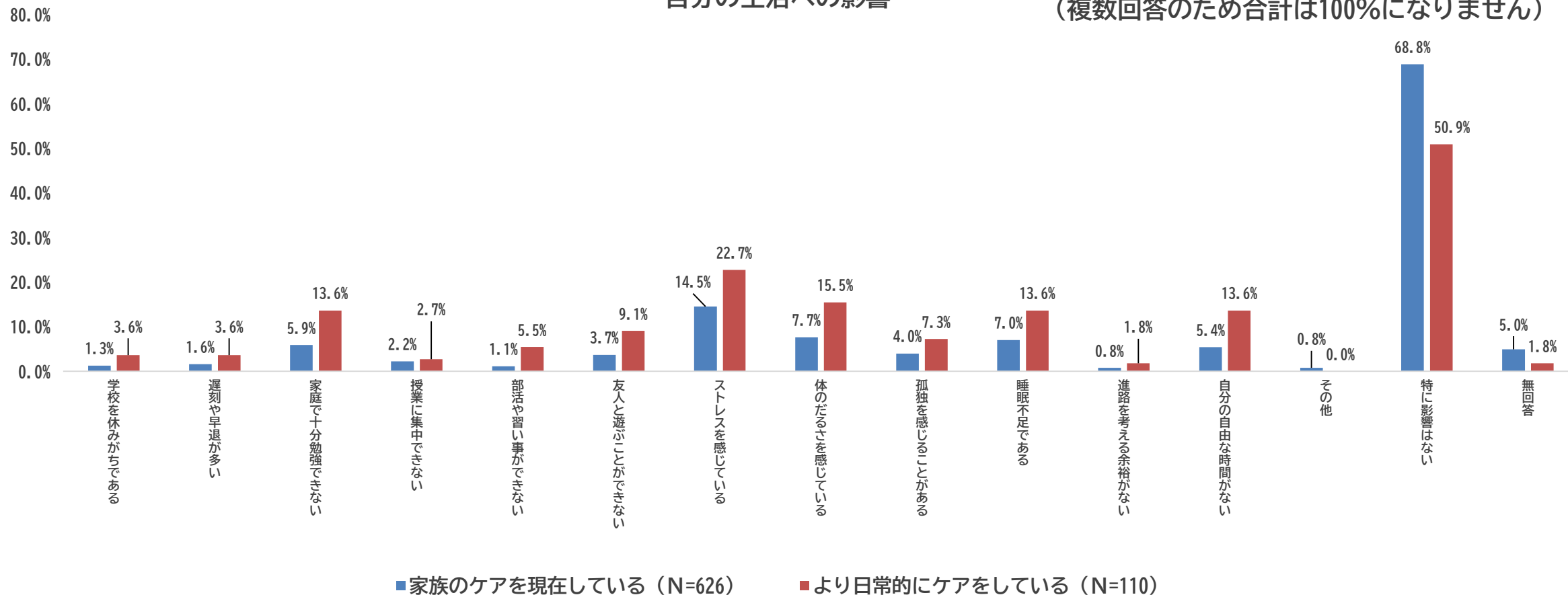
◇一緒にケアをする人について、【複数人でケア（福祉サービス利用せず）】【複数人でケア（福祉サービス利用）】【自分一人でケア】【無回答】に類型化（第1部参照）して比較したところ、より日常的にケアをしている層において【自分一人でケア】の割合がやや減少した一方、【複数人でケア（福祉サービス利用）】の割合は微増に留まった。

# 自分の生活への影響①（問19）

中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

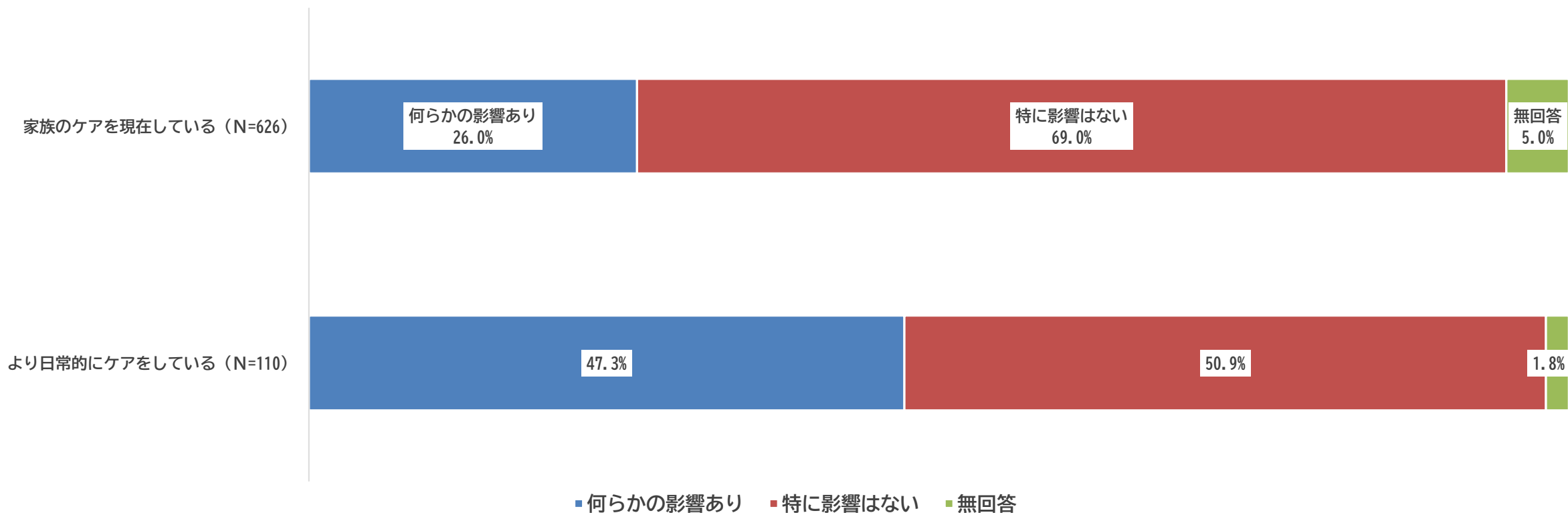
## 自分の生活への影響

◎各層全体に対し該当選択肢を選択した割合  
(複数回答のため合計は100%になりません)



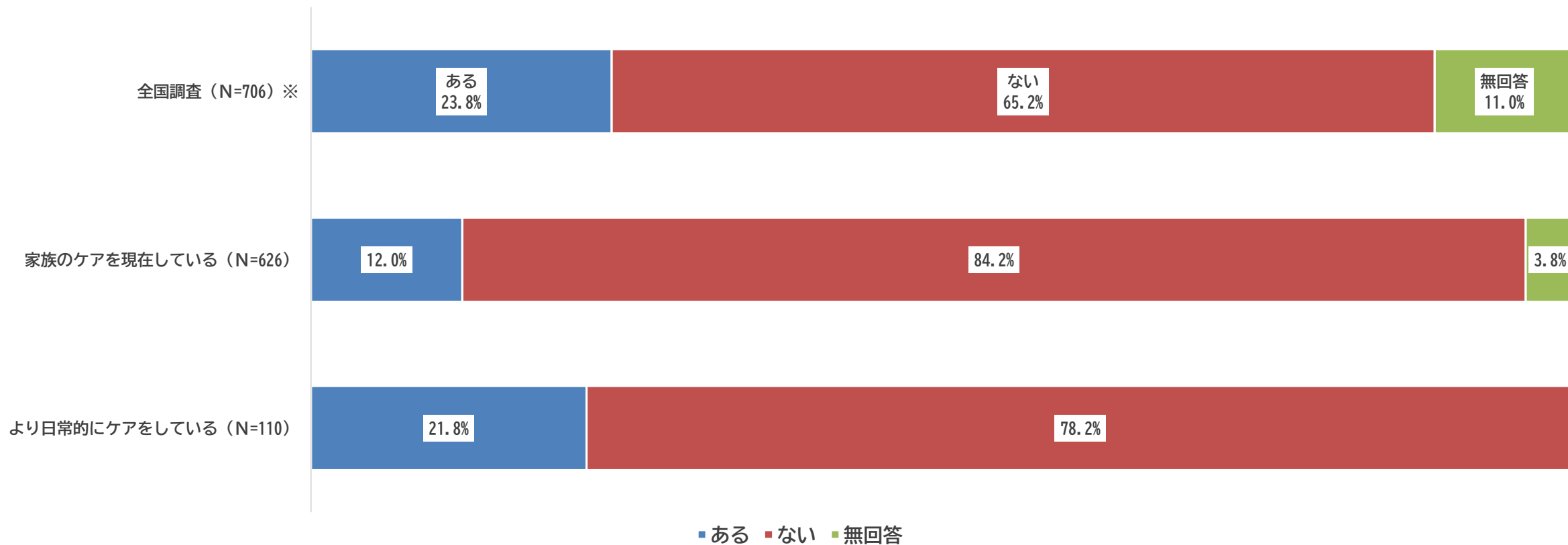
◇自分の生活への影響では、より日常的にケアをしている層で【特に影響はない】が大幅に減少する一方、他の選択肢の割合が総じて増加した。

自分の生活への影響（類型化後）



◇自分の生活への影響について、【何らかの影響あり】【特に影響はない】【無回答】に類型化（第1部参照）して比較したところ、より日常的にケアをしている層において、【何らかの影響あり】が約20ポイント増加した。

## ケアに関する悩みの相談経験



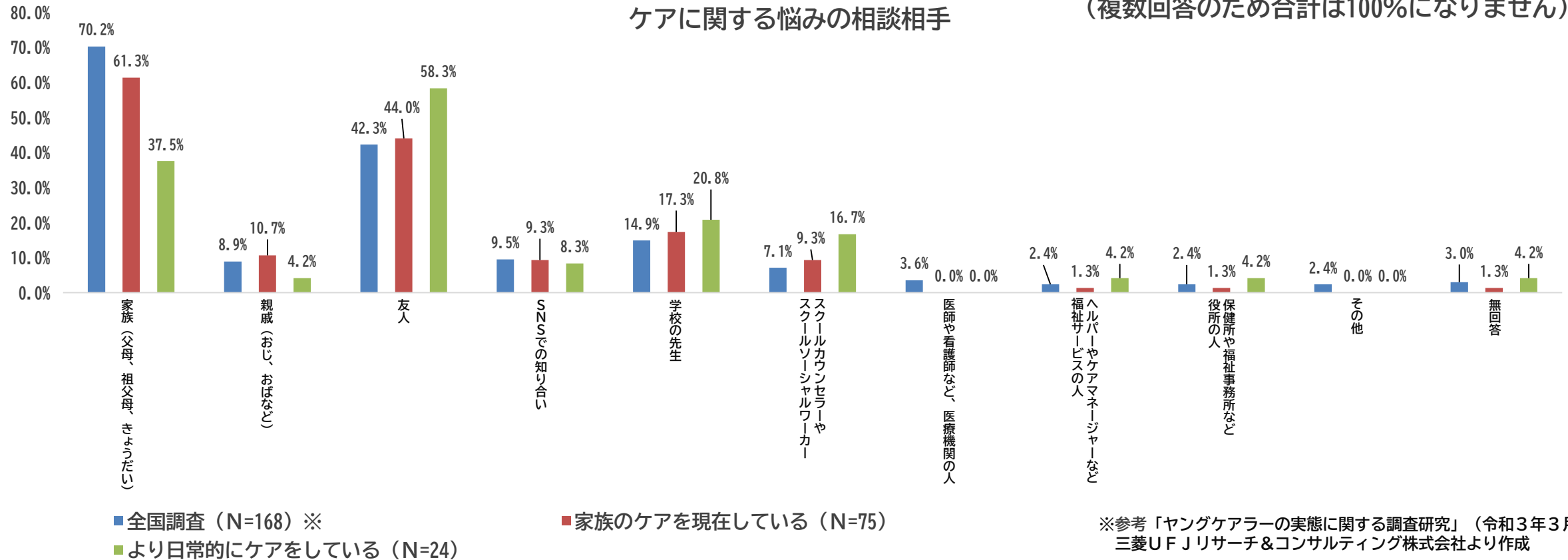
※参考「ヤングケアラーの実態に関する調査研究」（令和3年3月）三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社より作成

◇ 相談経験が【ある】との回答は、家族のケアを現在している層に比して、より日常的にケアをしている層の方が約10ポイント高くなり、全国調査において相談経験が【ある】と回答した割合とほぼ同水準となった。

# 【問20で「① ある」と回答した方】悩みの相談相手（問21）

中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

◎各層全体に対し該当選択肢を選択した割合  
(複数回答のため合計は100%になりません)



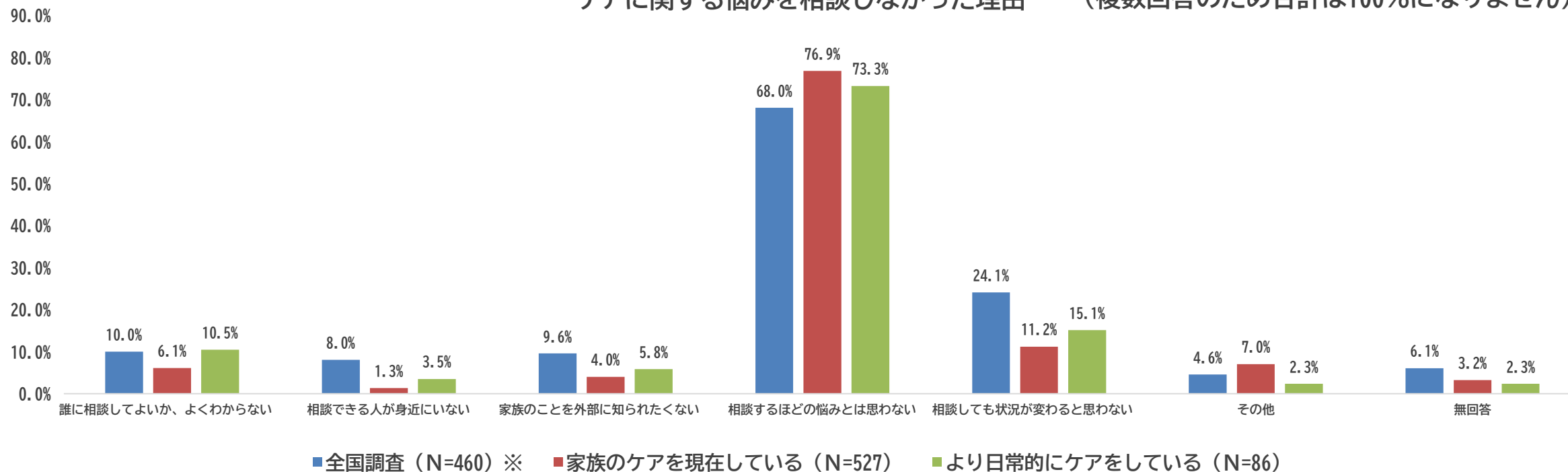
◇ケアに関する悩みの相談相手については、より日常的にケアをしている層では【家族】や【親戚】より【友人】を選んだ割合が高くなった。より日常的にケアをしている層では、【家族】は「ケアを一緒に行う相手」となり、「相談相手」にはなりえていない可能性がうかがわれる。なお、比較に際し、全国調査にある【近所の人】【保健室の先生】の選択肢が本件設問の選択肢にないため、当該項目を除いて比較した。

# 【問20で「② ない」と回答した方】 悩みを相談しなかった理由（問22）

中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

◎各層全体に対し該当選択肢を選択した割合  
（複数回答のため合計は100%になりません）

ケアに関する悩みを相談しなかった理由



※参考「ヤングケアラーの実態に関する調査研究」（令和3年3月）三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社より作成

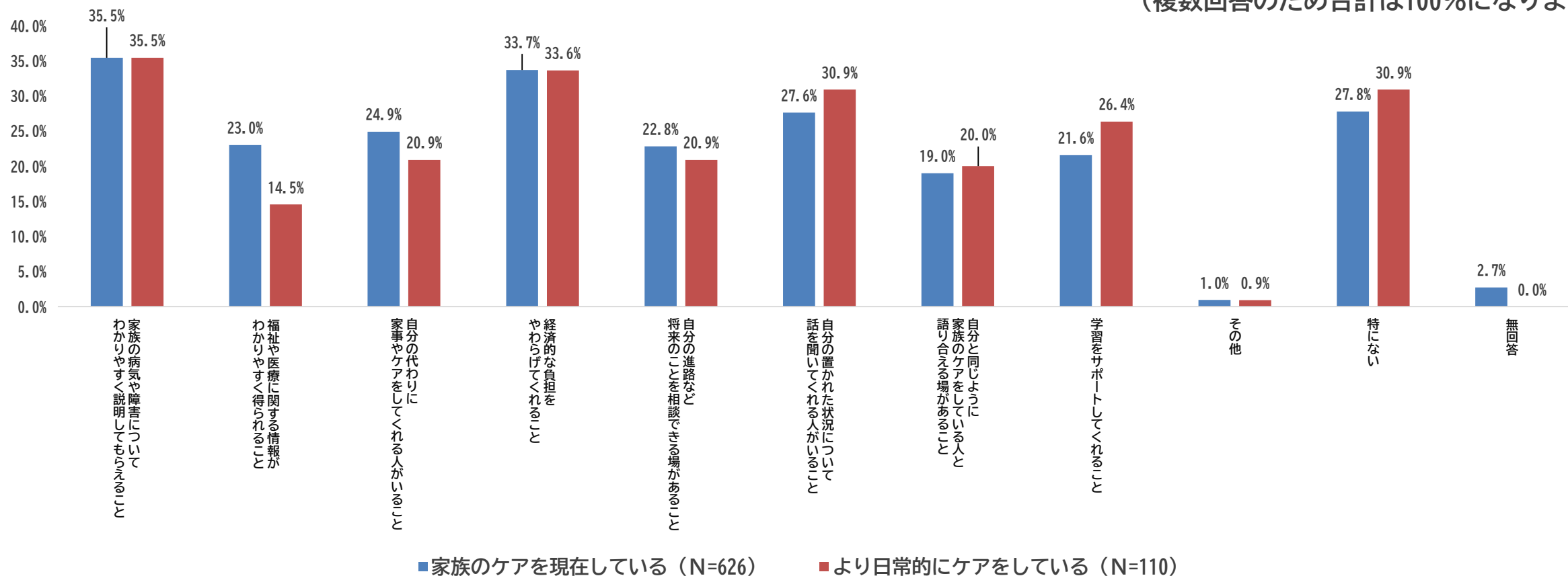
◇ケアに関する悩みを相談しなかった理由については、全国調査の結果と比べ、家族のケアを現在している層、より日常的にケアをしている層のいずれも【相談するほどの悩みとは思わない】の割合が高く、【相談しても状況が変わると思わない】の割合は少なかった。なお、全国調査にある【家族外の人に相談するような悩みではない】【家族のここのため話しにくい】【家族に対して偏見を持たれたくない】の選択肢が本件設問の選択肢にないため、当該項目を除いて比較した。

# 家族のケアを行う子供のためにあれば良いと思う支援（問25）

中高生の生活実態に関するアンケート調査結果

◎各層全体に対し該当選択肢を選択した割合  
(複数回答のため合計は100%になりません)

家族のケアを行う子供のためにあれば良いと思う支援



◇あれば良いと思う支援については、より日常的にケアをしている層では、家族のケアを現在行っている層に比べ【福祉や医療に関するわかりやすい情報】や【自分の代わりに家事やケアをしてくれる人】の割合が減少する一方、【話を聞いてくれる人】や【学習サポート】の割合に増加がみられた。





## 第4部 調査結果まとめ

# 調査結果まとめ

調査項目	母数	調査結果のポイント	該当頁
家族のケアの経験について	全回答者 (14,237人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族のケアをしているのは 全体の4.4% (626人/14,237人)</li> <li>〈学校種別〉 中学校2年生 4.7% (344人/ 7,309人)</li> <li>全日制高校2年生 3.9% (265人/ 6,805人)</li> <li>定時制高校2年生相当 13.8% ( 17人/ 123人)</li> </ul> <p>※令和2年度全国調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>〈学校種別〉 中学校2年生 5.7%</li> <li>全日制高校2年生 4.1%</li> <li>定時制高校2年生相当 8.5%</li> </ul>	P12
ケアの状況について	全回答者のうち 家族のケアをしている方 (626人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケアを必要とする家族は、高齢層（祖父母）よりも若年層（きょうだい）が多い</li> <li>ケアを必要とする家族の主な課題では【若い】、ケアの内容では【家事】が最多</li> <li>家族や福祉サービス事業者などと複数人でケアを行っているケースが大半であるが、回答者単独でケアを行っているケースも1割弱あり</li> <li>ケアの頻度は【ほぼ毎日】が約半数を占め、【週に3～5日】を加えると7割に迫る</li> <li>ケアに要する時間（平日1日あたり）は【1時間未満】が約半数を占め、【1～2時間】を加えると4分の3に達する</li> </ul>	P14 P15、P16 P18  P20 P21
ケアの影響について	全回答者のうち 家族のケアをしている方 (626人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の生活への影響を感じているのは約4分の1</li> <li>具体的な影響は、【ストレス】【体のだるさ】【睡眠不足】の順に多い</li> <li>ケアに要する1日あたりの時間が長いほど、影響を感じる傾向が見受けられる</li> </ul> <p>※生活への影響を感じている総数は164人で、家族のケアをしている回答者（626人）に占める割合、アンケートの全回答者（14,237人）に占める割合はそれぞれ26.2%、1.2%</p>	P24 P23 P50

# 調査結果まとめ

調査項目	母数	調査結果のポイント	該当頁
ケアに関する相談について	全回答者のうち家族のケアをしている方 (626人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアに関する悩みの相談経験があるのは1割強に留まるが、より日常的にケアをしている層に絞ると2割強まで上昇</li> <li>・相談相手は【家族】が6割を占め、次いで【友人】 【学校の先生】の順に多い</li> </ul>	P25、P72 P26、P73
“ヤングケアラー”の認知度	全回答者 (14,237人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の7割弱が“ヤングケアラー”を【聞いたことがない】と回答するも、令和2年度の全国調査と比べると、認知度にやや上昇がみられる</li> </ul>	P32
“ヤングケアラー”に係る自己認識	全回答者のうち家族のケアをしている方 (626人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身が“ヤングケアラー”にあてはまるか【わからない】との回答が過半数を占める一方、【あてはまる】は1割強</li> <li>・ケアに要する時間が長いほど、【あてはまる】との回答が増加する傾向あり</li> </ul> <p>※【あてはまる】と回答した総数は83人で、家族のケアをしている回答者(626人)に占める割合、アンケートの全回答者(14,237人)に占める割合はそれぞれ13.3%、0.6%</p>	P33 P52

その他、全体を通じて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校種別に見ると、定時制高校生のケアの負担が大きい傾向がみられる。</li> <li>・ケアの実態としては、幼いきょうだい(弟・妹)の世話をしているケースが多いと考えられる。</li> <li>・家族のケアをしている層全体と、より日常的にケアをしている層を比較すると、ケアの負担の大きさが回答者本人の生活(健康状態や学業など)に影響を及ぼしている可能性がうかがえる。</li> <li>・回答者における「ケア」の認識には個人差が認められ、“ヤングケアラー”の定義の確立されていない影響がうかがえる。</li> <li>・ケアの影響や、“ヤングケアラー”に係る自己認識等についての回答を踏まえると、全回答者の1%程度は、身体的・精神的負担を伴うケアを日常的に担っている可能性があると考えられる。</li> </ul>
------------	---

